

特 記 仕 様 書

工事名称 旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事

工事場所 三原市久井町坂井原

工事内容 旧不燃物処理工場におけるストックヤード外9棟の解体及び敷地内舗装の撤去工事等を行う。

[工事概要]

・建築工事一式

(1) 建築物解体工事

a スtockヤード	鉄骨造平屋建て、延床面積：180.00㎡
b 粗大ごみ破砕処理ヤード	鉄骨造平屋建て、延床面積：78.00㎡
c 破砕物悪寒ヤード	鉄骨造平屋建て、延床面積：61.20㎡
d ペットボトル圧縮保管ヤード	鉄骨造平屋建て、延床面積：85.49㎡
e 再資源選別処理施設	鉄骨造平屋建て、延床面積：353.74㎡
f ポンプ小屋(井戸水用)	鉄骨造平屋建て、延床面積：22.21㎡
g 休憩室 1	木造平屋建て、延床面積：19.87㎡
h 便所	木造平屋建て、延床面積：9.85㎡
i 休憩室 2	鉄骨造平屋建て、延床面積：114.28㎡
j 休憩室 3	鉄骨造平屋建て、延床面積：60.00㎡

(2) プラント設備解体工事

(3) 外構解体工事

(4) 方塊ブロック撤去

準則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書(各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令、その他の要綱及び規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令、同施行規則
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則、石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令、同施行規則
- ・その他関係法令

工事保険等 受注者は、本工事において第三者に危害を与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。

疑義変更

- ・本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。
- ・施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負代金額の増減はなきものとする。
- ・本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類

- ・施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
- ・商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
- ・設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和9年3月29日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。(工事の完成通知予定日は令和9年3月16日。)

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り扱い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ1.8m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、あらかじめ発注者に報告すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。また、喫煙所の位置及び使用方法を作業員に周知徹底し、指定場所以外での喫煙は絶対にしないこと。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。

- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に表示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、
「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（15検体）
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・石綿含有建材の除去作業については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・石綿を含有する建築物の解体等を行う際には届出を行うこと。レベル1・2については「工事計画届」「特定粉じん排出等作業届書」「事前届出の実施」「建築物解体等作業届」等遅滞なく提出すること。
- ・既存照明機器（安定器等）又はシーリング材等のPCB含有調査を見込んでいる。（2検体）
- ・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等待機のうち、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R（2部）にて提出すること。

- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・請負代金額300万円以上の工事について、建設業退職金共済事業部の「建設業退職金共済制度事務処理手引き（令和7年10月改訂版）」に基づき、「掛金収納書提出用台紙」及び「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」を提出すること。
- ・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を1部提出すること。
（契約図について、変更があれば変更部分を修正し、完成図であることを明記して一式を製本する。）

旧不燃物処理工場ストックヤード外 解体工事

発 注 仕 様 書

令和 8 年 10 月

三原広域市町村圏事務組合

目 次

第1章 総 則.....	1
第1節 計画概要.....	1
第2節 工事概要.....	2
第3節 一般事項.....	2
第2章 工事内容.....	5
第1節 概要.....	5
第2節 工事範囲.....	5
第3節 検査等.....	6
第4節 その他.....	6
第3章 アスベストのばく露防止対策.....	8
第1節 アスベスト調査および対応措置.....	8
第2節 アスベスト除去作業.....	9
第4章 PCB 処理計画.....	10
第1節 事前調査.....	10
第2節 処理計画.....	10
第5章 産業廃棄物等の処理・処分計画.....	11
第1節 発生廃棄物等の処理・処分計画.....	11

1. 図面一式

図面番号 0 解体工事特記仕様書

図面番号 1 解体範囲図

図面番号 2 スtockヤード 仕上表・平面図

図面番号 3 スtockヤード 立面図

図面番号 4 粗大ごみ破砕ヤード 仕上表・平面図・立面図

図面番号 5 破砕物保管ヤード 仕上表・平面図・立面図

図面番号 6 ペットボトル圧縮保管ヤード 仕上表・平面図・立面図

図面番号 7 再資源選別処理施設 仕上表・屋根伏図・平面図

図面番号 8 再資源選別処理施設 立面図

図面番号 9 ポンプ小屋（井戸水用） 仕上表・平面図・立面図

図面番号 10 休憩室 1 仕上表・平面図・立面図

図面番号 11 便所 仕上表・平面図・立面図

図面番号 12 休憩室 2 仕上表・平面図・立面図

図面番号 13 休憩室 3 仕上表・平面図・立面図

図面番号 14～15 外構詳細図

図面番号 16～20 仮設計画図（参考図）

図面番号 21～69 既存図

第1章 総 則

「旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事発注仕様書」（以下、「本仕様書」という。）は三原広域市町村圏事務組合（以下、「発注者」という。）が発注する「旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事」（以下、「本解体工事」という。）に適用する。

第1節 計画概要

1. 一般概要

本解体工事は、「旧不燃物処理工場ストックヤード外」（以下「本施設」という。）を解体・撤去・処分する工事である。

本解体工事は、関係法令、通達事項等を遵守し、アスベストばく露防止対策の徹底を図るとともに、周辺環境に対する保全に十分配慮して施工を行う。

2. 工事名

旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事

3. 解体対象主要施設

旧不燃物処理工場ストックヤード外

施設内容	処理能力	完成年月
1. スtockヤード	—	平成 5 年
2. 粗大ごみ破碎処理ヤード	—	平成 18 年
3. 破碎物保管ヤード	—	平成 18 年
4. ペットボトル圧縮保管ヤード	500kg/日	平成 12 年
5. 再資源選別処理施設	30t/日	平成 5 年
6. ポンプ小屋（井戸水用）	—	不明
7. 休憩室 1	—	不明
8. 便所	—	不明
9. 休憩室 2	—	不明
10. 休憩室 3	—	不明

4. 工事場所

三原市久井町坂井原

5. 敷地面積（解体範囲面積）

約 46,800 m²（約 2,225 m²）

6. 工事期間

契約日の翌日から令和9年3月29日まで（検査期間13日間を見込む）。

第2節 工事概要

1. 解体工事

1) 土木建築構造物

図面番号1「解体範囲図」に示す土木建築構造物（地中埋設物を含む）及び建築設備を解体撤去する。

2) プラント設備

図面番号1「解体範囲図」に示す範囲内のプラント設備（機械設備・電気計装設備）のすべてを解体撤去する。

3) 外構

図面番号1「解体範囲図」に示す外構工作物（地中埋設物を含む）を解体撤去する。

2. アスベスト除去工事

アスベスト除去工事は、「石綿障害予防規則」（厚生労働省令）〔最新版〕および「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（厚生労働省基準局安全衛生部化学物質対策課 環境省水・大気環境局大気環境課）〔最新版〕等に準拠して実施する。

3. 廃棄物の処理処分

本解体工事で発生する汚染物や排水、耐火物、アスベスト、コンクリート、鉄骨、鉄筋、機械類、建具類、配管類、配線材、アスファルトなどを適正に処理処分する。

4. 解体後の埋め戻し、整地等

埋戻し作業においては、場内発生土を積極的に使用し、購入土（非汚染土）を補填して埋戻しを行う。仕上げ高さは解体前のGLと同等の高さを目安とし、地表面は真砂土で整地・仕上げを行う。埋戻しは、1層当たり概ね30cm以下で敷均し、各層ごとに適切な方法により締固めを行うものとする。また、排水処理のため、敷地全体にわずかな水勾配を設け、排水が適切かつ円滑に流下するよう計画する。埋戻し土に廃棄物が混入している場合は、確実に除去するものとする。

第3節 一般事項

1. 適用範囲

本仕様書は、本解体工事に関する基本的内容を示すものである。

本仕様書に記載のない事項であっても、本工事の施工上必要な事項については、関係法令、各種基準および監督員の指示に従い実施するものとする。

また、本仕様書および添付図書等に記載のない事項であっても、本工事の目的達成のために必要と認められる事項については、発注者と受注者が協議のうえ対応を決定するものとする。

本工事に関する事前調査結果および資料は発注者が提示するものとし、受注者は施工に先立ち内容を十分確認するものとする。なお、提示資料と現地条件に相違が確認された場合は、速やかに発注者へ報告し、協議のうえ対応を決定するものとする。

2. 関係法令等の遵守

本解体工事の施工にあたっては、以下に示す関係法令、要綱等を遵守する。

- (1) 廃棄物焼却施設解体作業マニュアル
- (2) 石綿障害予防規則
- (3) 建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル
- (4) 労働安全衛生法
- (5) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- (6) 資源の有効な利用の促進に関する法律
- (7) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
- (8) 環境基本法
- (9) 大気汚染防止法
- (10) 水質汚濁防止法
- (11) 騒音規制法
- (12) 振動規制法
- (13) 悪臭防止法
- (14) 土壤汚染対策法
- (15) 都市計画法
- (16) 広島県公害防止条例
- (17) 建築基準法
- (18) 公共建築改修工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
- (19) 建築物解体工事共通仕様書・同解説（社団法人公共建築協会）
- (20) 広島県土木工事共通仕様書
- (21) 舗装設計施工指針（平成 18 年度版 社団法人日本道路協会）
- (22) 土木工事安全施工技術指針（社団法人全日本建築技術協会）
- (23) 労働基準法
- (24) 作業環境測定法
- (25) 建設業法
- (26) ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- (27) フロン排出抑制法

(28) じん肺法

(29) その他適用される関係法令、規制、規格、関係基準、通知等

3. 公害防止対策

1) 騒音・振動対策

本解体工事で使用する機械等は原則として、低騒音・低振動対策型・排出ガス対策型の機械を使用する。騒音規制法及び振動規制法に基づく「特定建設作業の騒音及び振動の規制基準」等を遵守する。なお、本工事における騒音及び振動については、工事期間中、1地点において連続測定を行うものとする。測定位置については発注者と協議の上決定する。

2) 悪臭

悪臭防止法に基づく悪臭に係る規制基準を遵守する。

3) 粉じん

工事による粉じんを防止するため、作業場所を湿潤化する。また、換気設備等により作業環境を保全する。

第2章 工事内容

第1節 概要

1. 施設概要

施設内容	処理能力	完成年月	構造	床面積
1. スtockヤード	—	平成 5 年	鉄骨造・平屋	180.00 m ²
2. 粗大ごみ破砕処理ヤード	—	平成 18 年	鉄骨造・平屋	78.00 m ²
3. 破砕物保管ヤード	—	平成 18 年	鉄骨造・平屋	61.20 m ²
4. ペットボトル圧縮保管ヤード	500kg/日	平成 12 年	鉄骨造・平屋	85.49 m ²
5. 再資源選別処理施設	30t/日	平成 5 年	鉄骨造・平屋	353.74 m ²
6. ポンプ小屋（井戸水用）	—	不明	鉄骨造・平屋	22.21 m ²
7. 休憩室 1	—	不明	木造・平屋	19.87 m ²
8. 便所	—	不明	木造・平屋	9.85 m ²
9. 休憩室 2	—	不明	鉄骨造・平屋	114.28 m ²
10. 休憩室 3	—	不明	鉄骨造・平屋	60.00 m ²
11. 外構	—	不明	不明	1420.29 m ²
12. 方塊ブロック	—	不明	不明	
13. 井戸ポンプ	—	不明	不明	
14. 埋設給水管	—	不明	不明	

第2節 工事範囲

工事範囲は図面番号 1「解体範囲図」に示すとおりである。さらに、本解体工事は、「石綿障害予防規則」等に準拠したアスベストの除去工事を行う。

1. 解体工事

1) 解体工事

- (1) 土木建築解体工事(仮設工事、準備工事含む)
- (2) プラント設備解体工事
- (3) 外構工事

2) 石綿除去工事

- 3) 発生材積込・運搬・処分（図面番号 1「解体範囲図」に示す方塊ブロックを含む）

2. 仮設工事等

- 1) 工事施工に必要な電力、用水、その他必要な仮設
- 2) 工事施工に必要な電力、用水等の維持
- 3) 仮囲い及び仮設ゲートの設置
 - (1) 仮囲い（ガードフェンス）H=1.8m

(2) キャスターゲート W=6.0m、H=1.8m 2箇所

設置範囲及び詳細は、図面番号1「解体範囲図」によるものとする。

3. 構内整備工事

- 1) GL以下の埋め戻し工事

4. 付帯業務

- 1) 届出等許認可申請書作成及び検査対応
- 2) 安全衛生管理体制の確保
- 3) 解体廃棄物、発生汚染物の適正処理・処分及び有効利用、その報告
- 4) 竣工図書作成
- 5) その他発注者が必要とする資料作成等の支援

第3節 検査等

本解体工事の検査等は以下により行う。

1. 立会い検査及び立会い試験

工事の進捗状況に応じて、工程の区切りごとの最適な時期に発注者の監督員（以下、「監督員」という。）の立会い検査を受け、合格承認を得た後、次工程に移る。立会い検査の日程については、監督員に指示を受ける。

2. 検査及び試験の方法

検査及び試験はあらかじめ発注者の承認を得た検査（試験）方法に基づいて行う。

3. 経費の負担

工事に係る検査及び試験の手続きは受注者で実施し、これらに要する経費は受注者の負担で行う。

4. 完成(竣工)検査

完成（竣工）検査は発注者や受注者等関係者立会いのもとに行い、手直し、補修等の指示があるときは、関係者協議の上、監督員の指定する期日迄に遅滞なく是正し、完成（竣工）する。

第4節 その他

1. 安全管理

工事中の危険防止対策を十分行い、あわせて作業従事者への安全教育を徹底し、労働災害の発生がないように努める。また、工事期間中は交通整理員を配置する。

2. 環境保全

- 1) 受注者は、本解体工事の施工にあたり、事業用地の地形及び地質を十分考慮し、環境の保全に十分配慮する。
- 2) 工事期間中に発生する解体廃棄物は、適切に処理、処分またはリサイクルする。また、掘削土砂については、原則として場内で再利用し、掘削及び運搬時における粉じん等の飛散及び悪臭防止対策を講ずる。
- 3) 工事の実施に伴う周辺への騒音、振動および地盤沈下等の公害防止のため、低騒音、低振動及び地盤沈下を防止する工法を採用する。また、工事機械についても低騒音及び低振動の機材を積極的に採用する。工事中に周辺環境に悪影響をおよぼさないように十分な注意を払い施工する。
- 4) 工事用車両は洗車し、車輪や車体に付着した土砂を十分落とした後退出する。
- 5) 施工中の建設機械や仮囲い等には、電波障害防止に配慮し、万一発生した場合は受注者の責任で対応する。施工にあたっては、工事中の公害防止に努めるとともに防災上の配慮を十分に行う。
- 6) 工事中の湧水や濁水は適正に処理し排水する。

3. 建設発生土

本解体工事に伴い発生する建設発生土のうち、埋戻土として使用する残土は、場内の適切な場所に仮置きする。なお、発生土の飛散・流出対策を講ずる。

4. 現場管理

資材置場、資材搬入路、仮設事務所などについては、発注者と十分協議の上、安全かつ円滑に作業を進められるよう計画する。また、整理整頓を励行し、火災や盗難などの事故防止にも努める。

5. 復旧

解体対象ではない設備・既存物件等は、損傷・汚染防止に努め、万一損傷、汚染が生じた場合は受注者の負担で速やかに復旧する。

6. 想定外事象の取扱い

地中埋設物、汚染物、PCB 含有物その他の想定外の事象が発見された場合は、発注者と協議のうえ設計変更の対象とする。

第3章 アスベストのばく露防止対策

第1節 アスベスト調査および対応措置

1. アスベスト事前調査結果

アスベストの事前調査結果の概要を以下に示す。工事受注者は、工事着手前に有資格者による石綿事前調査を行い、アスベストの事前調査結果以外にアスベスト含有の可能性のある建材が確認された場合は、速やかに発注者へ報告し、対応について協議するものとする。

アスベスト事前調査結果（参考）

棟別	部位	建材・材料名	含有の可能性	含有の有無	材料レベル
ストックヤード	壁	大波スレート	有	含有	レベル 3
	屋根	大波スレート	有	含有	レベル 3
	腰壁	油性ペイント	無	－	
粗大ごみ破碎処理ヤード	屋根	大波スレート	有	未含有	
	腰壁	合成樹脂ペイント	無	－	
破碎物保管ヤード	壁・腰壁	合成樹脂ペイント	無	－	
ペットボトル圧縮保管ヤード	壁	小波スレート	有	含有	レベル 3
	屋根裏	断熱材	有	未含有	
	鉄骨梁	合成樹脂ペイント	無	－	
再資源選別処理施設	壁	小波スレート	有	含有	レベル 3
	屋根	大波スレート	有	含有	レベル 3
	ボイラー室	煙突部パッキン	不明	みなし	レベル 3
	ボイラー室	パーナー部パッキン	不明	みなし	レベル 3
	ダクト配管	保温材無し	無	－	
ポンプ小屋（井戸水用）	受水槽配管	保温材（直管部・エルボ部）	無	－	
	ポンプ配管	保温材（直管部・エルボ部）	無	－	
休憩室 1	天井	石膏ボード	有	みなし	レベル 3
	屋根	大波スレート	有	みなし	レベル 3
	屋根裏	断熱材（グラスウール）	無	－	
便所	屋根	小波スレート	有	みなし	レベル 3
	ドア	シーリング材	不明	みなし	レベル 3
休憩室 2	屋根	大波スレート	有	未含有	
	天井	石膏ボード	有	みなし	レベル 3
	サッシ・ドア	シーリング材	不明	みなし	レベル 3
	壁	断熱材	無	－	
	屋根裏	断熱材	無	－	
		（旭ファイバーグラス）			
	給湯器配管	保温材（直管部・エルボ部）	無	－	
休憩室 3	壁	小波スレート	有	未含有	
	屋根	大波スレート	有	未含有	

第2節 アスベスト除去作業

アスベストを除去する場合は、適切な処理方法を選定し、作業計画を作成する。なお、以下の図書等を参考にし、適切に除去すること。

- (1) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（財団法人建築保全センター）
- (2) 「建築改修工事監理指針」（財団法人建築保全センター）、「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（社団法人公共建築協会）
- (3) 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和7年3月訂正事項を反映 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課 環境省水・大気環境局大気環境課）

1. 呼吸用保護具の選定

- 1) 石綿等の除去等の作業を行う際に着用する呼吸用保護具は、隔離空間の内部では、電動ファン付き呼吸用保護具又はこれと同等以上の性能を有する空気呼吸器、酸素呼吸器若しくは送気マスク（以下、「電動ファン付き呼吸用保護具等」という。）とする。隔離空間の外部で石綿等の除去等の作業を行う際に着用する呼吸用保護具は、電動ファン付き呼吸用保護具等又は取替え式防じんマスク（防じんマスクの規格（昭和63年労働省告示第19号）に規定するRS3又はRL3のものに限る。）とする。ただし、石綿等の切断等を伴わない囲い込みの作業又は石綿含有成形板等の切断等を伴わずに除去する作業では、同規格に規定するRS2又はRL2の取替え式防じんマスクとして差し支えない。
- 2) 石綿含有成形板等の除去作業で、石綿等の切断等以外の作業を行う場合には、取替え式防じんマスク又は使い捨て式防じんマスクを着用する。
- 3) 石綿等の除去等の作業に当たっては、保護衣又は作業衣を用いる。特に隔離空間の内部での作業においては、フード付きの保護衣を用いる。

2. 石綿除去工事

- 1) 石綿含有建築用仕上塗材の除去

建築用仕上塗材の除去は、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」に準拠する。

- 2) 石綿含有成形板等の除去

石綿含有成形板等は、種類・形状も多様で硬い材料がほとんどであり、通常そのままの状態では石綿粉じんが飛散するものではない。しかし、切断や破砕により石綿等の粉じんが発散することから、原則として切断や破砕等を行わない様に、手作業（手バラシ）で解体することが原則である。粉じんが飛散しないように湿潤化することにも留意する。

第4章 PCB 処理計画

第1節 事前調査

1. 事前調査結果

PCB 含有物については、書面調査及び目視調査の結果、PCB を含有する設備・機器は確認されなかった。よって、本調査においては分析調査を実施しないものとした。

なお、照明装置の安定器は、銘板等により判定可能であるものについては調査を行った。高所等に設置してあり調査ができなかったものについては、受注者の責任において調査を行い、適切な対応を行うものとする。PCB 含有の有無について追加調査を実施した場合は、調査方法、調査対象機器、判定結果および対応内容を記載した報告書を発注者に提出するものとする。

第2節 処理計画

1. 処理計画

本解体工事において、PCB 含有の可能性があるもの又は PCB 含有が確認されたものを発見した場合は、処理方法、運搬先及び費用負担等について発注者と協議のうえ決定する。なお、運搬、保管及び安全対策は、協議結果及び関係法令等に基づき実施する。

第5章 産業廃棄物等の処理・処分計画

第1節 発生廃棄物等の処理・処分計画

1. 発生廃棄物の処理

解体に伴って発生する廃棄物は、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』等に基づき、適正に処理・処分する。汚染物、汚水（汚泥）、耐火物、鉄骨、鉄筋、機械類、建具類、配管類、配線材及びその他一式を適正に場外処分する。また、施設内に残留する残渣、灰類、廃油、廃薬液及び排水等がある場合、すべて取り除き適正に処理及び処分する。

2. 発生廃棄物の処分計画

『建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律』（建設リサイクル法）等に基づき、解体廃棄物の品目、数量、保管方法、保管場所を別途処理処分計画に定める。なお、再生資源化物（鉄類等）は有価物として受注者が処分する。

3. 油脂類および薬液の漏洩による汚染防止

油脂類および薬液は漏洩による汚染防止のため、事前に配管内の残留油脂・薬液類を確認し必要であれば取除き適正処分する。なお、油圧ユニット・油圧配管等の機械設備に使用している機械油等の一部を取除いていないため、既設設備を確認し取除き適正に処理及び処分する。照明の安定器について、PCB 含有調査を受注者で行い、含有する場合は発注者に報告し発注者の指定する場所に保管する。含有しない場合は本解体工事で解体撤去後に処理及び処分する。

4. フロン類

フロン排出抑制法に基づき、エアコン等の特定フロン（CFC、HCFC）、代替フロン（HFC）の有無を調査し、大気に放出しないように適正に処理する。受注者は、フロン排出抑制法に基づく回収・処理を行った場合は、フロン類回収・処理に係る引取証明書、破壊証明書その他処理状況が確認できる書類を発注者に提出するものとする。

5. 特別管理産業廃棄物管理責任者

解体に伴って発生する廃棄物に特別管理産業廃棄物が含まれている。関係法令に従い、特別管理産業廃棄物の処理に関する業務を適切に行わせるため、特別管理産業廃棄物管理責任者を置かなければならない。

6. その他

廃材は、建設リサイクル法に示す3品目（木材、コンクリート、アスファルトコンクリート）および金属くず以外にも可能なものは極力中間処理場へ持ち込みリサイクルに努める。（例：石膏ボード、蛍光灯など）

旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事

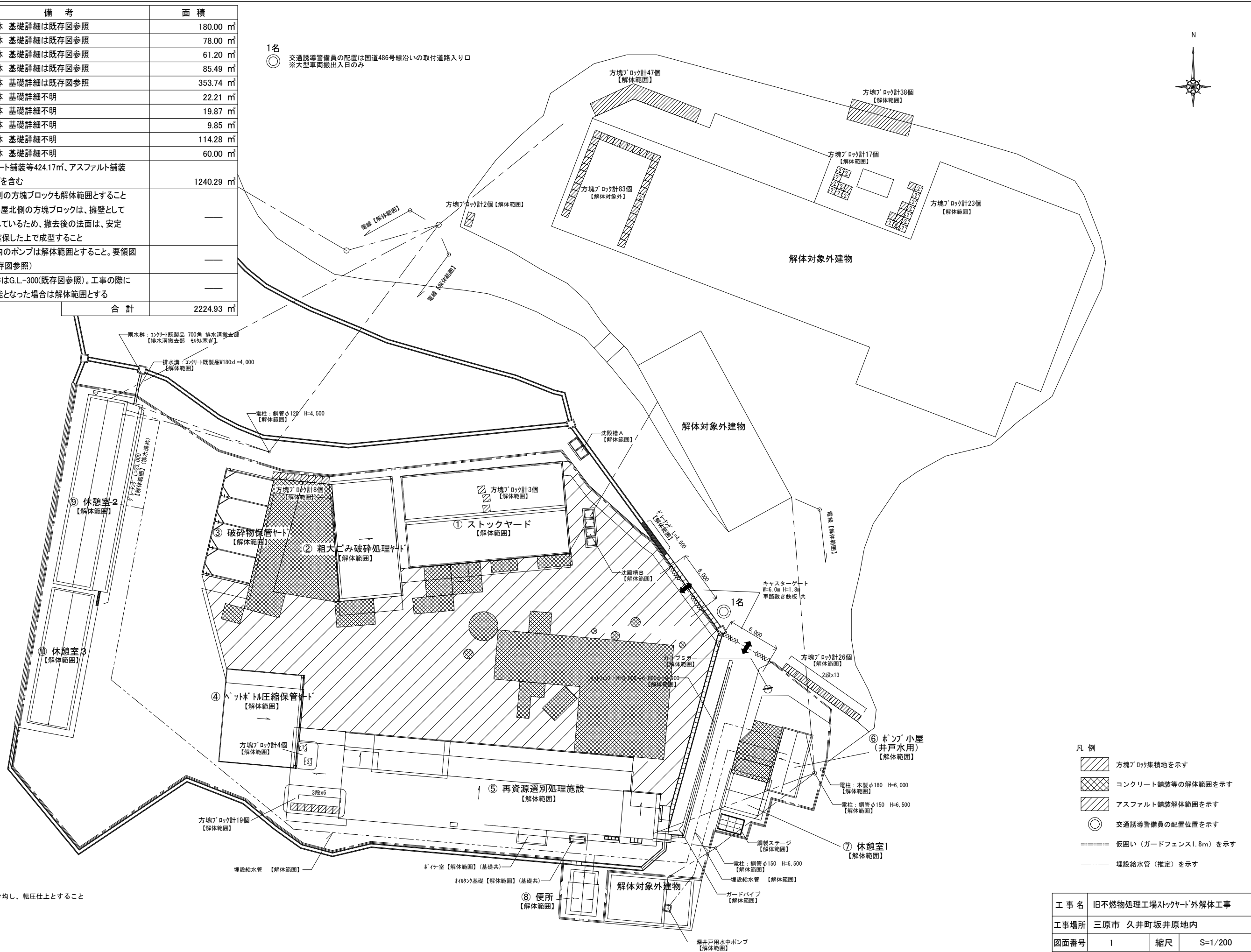
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
0	解体工事特記仕様書	N. S.
1	解体範囲図	1/200
2	ストックヤード 仕上表・平面図	1/100
3	ストックヤード 立面図	1/100
4	粗大ごみ破砕ヤード 仕上表・平面図・立面図	1/100
5	破砕物保管ヤード 仕上表・平面図・立面図	1/100
6	ペットボトル圧縮保管ヤード 仕上表・平面図・立面図	1/100
7	再資源選別処理施設 仕上表・屋根伏図・平面図	1/100
8	再資源選別処理施設 立面図	1/100
9	ポンプ小屋（井戸水用） 仕上表・平面図・立面図	1/50
10	休憩室 1 仕上表・平面図・立面図	1/50
11	便所 仕上表・平面図・立面図	1/50
12	休憩室 2 仕上表・平面図・立面図	1/100
13	休憩室 3 仕上表・平面図・立面図	1/100
14～15	外構詳細図	1/50, 1/30
16～20	仮設計画図（参考図）	1/100
21～69	既存図	1/300, 1/200, 1/100, 1/50 1/40, 1/30, 1/20, 1/10, 1/5

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	－	縮尺	－
図面名： 表紙・図面リスト			
三原広域市町村圏事務組合			

[illegible]

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード' 外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	00-2	縮尺	—
図面名:	解体工事特記仕様書-2		
三原広域市町村圏事務組合			

NO.	名 称	備 考	面 積
①	ストックヤード	建屋解体 基礎詳細は既存図参照	180.00 m ²
②	粗大ごみ破碎処理ヤード	建屋解体 基礎詳細は既存図参照	78.00 m ²
③	破碎物保管ヤード	建屋解体 基礎詳細は既存図参照	61.20 m ²
④	ペットボトル圧縮保管ヤード	建屋解体 基礎詳細は既存図参照	85.49 m ²
⑤	再資源選別処理施設	建屋解体 基礎詳細は既存図参照	353.74 m ²
⑥	ポンプ小屋(井戸水用)	建屋解体 基礎詳細不明	22.21 m ²
⑦	休憩室1	建屋解体 基礎詳細不明	19.87 m ²
⑧	便所	建屋解体 基礎詳細不明	9.85 m ²
⑨	休憩室2	建屋解体 基礎詳細不明	114.28 m ²
⑩	休憩室3	建屋解体 基礎詳細不明	60.00 m ²
⑪	外構	コンクリート舗装等424.17m ² 、アスファルト舗装 790.34m ² を含む	1240.29 m ²
⑫	方塊ブロック	敷地東側の方塊ブロックも解体範囲とすること ポンプ小屋北側の方塊ブロックは、塀壁として 使用されているため、撤去後の法面は、安定 勾配を確保した上で成型すること	—
⑬	井戸ポンプ	井戸樹内のポンプは解体範囲とすること。要領図 あり(既存図参照)	—
⑭	埋設給水管	埋設深さはG.L.-300(既存図参照)。工事の際に 判別可能となった場合は解体範囲とする	—
合 計			2224.93 m ²

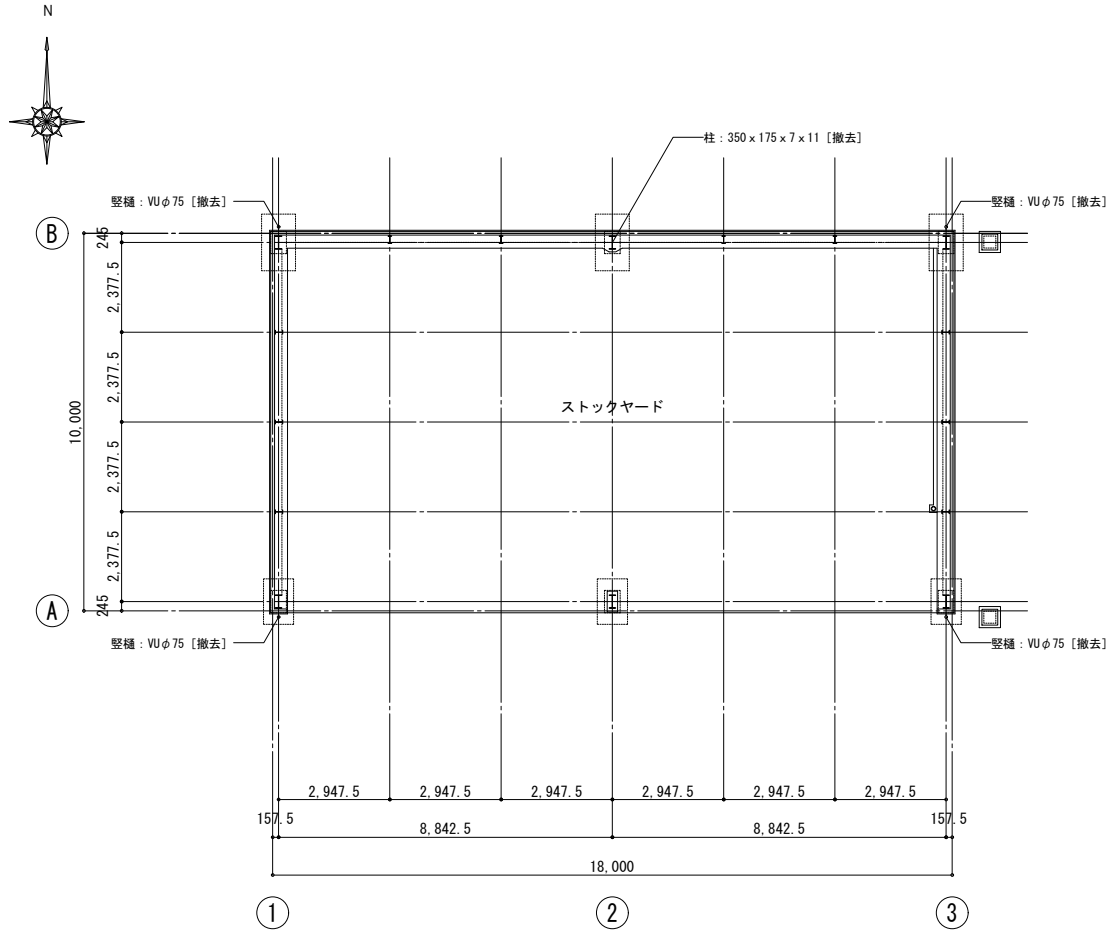


・舗装撤去部の表層仕上げは真砂土を敷き均し、転圧仕上とすること

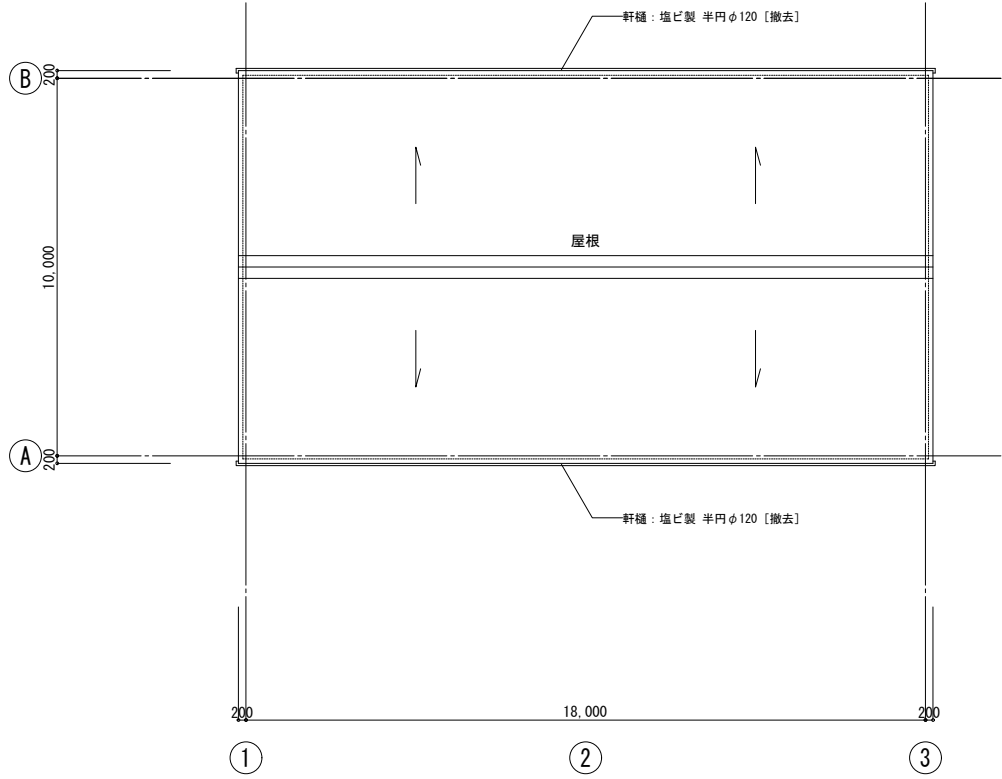
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	1	縮尺	S=1/200
図面名:	解体範囲図		
三原広域市町村圏事務組合			

（ ① スtockヤード ） 仕 上 表															
外部仕上表															
	床		立上り		外壁		屋根								備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	
名称等	C	コンクリート金コ押しえ [撤去]	CB	CB t100 化粧積 H=1000 [撤去]	S	大波スレート張 【石綿含有 10%】 [撤去]	S	大波スレート張 【石綿含有 10%】 [撤去]							軒樋：塩ビ製 半円φ120 [撤去] 壁樋：VUφ75 [撤去] 分電盤：鋼製SOP塗 [撤去]

内部仕上表																		
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁				天井				備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上		
1F	ストックヤード	C	コンクリート金打押え [撤去]	S	コンクリート打放仕上 [撤去]	1000	S	銅板t3.2張 + OP塗 [撤去]	2700	C	大波スレート張 【石綿含有 10%】 [撤去]	鉄骨柱 現し [撤去]	S	大波スレート張 【石綿含有 10%】 [撤去]	直天	鉄骨梁 現し [撤去]	水銀灯：鋼製既製品 3台 [撤去] 分電盤：鋼製SOP塗 2台 [撤去]	

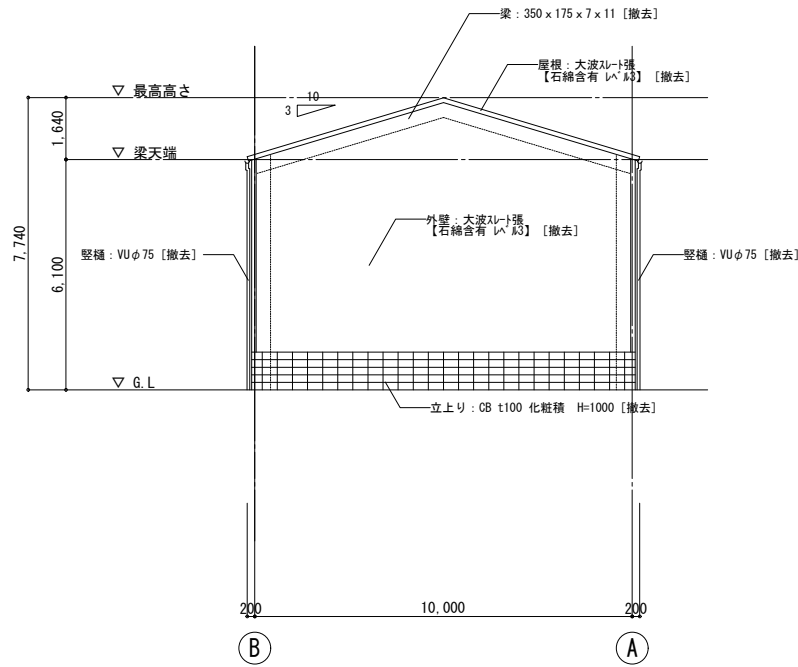


平面図 1/100

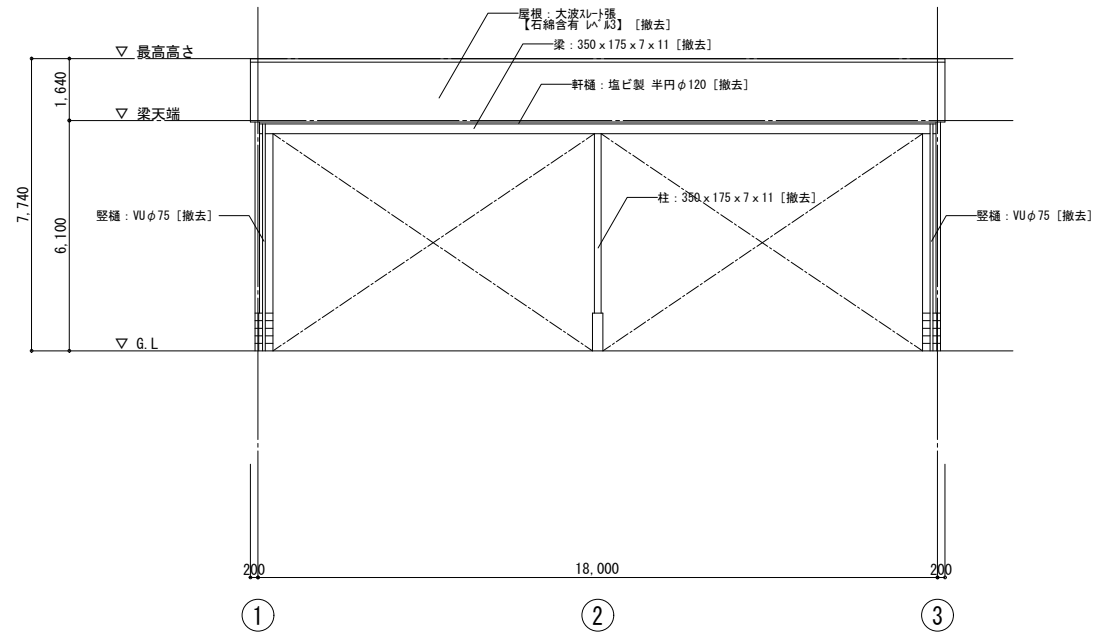


屋根伏図 1/100

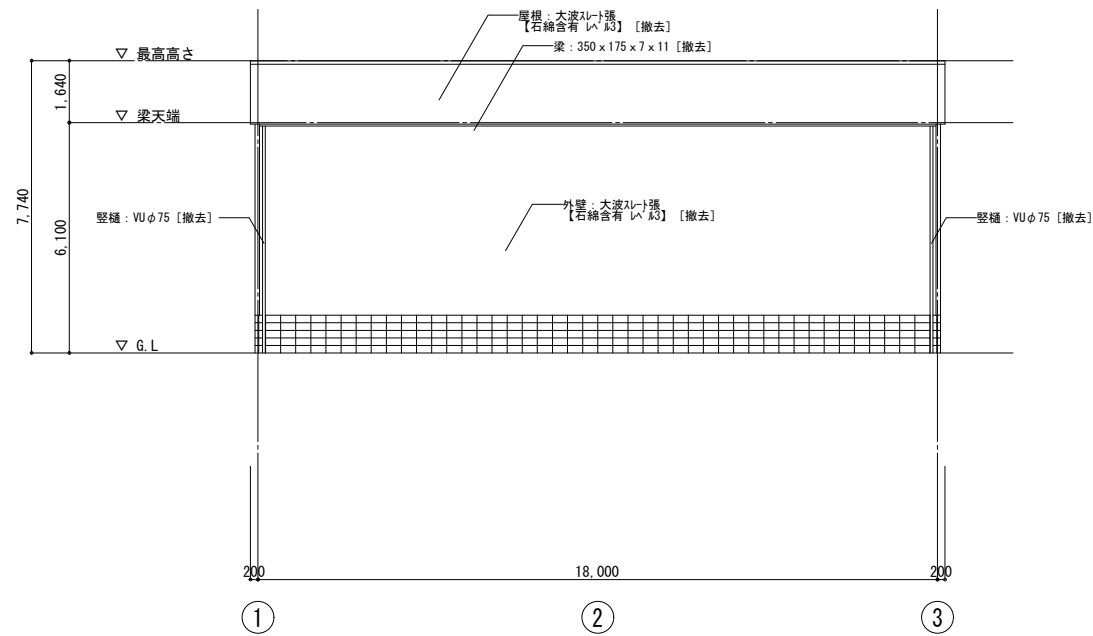
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	2	縮尺	S=1/100
図面名: ① スtockヤード 仕上表・平面図			
三原広域市町村圏事務組合			



東・西立面図 1/100



南立面図 1/100

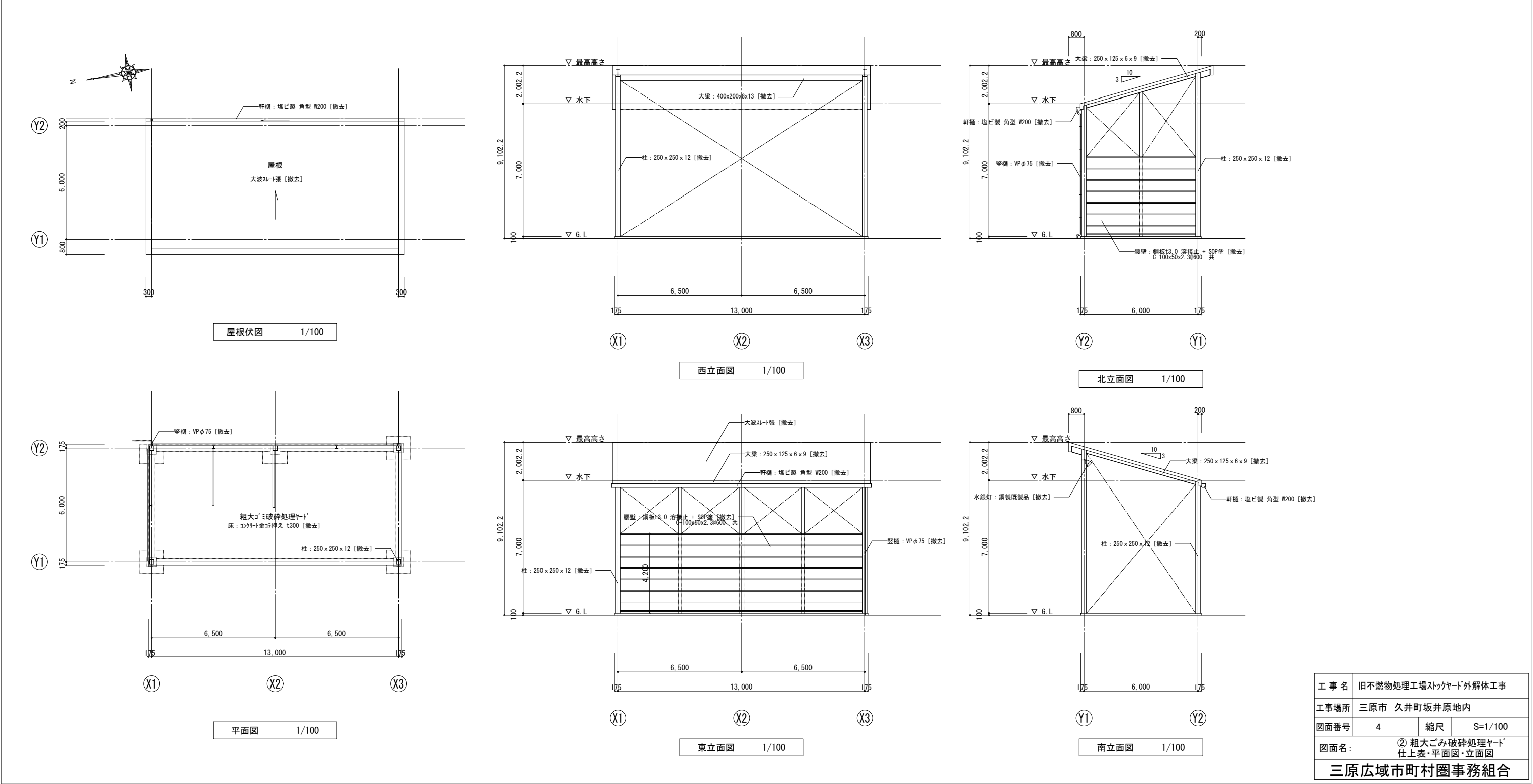


北立面図 1/100

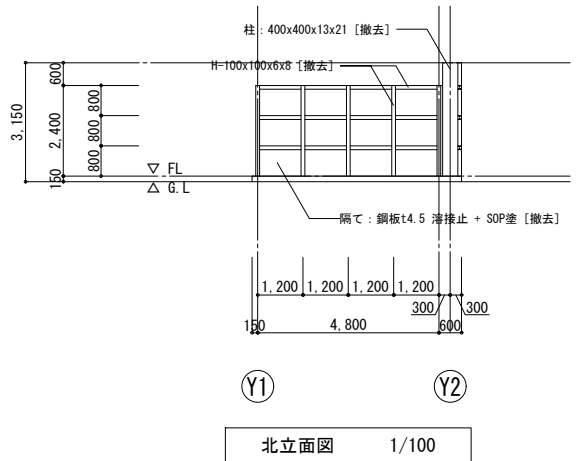
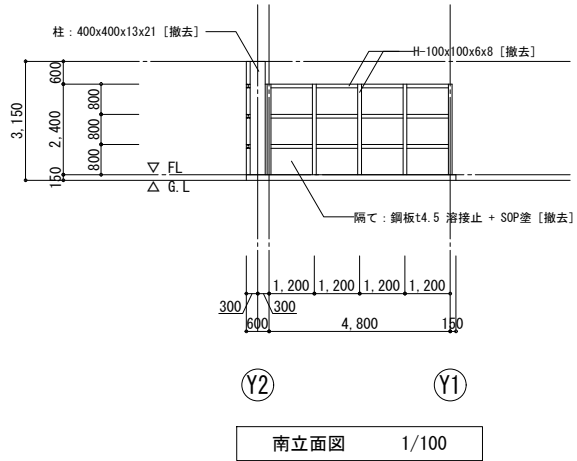
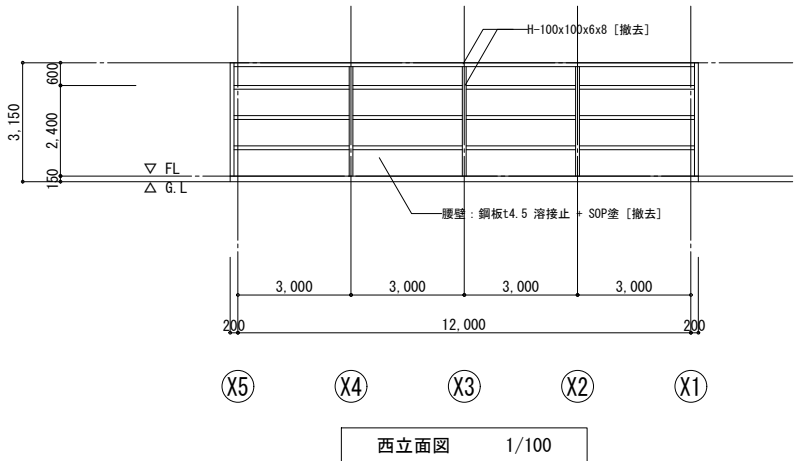
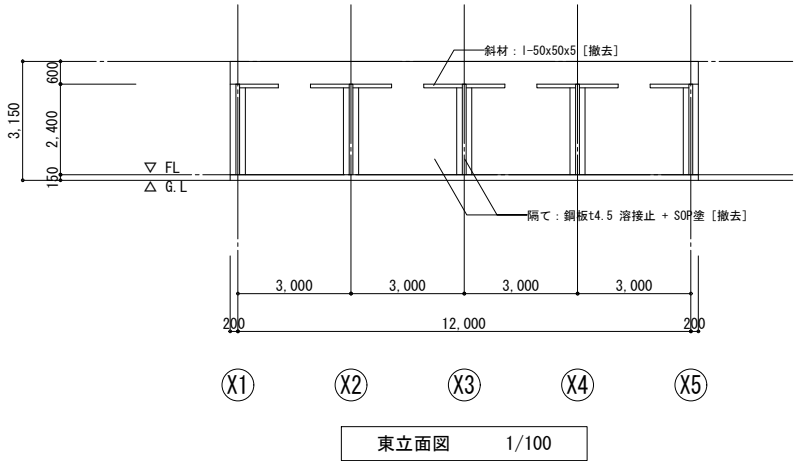
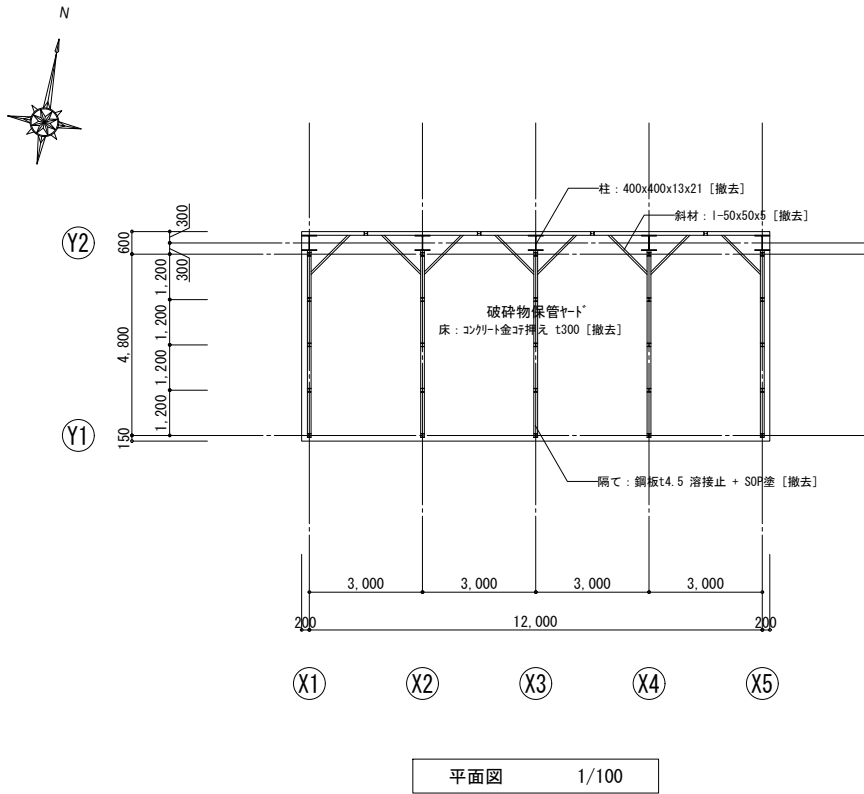
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	3	縮尺	S=1/100
図面名: ① スtockヤード 立面図			
三原広域市町村圏事務組合			

（ ②粗大ゴミ破碎処理ヤード ） 仕 上 表															
外部仕上表															
	床		立上り		腰壁		屋根								備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	下地	仕 上	
名称等	C	コンクリート金コ押しえ t300 [撤去]			S	鋼板t3.0 溶接止 + SOP塗 [撤去]	S	大波スレート張 [撤去]							軒樋：塩ビ製 角型 W200 [撤去] 壁樋：VPφ75 樋み金物 SUS製φ1200共 [撤去] 分電盤：鋼製SOP塗 [撤去]

内部仕上表																	
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁				天井			備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上	
1F	粗大ゴミ破碎処理ヤード	C	コンクリート金コ押しえ t300 [撤去]				S	鋼板t3.0 溶接止 + SOP塗 [撤去]	4200	S		鉄骨柱 現し SOP塗 [撤去]	S	大波スレート張	直天	鉄骨梁 現し SOP塗 [撤去]	水銀灯：鋼製既製品 4台 [撤去]



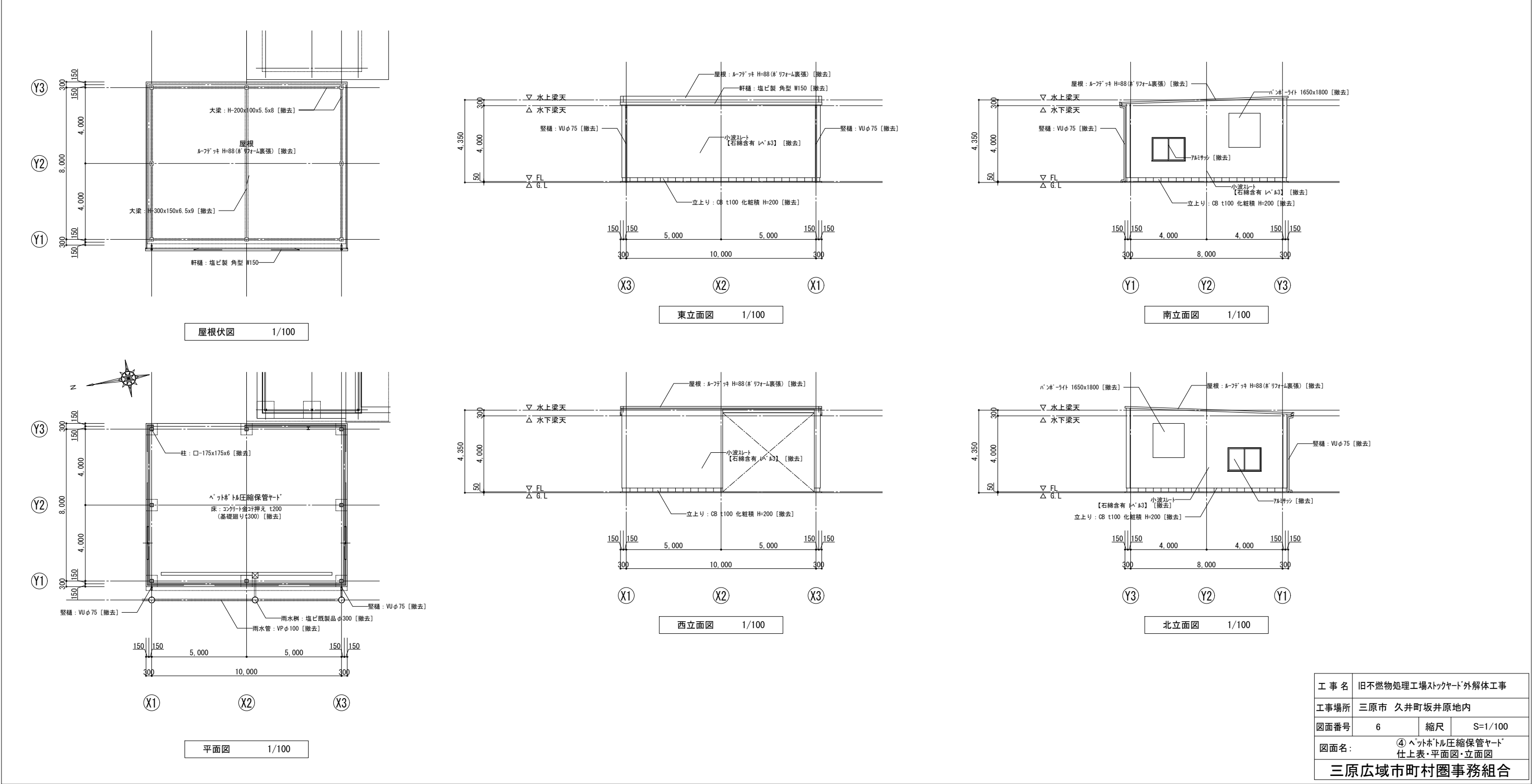
（ ③ 破砕物保管ヤード ） 仕 上 表																	
仕上表																	
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁			天井				備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上	
1F	破砕物保管ヤード	C	コンクリート金釘押え t300 [撤去]				S	鋼板t4.5 溶接止 + SOP塗 [撤去]	3000			鉄骨柱 現し SOP塗 [撤去]					隔て：鋼板t4.5 溶接止 + SOP塗 H=2400 [撤去]



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	5	縮 尺	S=1/100
図面名：③ 破砕物保管ヤード 仕上表・平面図・立面図			
三原広域市町村圏事務組合			

(④ ペットボトル圧縮保管ヤード) 仕 上 表																
外部仕上表																
名称等		床		立上り		外壁		屋根						備 考		
		下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上		下地	仕 上
				CB	CB t100 化粧積 H=200 [撤去]	S	小波スレート 一部パンボーライト 【石綿含有 16% #3】 [撤去]	S	ルーフツキ H=88 (6'リフォーム裏張) [撤去]							76ミサツ W1700xH1200 シルバｰ 網入型板 #15 t6.8 [撤去] 軒樋：塩ビ製 角型 W150 [撤去] 壁樋：VUφ75 掴み金物 共 [撤去]

内部仕上表																
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁			天井			備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	
1F	ペットボトル圧縮保管ヤード	C	コンクリート金コ押しえ t200 (基礎廻りt300) [撤去]	CB	CB t100 化粧積 [撤去]	200	S		S	小波スレート 一部パンボークライト張 素地現し 【石綿含有 16% #3】 [撤去]	鉄骨柱 現し SOP塗 [撤去]	C	ルーフツキ H=88 (6'リフォーム裏張) 現し [撤去]	—	鉄骨梁 現し SOP塗 [撤去]	照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 8ヶ所 [撤去] 分電盤：鋼製SOP塗 [撤去]



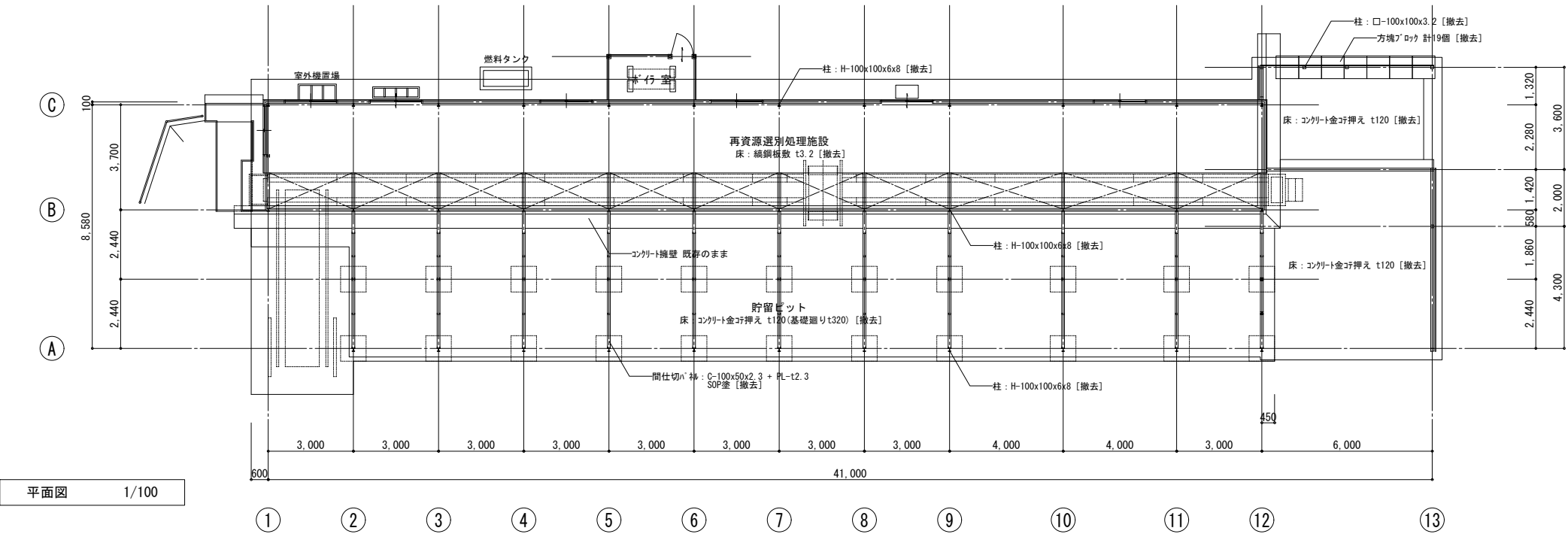
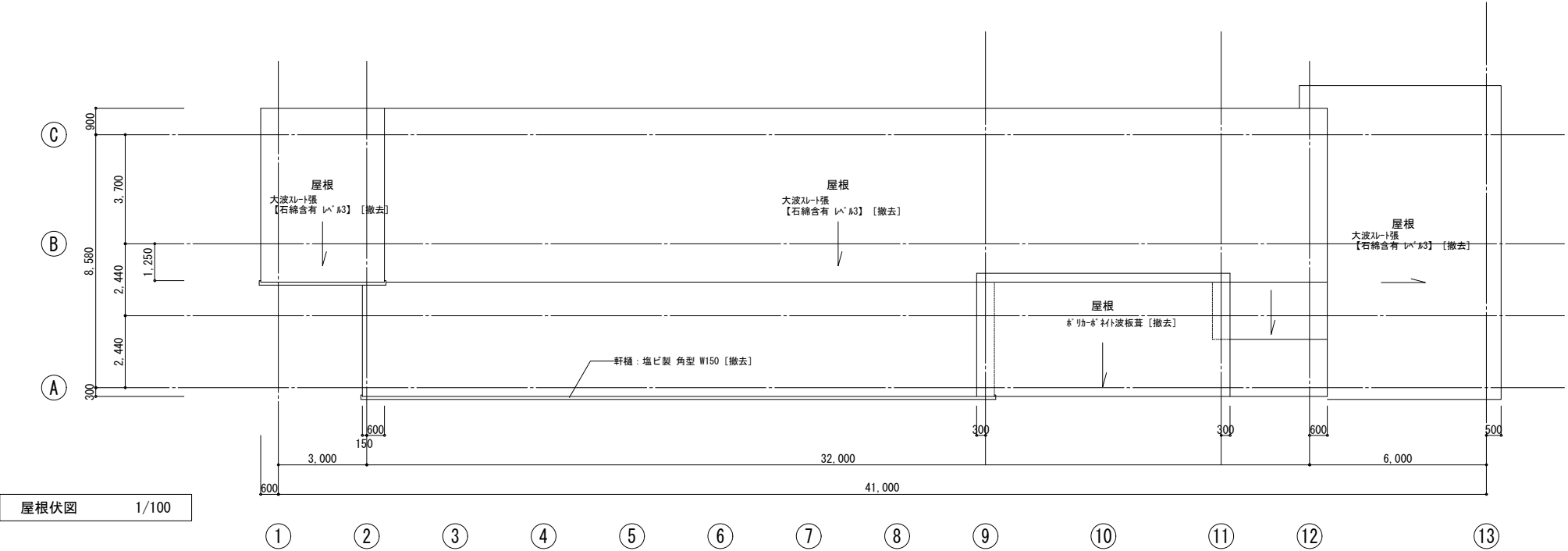
(⑤ 再資源選別処理施設) 仕 上 表

外部仕上表

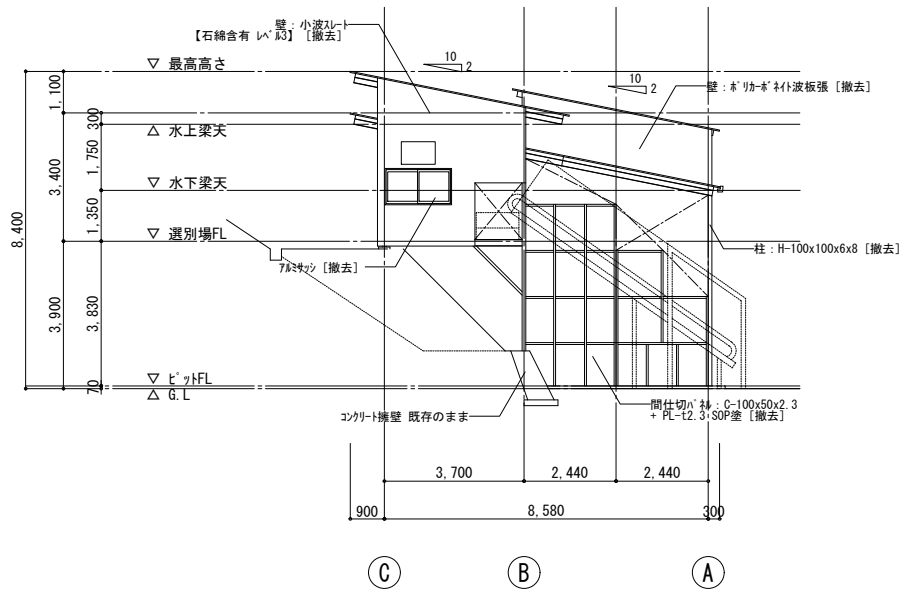
	床		立上り		外壁		屋根		間仕切パネル		貯留ピット柱						備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	下地	仕 上	
名称等	C	コンクリート金型押え t120(基礎廻りt320) 【撤去】	CB	CB t100 化粧積 H=200 【撤去】	S	小波スレート 【石綿含有 いゝ #3】 【撤去】 一部ホリカホリネット波板張	S	大波スレート 【石綿含有 いゝ #3】 【撤去】 一部ホリカホリネット波板張	S	C-100x50x2.3 + PL-t2.3 SOP塗 【撤去】	S	C-100x50x2.3x2.H-100x100x6x8 SOP塗 【撤去】					7/8ミサック：シルバーク 網入型板ガラス t6.8 【撤去】 1800x1100x3, 1800x900, 1700x900, 1800x2000x2, 770x2000 軒瓦：塩ビ製 角型 W150 【撤去】

内部仕上表

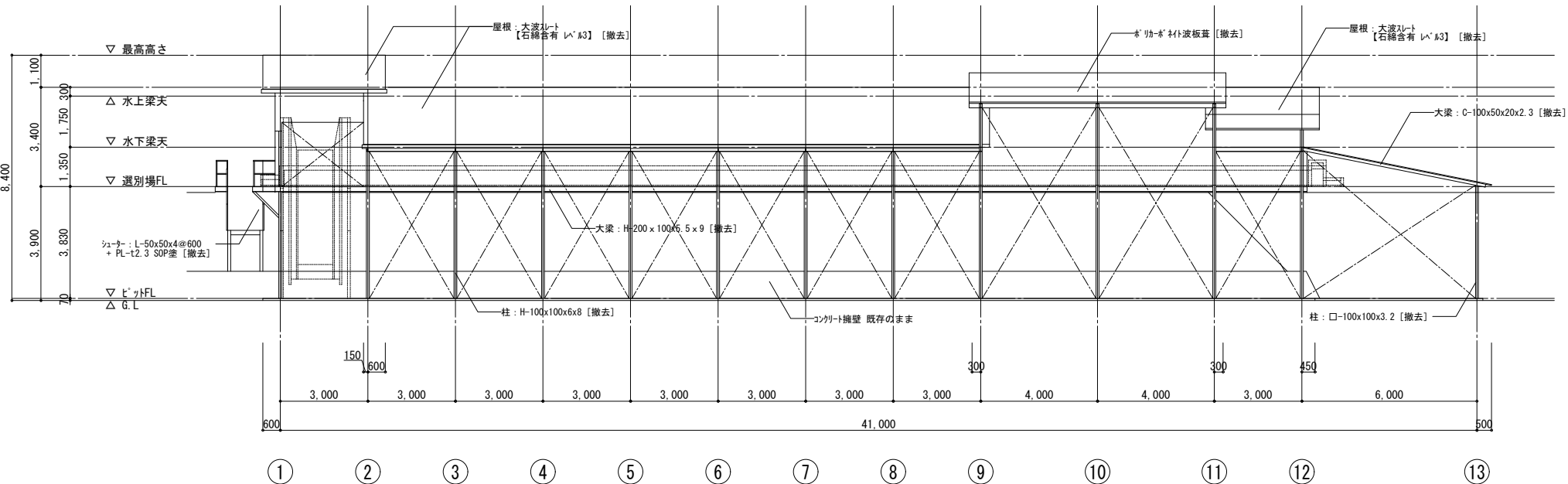
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁			天井			備 考		
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ		梁型仕上	
1F 〔撤去〕	再資源選別処理施設	C	縞鋼板敷 t3.2 〔撤去〕				S	珪藻土張 t9.0 〔撤去〕	1800	S	小波スレート 素地現し 【石綿含有 10%】 〔撤去〕		鉄骨柱 現し SOP塗 〔撤去〕	C	大波スレート 素地現し 【石綿含有 10%】 〔撤去〕	—	鉄骨梁 現し SOP塗 〔撤去〕	照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 30ヶ所 〔撤去〕 分電盤：銅製SOP塗 〔撤去〕



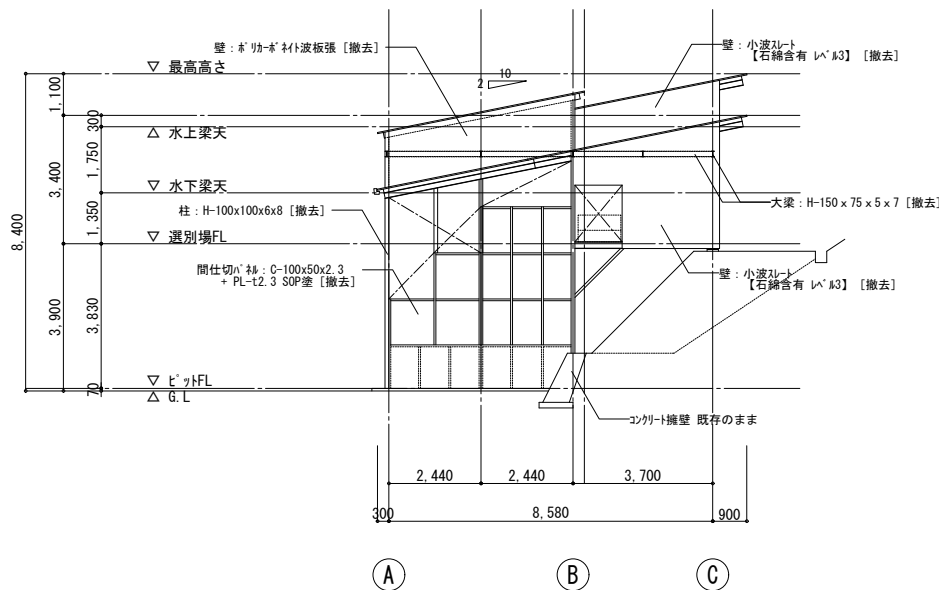
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	7	縮尺	S=1/100
図面名：	⑤ 再資源選別処理施設 仕上表・屋根伏図・平面図		
三原広域市町村圏事務組合			



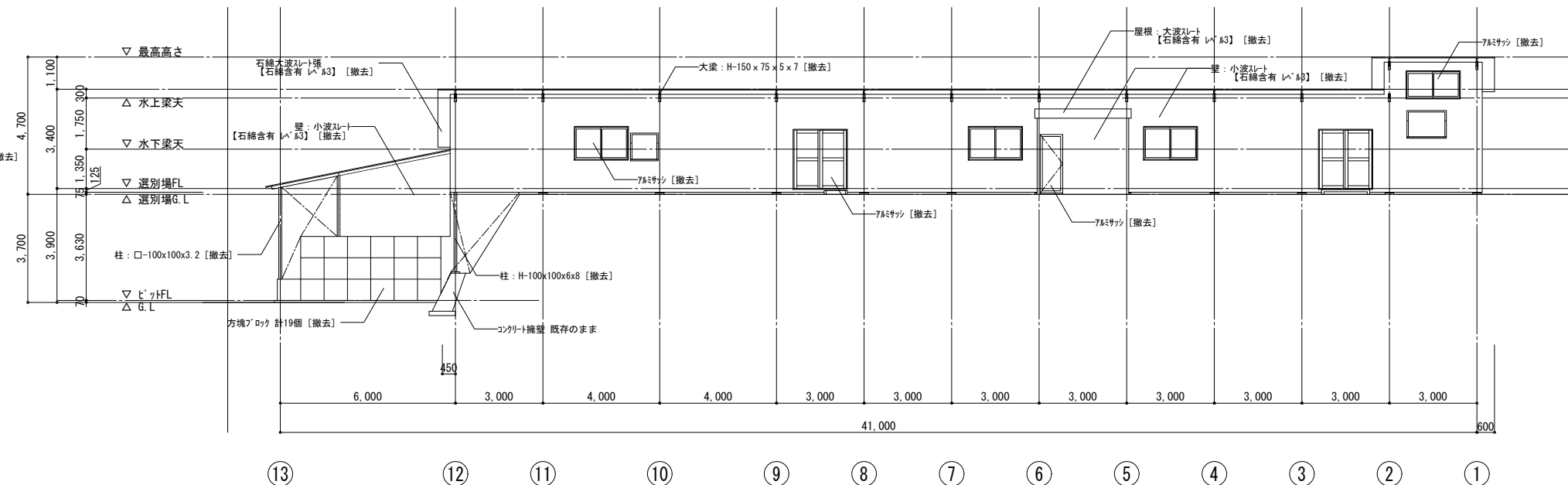
東立面図 1/100



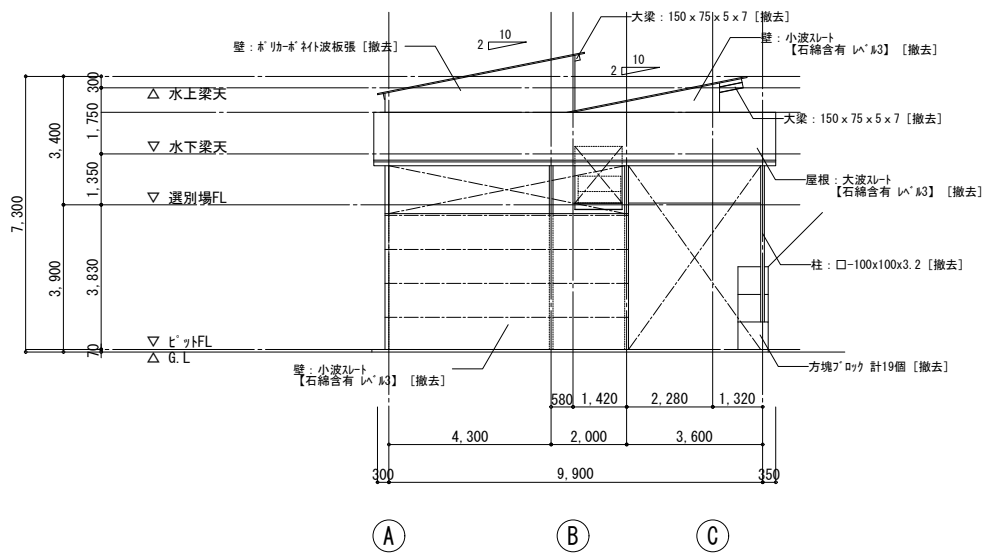
北立面図 1/100



西立面図-1 1/100



南立面図 1/100



西立面図-2 1/100

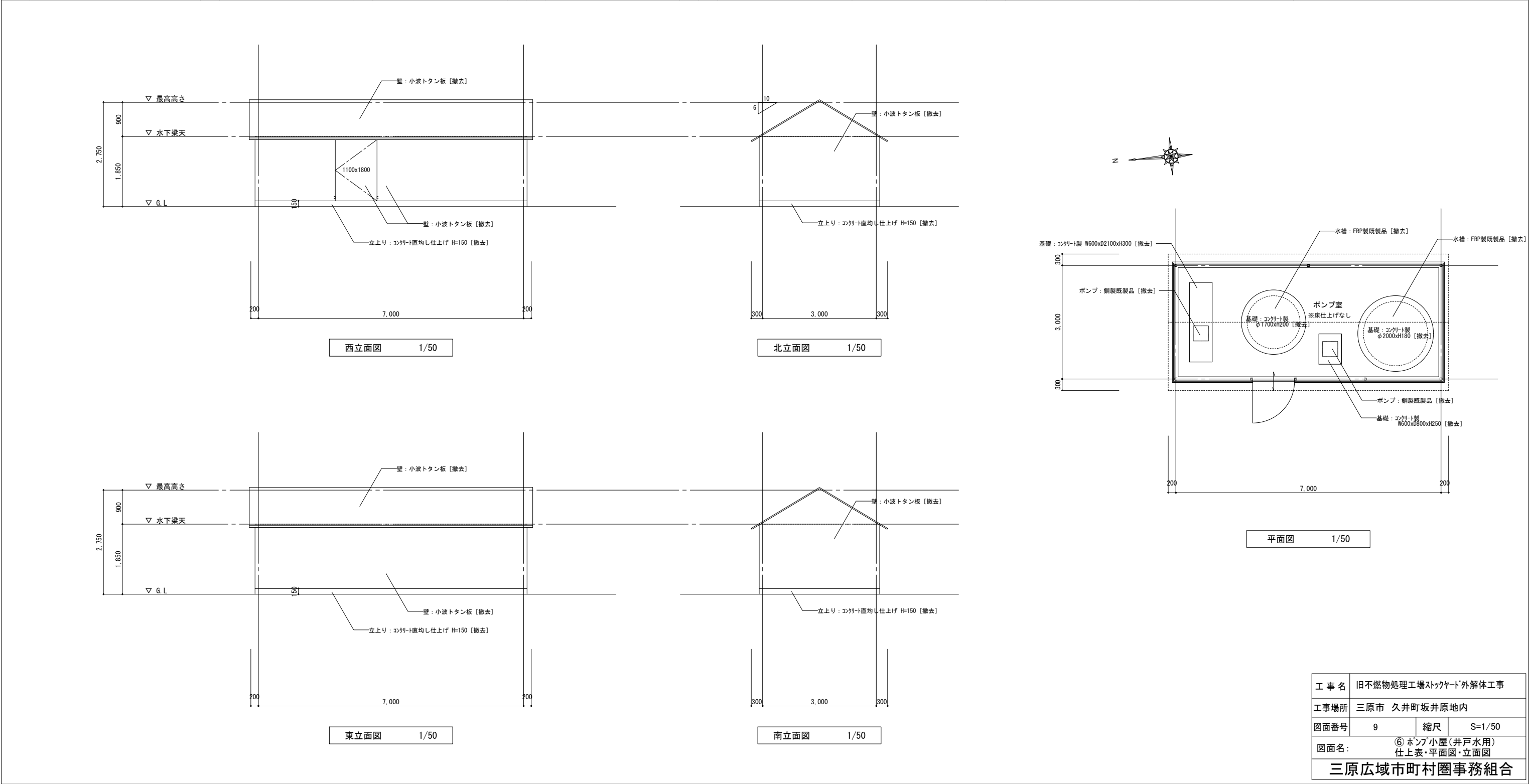
特記事項
・アルミサッシの寸法および箇所数は外部仕上表による

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	8	縮 尺	S=1/100
図面名：	⑤ 再資源選別処理施設 立面図		
三原広域市町村圏事務組合			

(⑥ ポンプ小屋(井戸水用)) 仕 上 表

外部仕上表															
	床		立上り		外壁		屋根								備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	
名称等			C	コンクリート直均し仕上げ H=150 [撤去]	S	小波トタン板 [撤去]	S	小波トタン板 [撤去]							基礎：コンクリート立上り W150 x H150 [撤去] 柱：C-60x30x10x2.3x2 梁：C-75x45x15x2.3

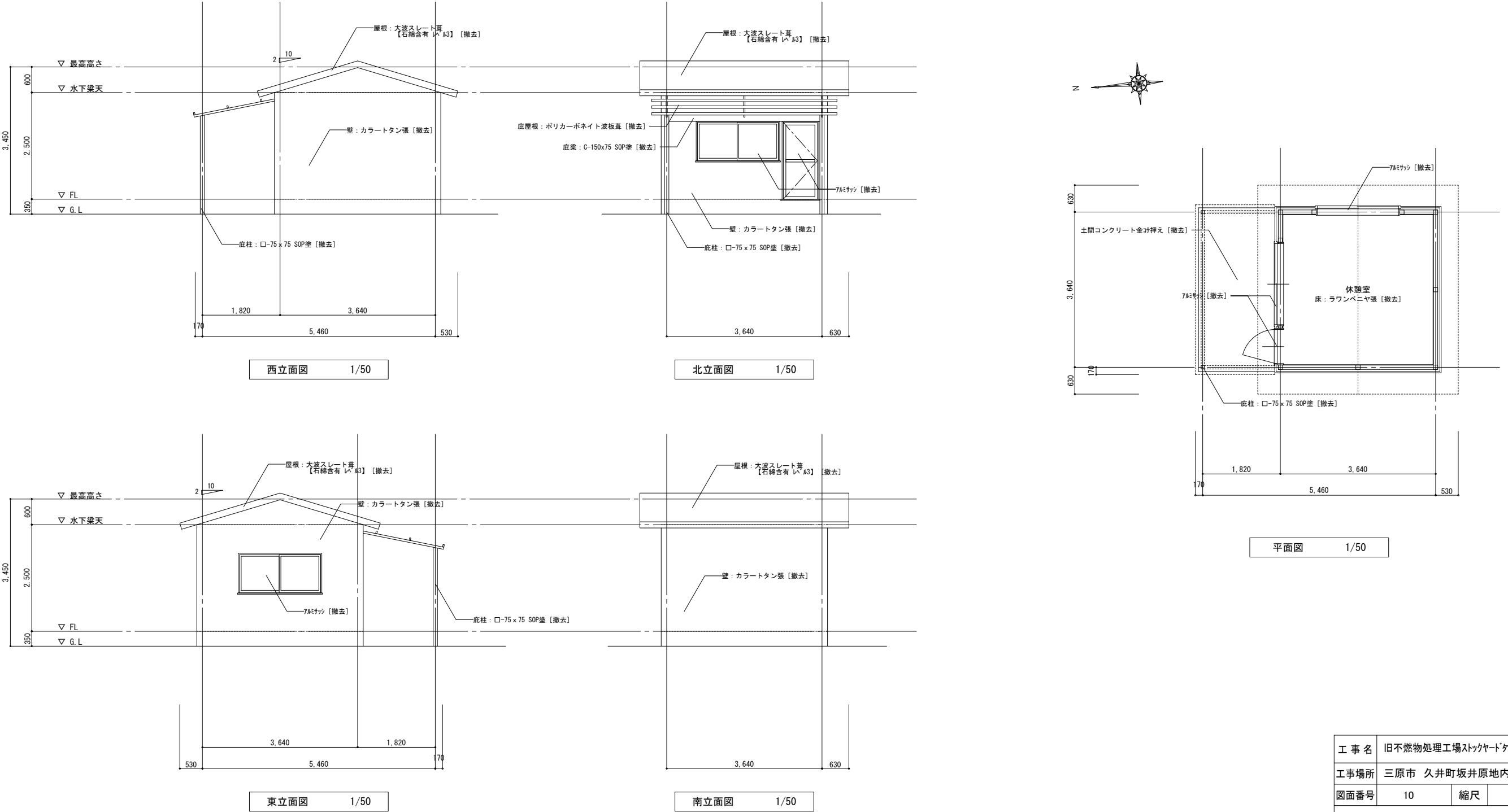
内部仕上表																	
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁			天井				備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上	
1F	ポンプ室	C	土間現し [撤去]	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ [撤去]	150			S	小波トタン板 現し [撤去]	鉄骨柱 現し 錆止め塗料 [撤去]	C	小波トタン板 現し [撤去]	—	鉄骨梁 現し 錆止め塗料 [撤去]	照明：蛍光灯 直管型 20Wx1 3ヶ所 [撤去] *ﾌﾟﾝ 制御盤：鋼製SOP塗 [撤去] ｱﾝﾍﾞ ｱﾌﾞ ｴﾚｰｶｰ x1、安全ﾌﾞﾚｰｶｰ x1	



(⑦ 休憩室 1) 仕 上 表

外部仕上表															
	床		立上り		外壁		屋根		庇屋根						備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	
名称等	C	土間コンクリート金押し押え【撤去】	CB	CB H300の上カラートタン張【撤去】	S	カラートタン張【撤去】	S	大波スレート葺【石綿含有 いへ A3】【撤去】	S	ポリカーボネイト波板葺【撤去】					庇柱：□-75×75、庇梁：C-150×75 共にSOP塗【撤去】 7&ミサシ：シルバー 網入型板が 5φ t6.8【撤去】 1900x900x2,800x1800

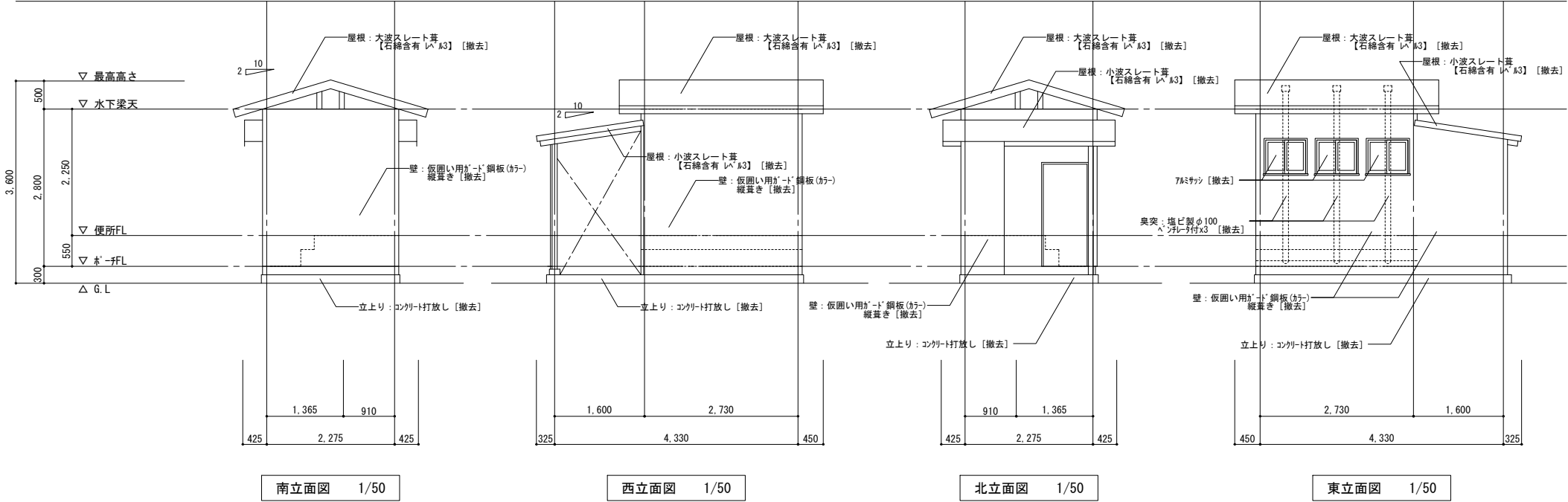
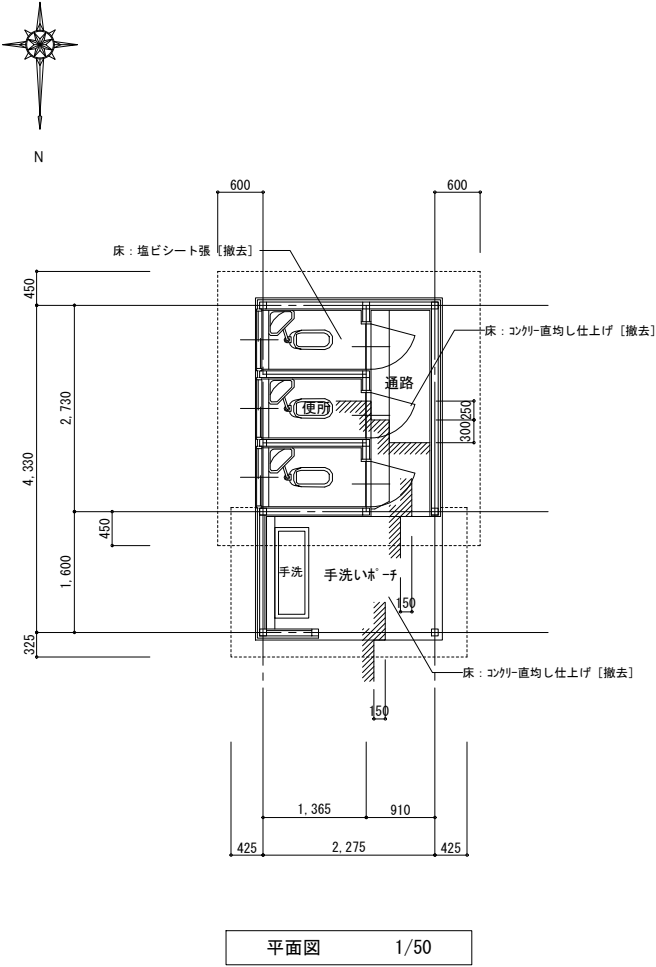
内部仕上表																		
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁				天井			備 考	
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上		
1F	休憩室	W	ラワンベニヤ張〔撤去〕	W	木製巾木〔撤去〕	75				W	化粧ベニヤ板〔撤去〕			W	断熱材充填の上ジブトーン張〔撤去〕 【石綿含有 いへ A3】〔撤去〕	2500		照明：蛍光灯 直管型 40Wx1 1ヶ所〔撤去〕



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	10	縮尺	S=1/50
図面名： ⑦ 休憩室1 仕上表・平面図・立面図			
三原広域市町村圏事務組合			

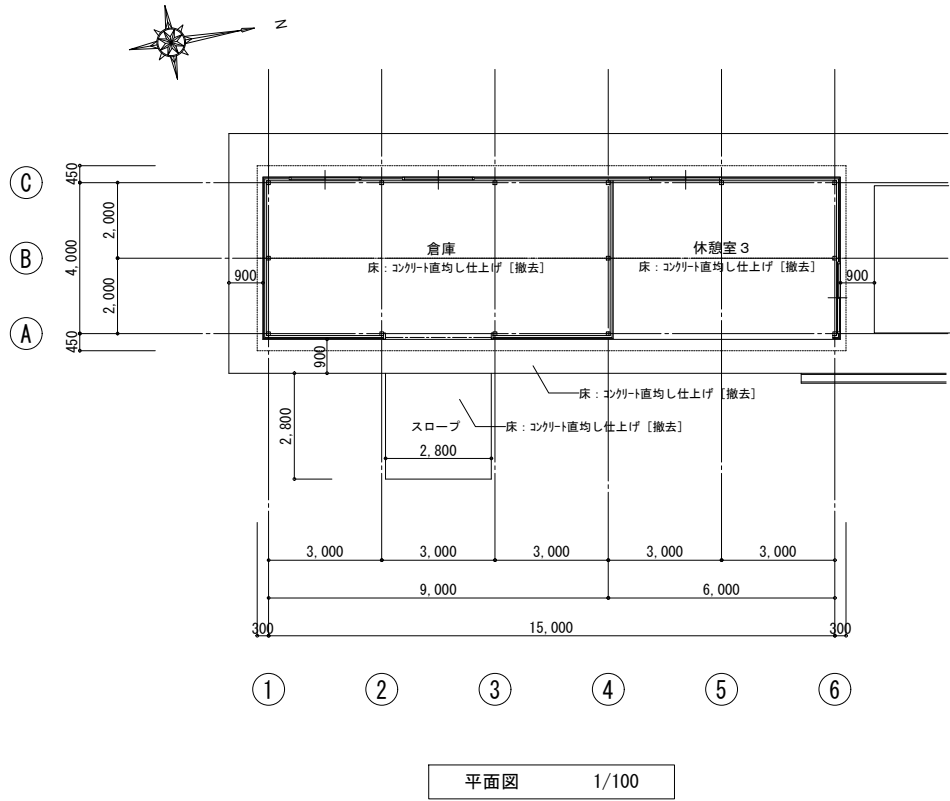
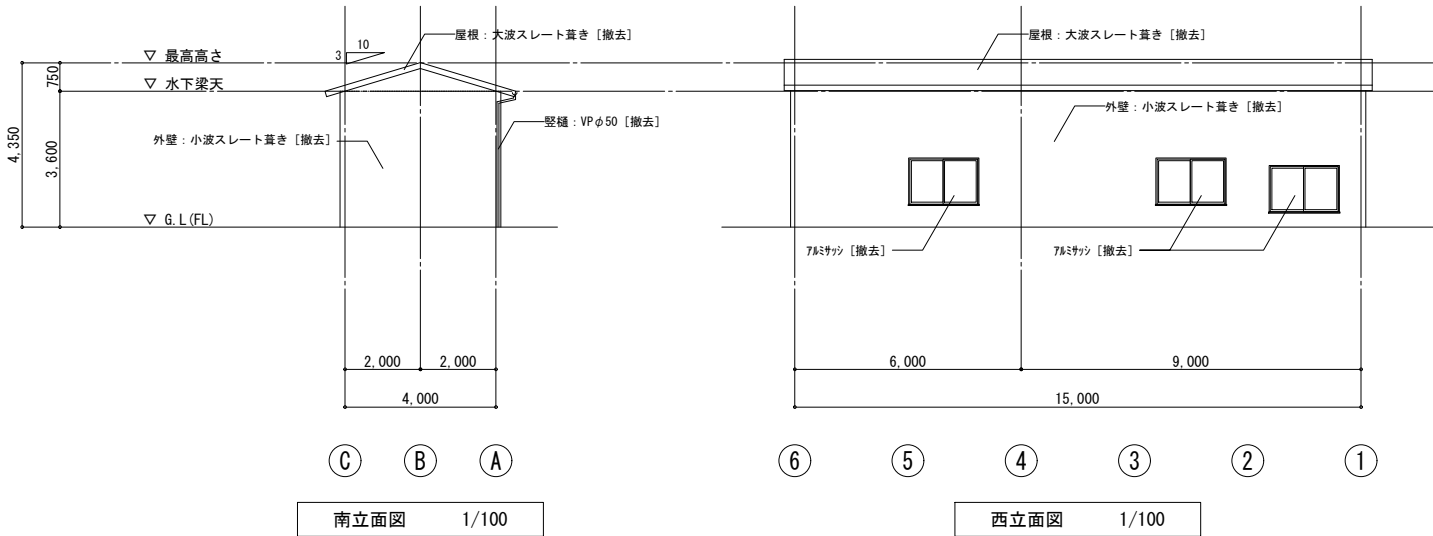
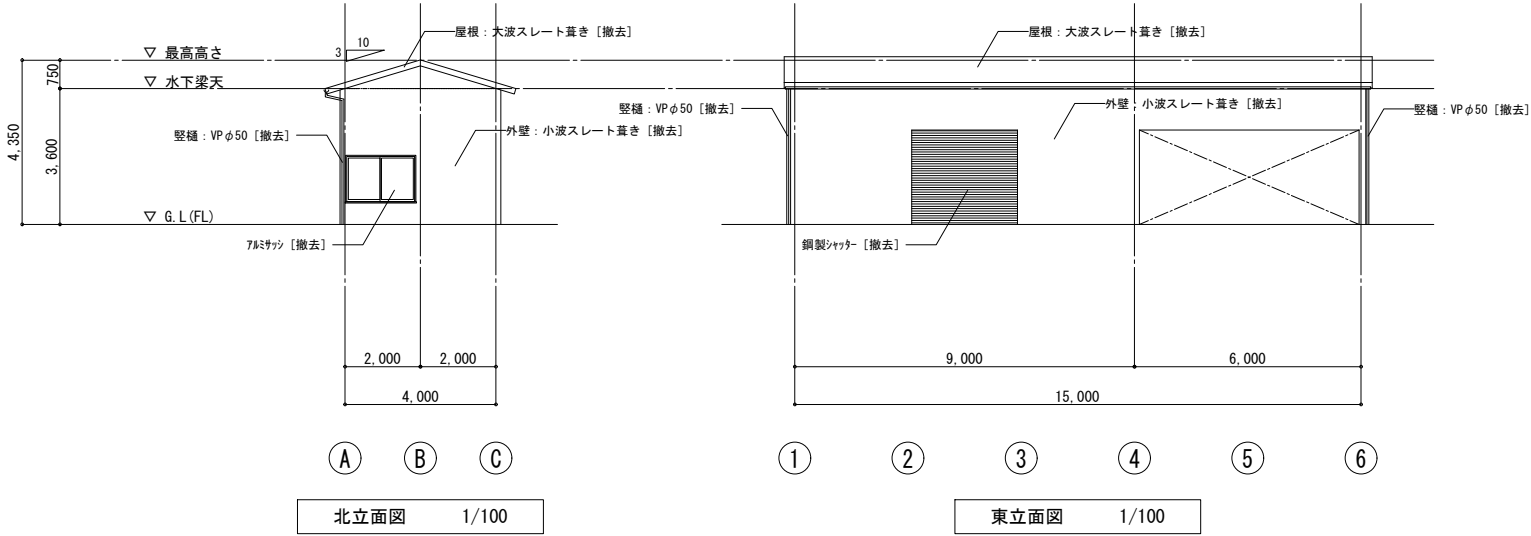
（ ⑧ 便所 ） 仕 上 表															
外部仕上表															
	床		立上り		外壁		屋根		ポーチ屋根						備 考
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上	
名称等	C	コンクリート直均し仕上げ【撤去】	C	コンクリート打放し【撤去】	W	仮囲い用ガード鋼板(カラー)縦葺き【撤去】	W	大波スレート葺き【石綿含有 16%】【撤去】	W	小波スレート葺き【石綿含有 16%】【撤去】					臭突：塩ビ製φ100 ベンチレータ付x3【撤去】 700x300：シルバー フロアタイル t6.0【撤去】 710x660x3

内部仕上表																	
階	室 名	床		幅木			腰壁			壁			天井				備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上	
1F	通路	C	コンクリ直均し仕上げ【撤去】	W	木製巾木【撤去】	60				W	羽目板横葺き【撤去】		C	化粧ベニヤ張【撤去】	W		廻り縁：木製 25x40【撤去】 照明：ダウンライト 1ヶ所【撤去】
	便所	W	塩ビシート張【撤去】	W	木製巾木【撤去】	60				W	羽目板横葺き【撤去】		C	化粧ベニヤ張【撤去】	W		廻り縁：木製 25x40【撤去】 照明：白熱灯 40Wx1 3ヶ所【撤去】 和式便器：簡易水洗型 3ヶ所【撤去】 700x700 シルバー 網入型板ガラス t6.8【撤去】
	手洗いポーチ	C	コンクリ直均し仕上げ【撤去】								W	羽目板横葺き 一部 キッチンパネル【撤去】		C	小波スレート 現し【撤去】 【石綿含有 16%】【撤去】	W	



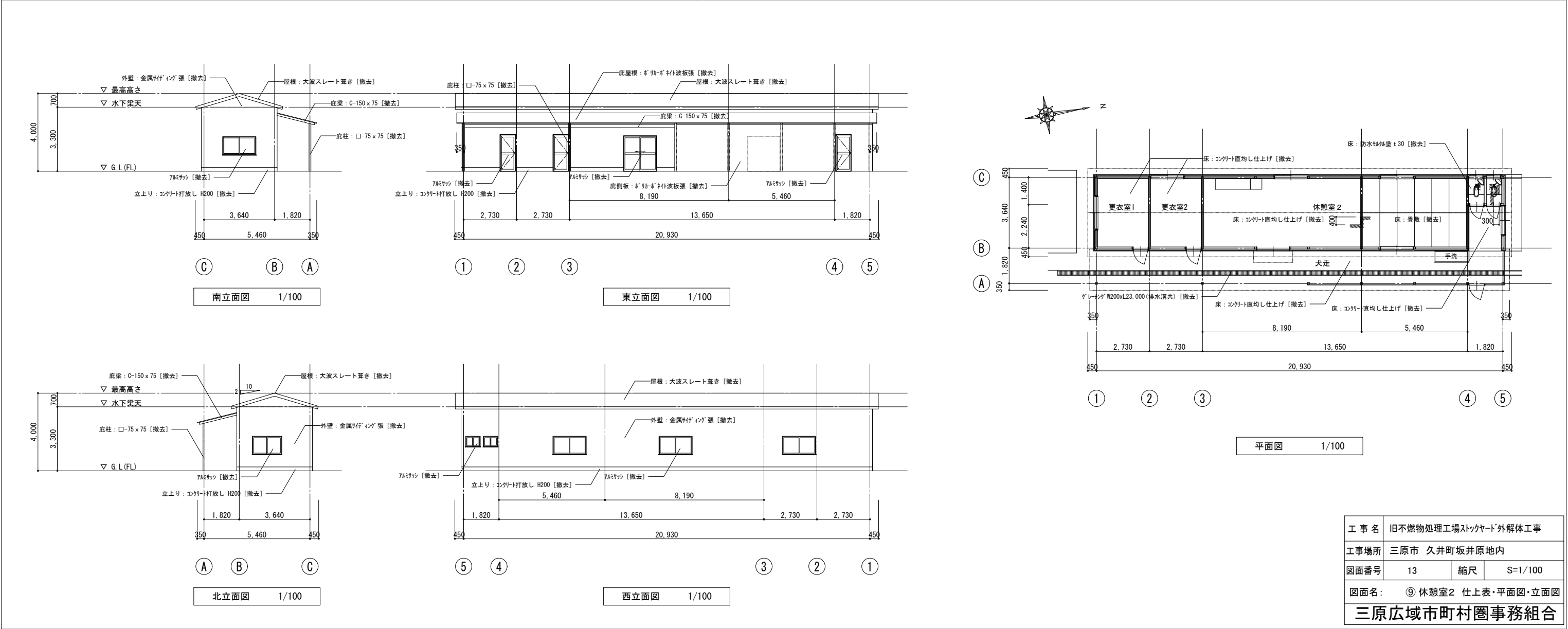
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	11	縮 尺	S=1/50
図面名： ⑧ 便所 仕上表・平面図・立面図			
三原広域市町村圏事務組合			

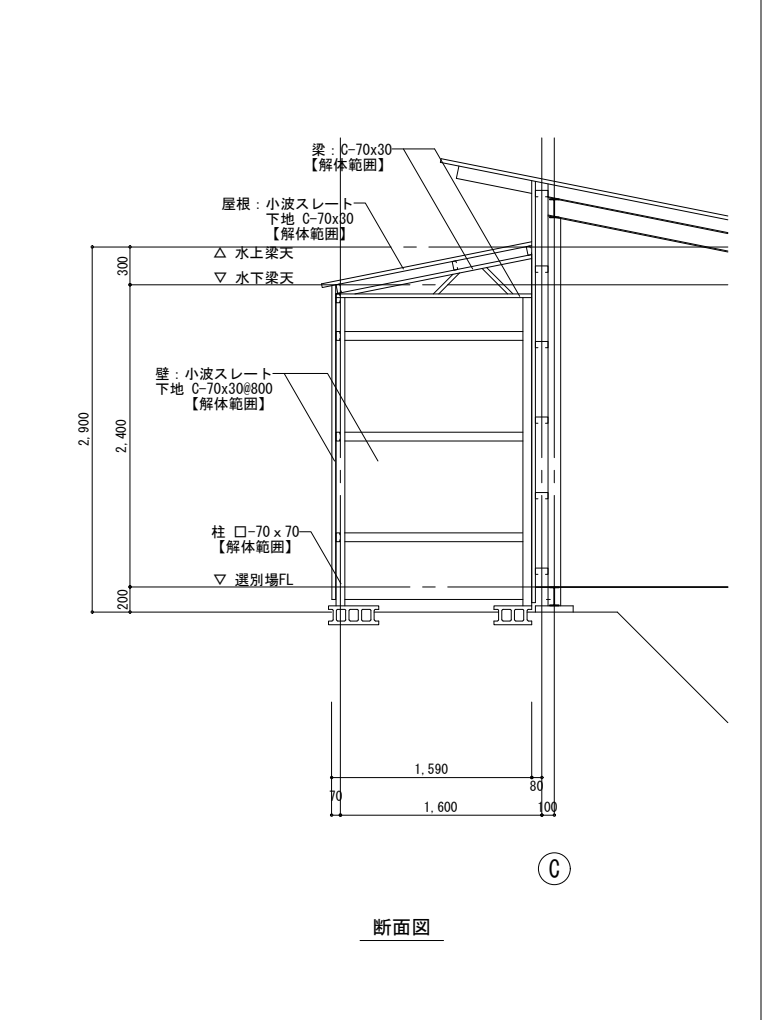
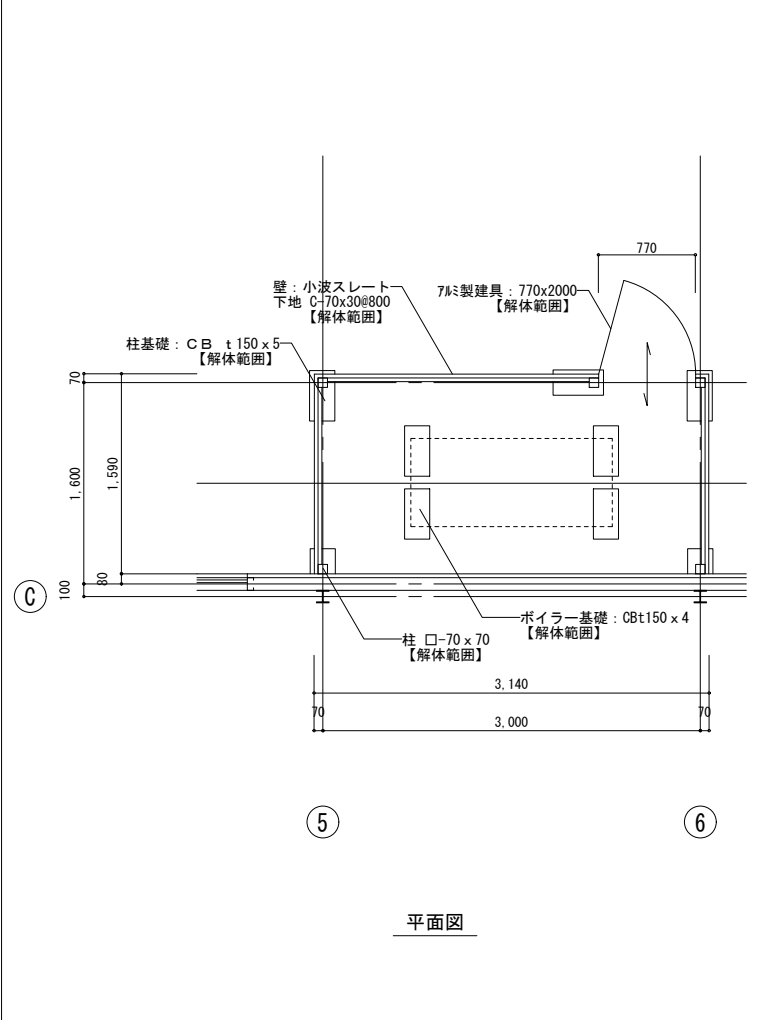
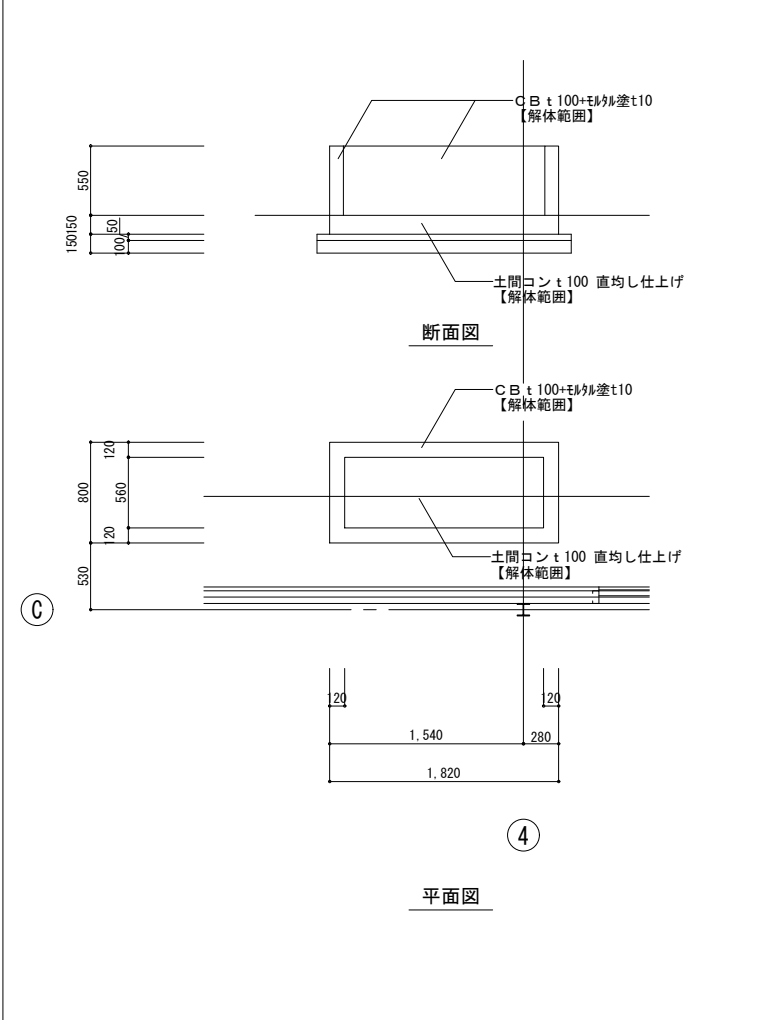
(⑩ 休憩室3) 仕 上 表																	
外部仕上表																	
	床		立上り		外壁		屋根								備 考		
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上			
名称等	C	コンクリート直均し仕上げ〔撤去〕			S	小波スレート葺き〔撤去〕	S	大波スレート葺き〔撤去〕								軒樋：塩ビ製 半円φ120〔撤去〕 縦樋：VPφ50〔撤去〕 7&ミサツ：シルバー フロート加工 5A t6.0 1800x1200x4〔撤去〕 鋼製シャッター：鋼製既製品SOP塗 2800x2500〔撤去〕	
内部仕上表																	
階	室 名	床		幅木			腰壁		壁				天井				備 考
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ	梁型仕上	
1F	休憩室3	C	コンクリート直均し仕上げ〔撤去〕							C	小波スレート 素地現し〔撤去〕	鉄骨柱 SOP塗〔撤去〕	C	大波スレート 素地現し〔撤去〕	—	鉄骨梁 SOP塗〔撤去〕	照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 2ヶ所〔撤去〕
	倉庫	C	コンクリート直均し仕上げ〔撤去〕							C	小波スレート 素地現し〔撤去〕	鉄骨柱 SOP塗〔撤去〕	C	大波スレート 素地現し〔撤去〕	—	鉄骨梁 SOP塗〔撤去〕	照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 3ヶ所〔撤去〕

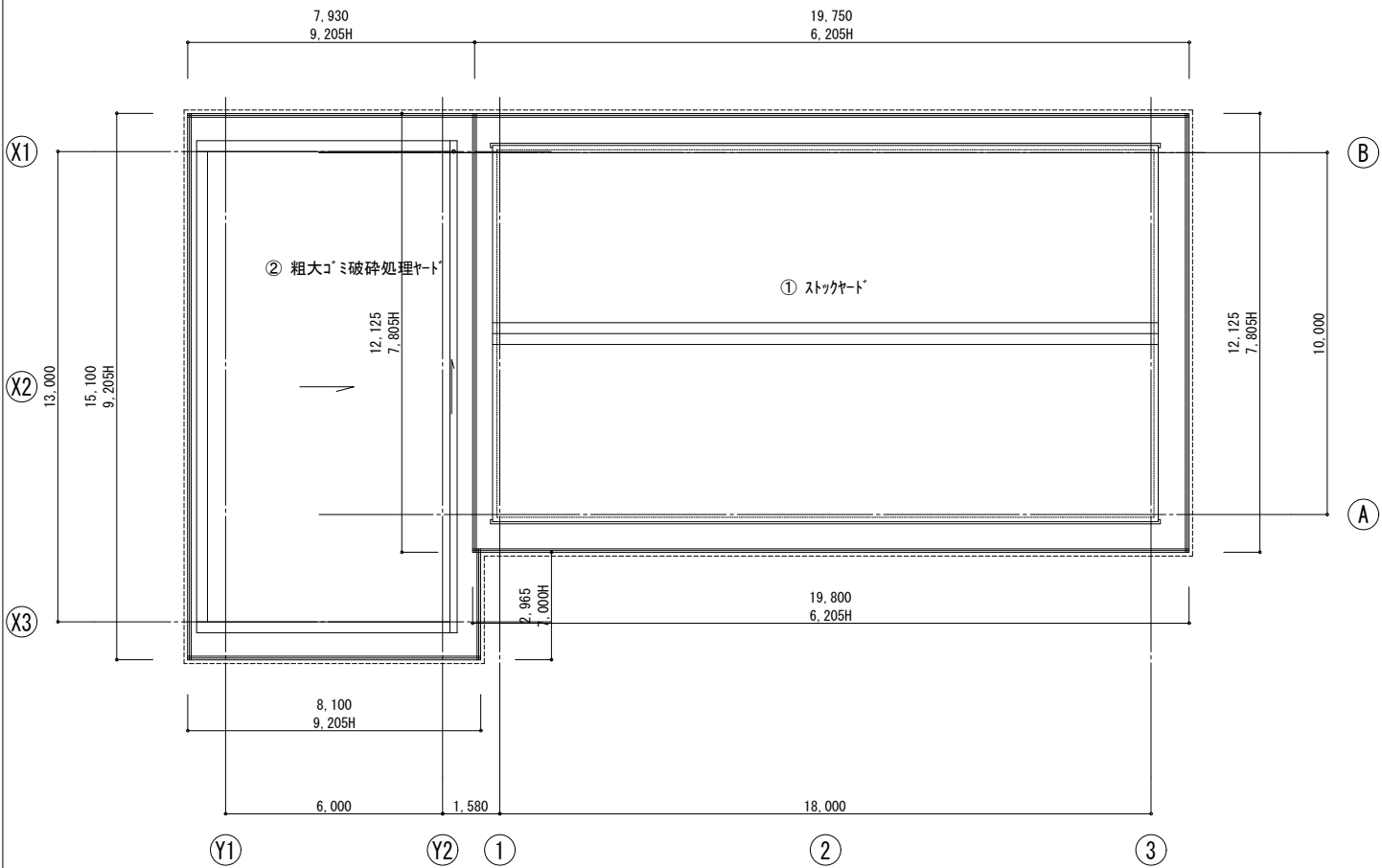


工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	12	縮 尺	S=1/100
図面名： ⑩ 休憩室3 仕上表・平面図・立面図			
三原広域市町村圏事務組合			

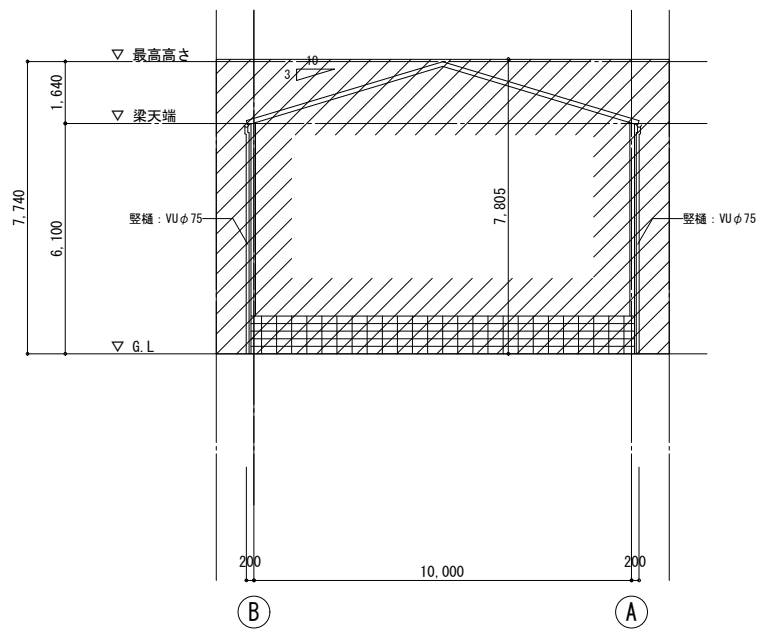
(⑨ 休憩室 2) 仕 上 表																	
外部仕上表																	
	床		立上り		外壁		屋根		庇側板		庇屋根				備 考		
	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上		仕 上			下地
名称等	C	コンクリート直均し仕上げ【撤去】	C	コンクリート打放し H200【撤去】	S	金属サイディング張【撤去】	S	大波スレート葺き【撤去】	S	ホリカホリ波板張【撤去】	S	ホリカホリ波板張【撤去】				休憩室出入口庇：アルミ製既製品、堅種：VPφ50【撤去】 手洗いカウンター：SUS製1800Wx600Dx800H【撤去】 7&Sサッシ：ブロンズ フロートガラス t6.0【撤去】 1600x900x4 1460x900x1,700x500x2,1660x1800x2,750x1860x3 照明：蛍光灯 直管逆富士型 20Wx2 1ヶ所【撤去】	
内部仕上表																	
階	室 名	床		幅木		腰壁		壁				天井				備 考	
		下地	仕 上	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	柱型仕上	下地	仕 上	高さ		
1F	更衣室 1	C	コンクリート直均し仕上げ【撤去】	OB	コンクリートブロック素地【撤去】	200			S	化粧ベニヤ板張【撤去】		S	ジブトーン張【撤去】 【石綿含有 べニヤ3】【撤去】	2650	木製 40x15【撤去】	ロッカー：鋼製既製品【撤去】、換気扇：既製品【撤去】 換気扇：既製品【撤去】 照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 1ヶ所【撤去】	
	更衣室 2	C	コンクリート直均し仕上げ【撤去】	OB	コンクリートブロック素地【撤去】	200			S	化粧ベニヤ板張【撤去】		S	ジブトーン張【撤去】 【石綿含有 べニヤ3】【撤去】	2650	木製 40x15【撤去】	ロッカー：鋼製既製品【撤去】 換気扇：既製品【撤去】 照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 1ヶ所【撤去】	
	休憩室 2	C	コンクリート直均し仕上げ 一部畳敷【撤去】	OB	コンクリートブロック素地 一部木製畳寄せ【撤去】	200			S	化粧ベニヤ板張【撤去】		S	ジブトーン張【撤去】 【石綿含有 べニヤ3】【撤去】	2800 一部 2400	木製 40x15【撤去】	流し台：既製品 1800L【撤去】、コンロ台：既製品 600L【撤去】 換気扇：既製品【撤去】 照明：蛍光灯 直管逆富士型 40Wx2 10ヶ所【撤去】	
	便所	C	防水モルタル塗 t30【撤去】	S	モルタル塗 t20【撤去】	400			S	化粧ベニヤ板張【撤去】		S	ジブトーン張【撤去】 【石綿含有 べニヤ3】【撤去】	2550	木製 40x15【撤去】	天井点検口：7&S製既製品 450□【撤去】 7&Sサッシ：ブロンズ フロートガラス t6.0【撤去】 700x1800x2 照明：白熱灯 40W 2ヶ所、蛍光灯 直管逆富士型 20Wx2 1ヶ所【撤去】 和式便器：簡易水洗型 2ヶ所【撤去】	



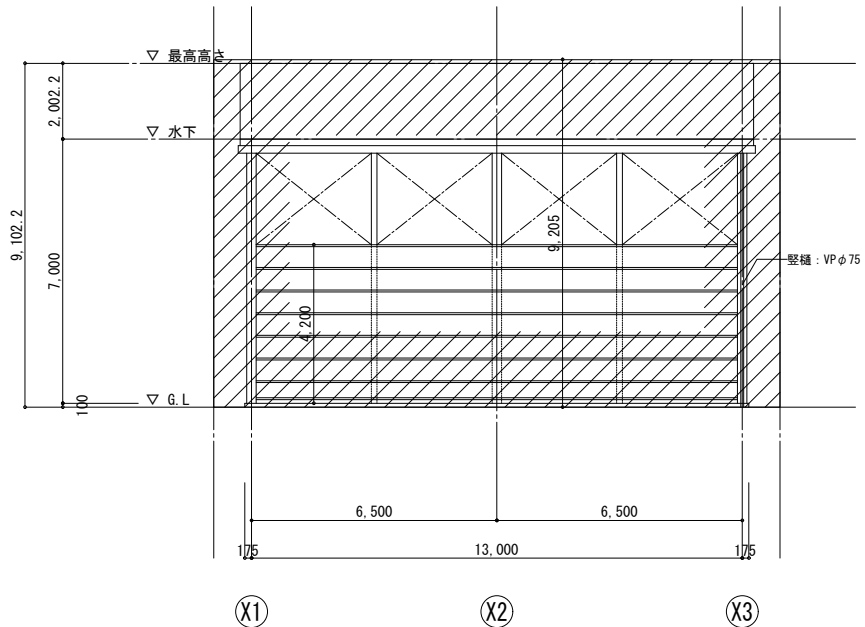




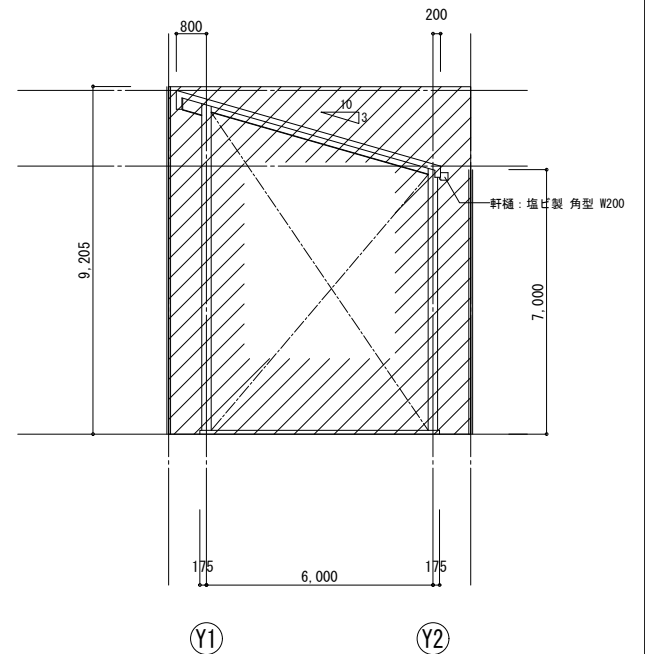
平面図 1/100



東・西立面図 1/100

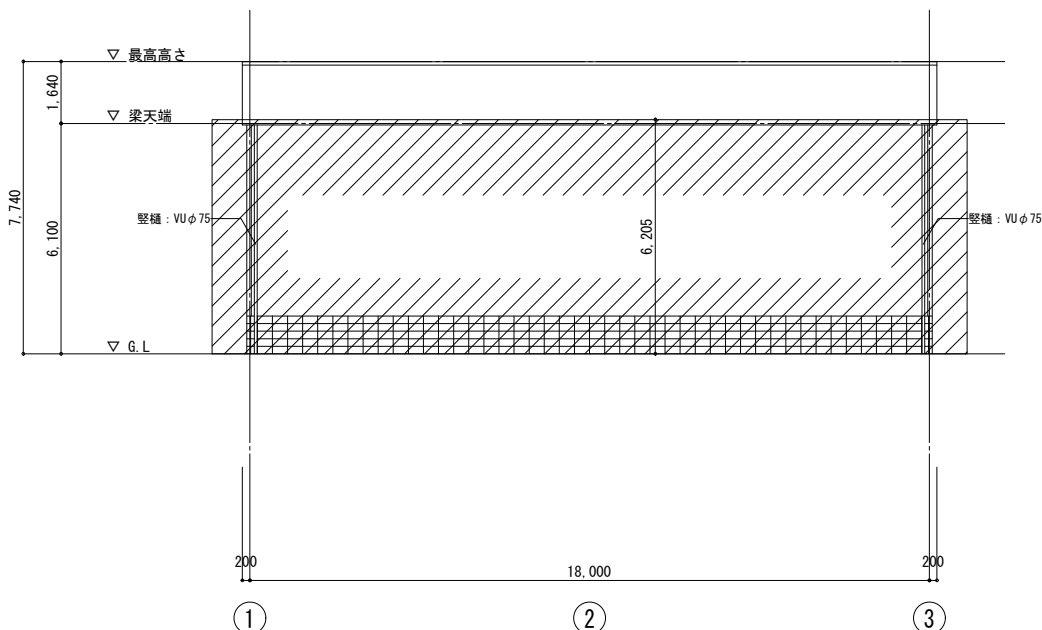


東立面図 1/100



南立面図 1/100

粗大ゴミ破碎処理ヤード

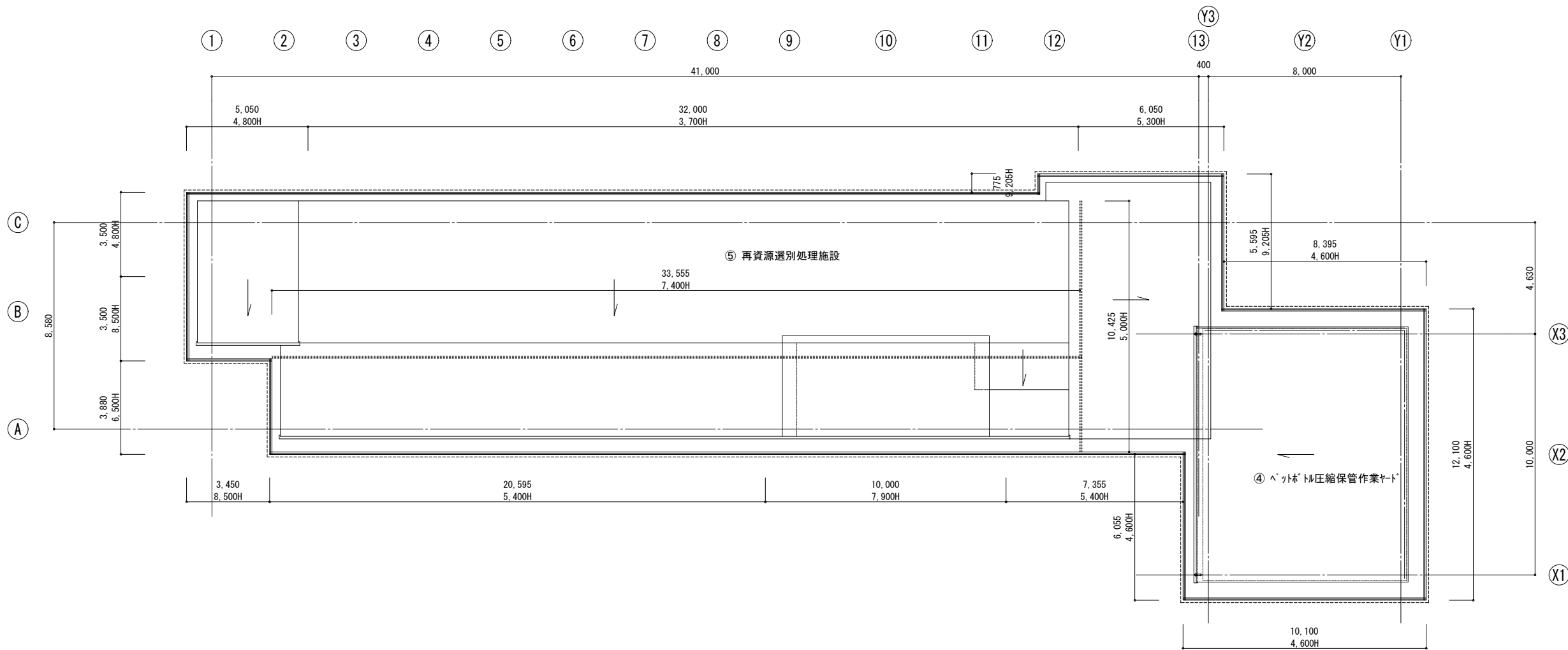


北立面図 1/100

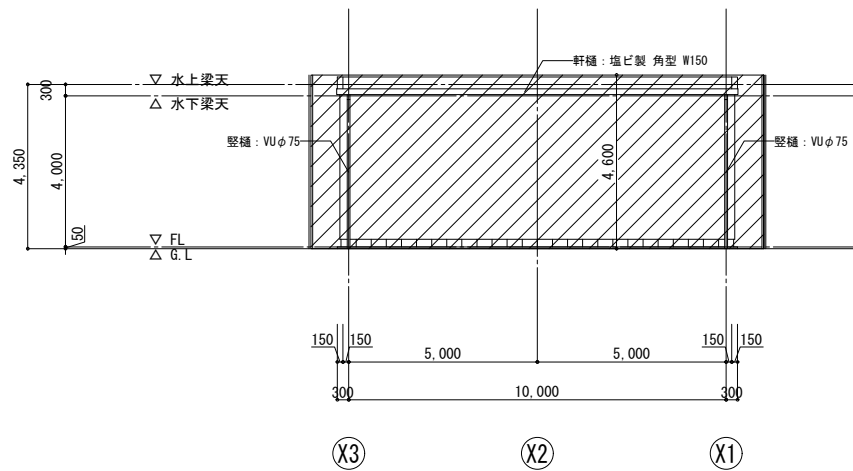
ストックヤード

- 凡 例
- 単管足場を示す
 - 養生メッシュシート（平面）を示す
 - 養生メッシュシート（立面）を示す

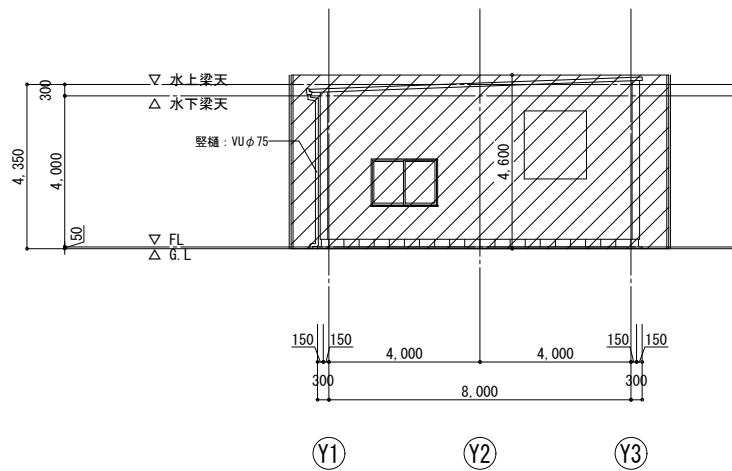
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	16	縮 尺	S=1/100
図面名：	仮設計画図(参考図)(1)		
三原広域市町村圏事務組合			



平面図 1/100



東立面図 1/100



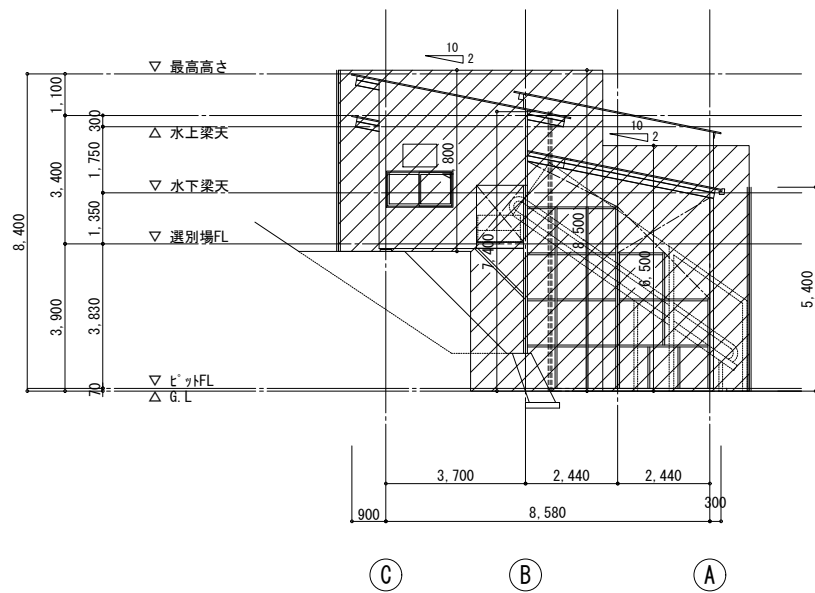
南立面図 1/100

凡 例

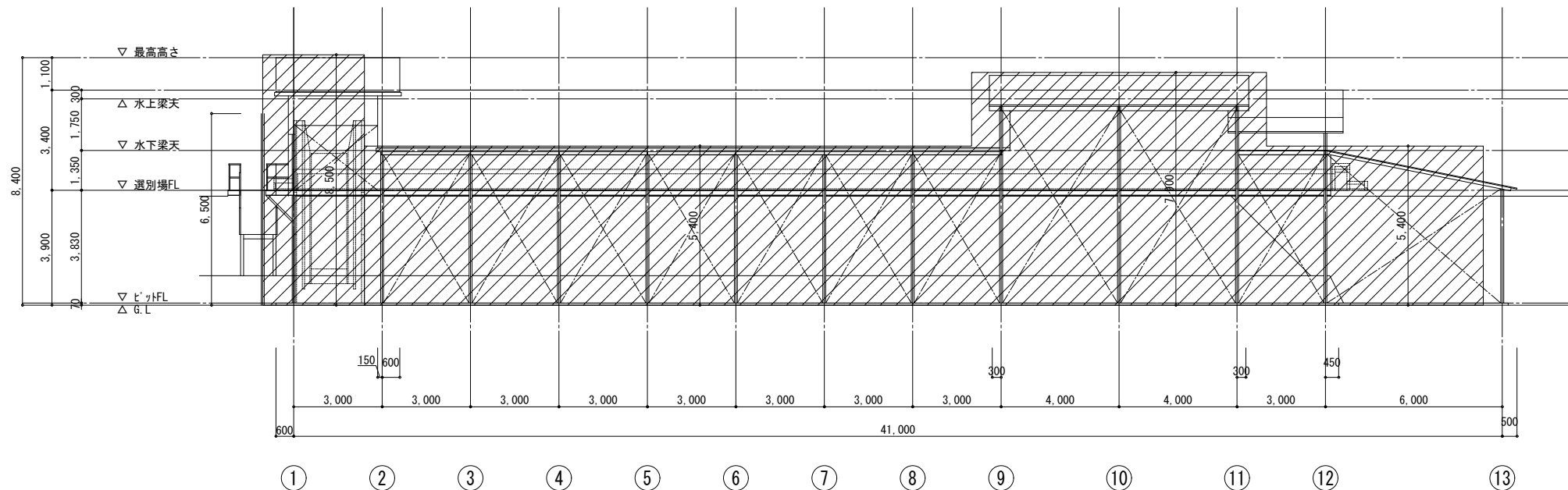
- 単管足場を示す
- 養生メッシュシート（平面）を示す
- 養生メッシュシート（立面）を示す

PET圧縮保管作業ヤード

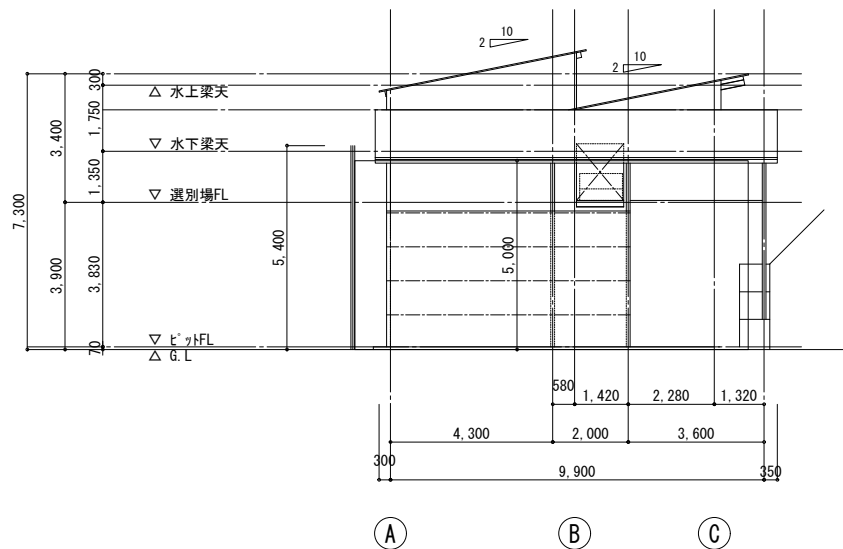
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	17	縮尺	S=1/100
図面名： 仮設計画図(参考図)(2)			
三原広域市町村圏事務組合			



東立面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図-2 1/100



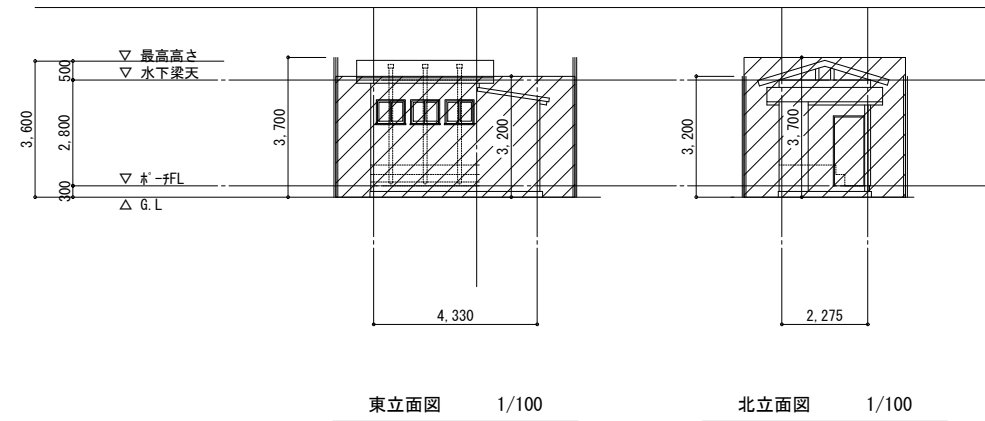
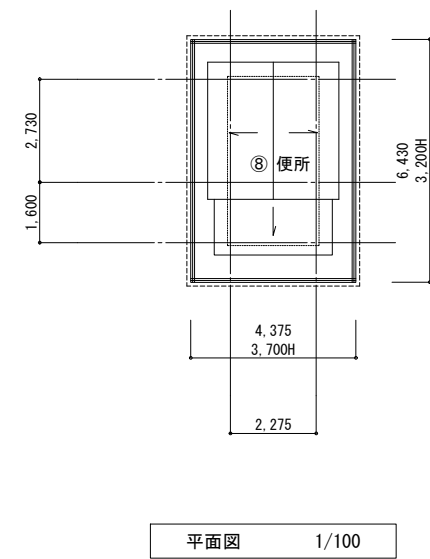
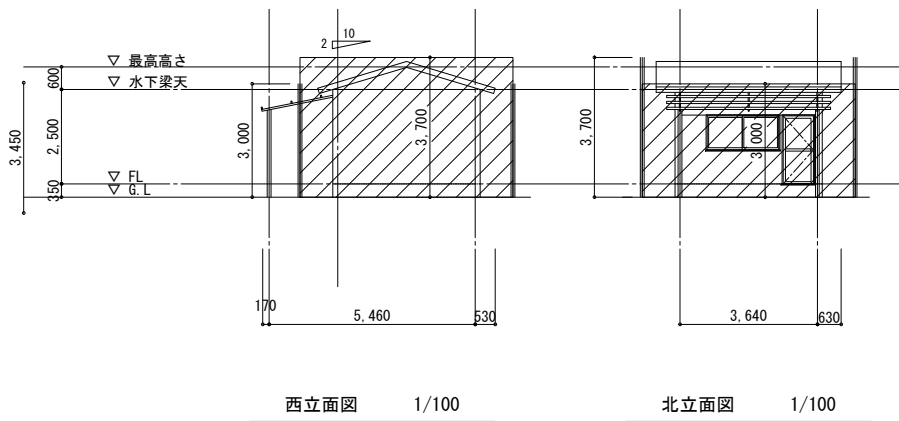
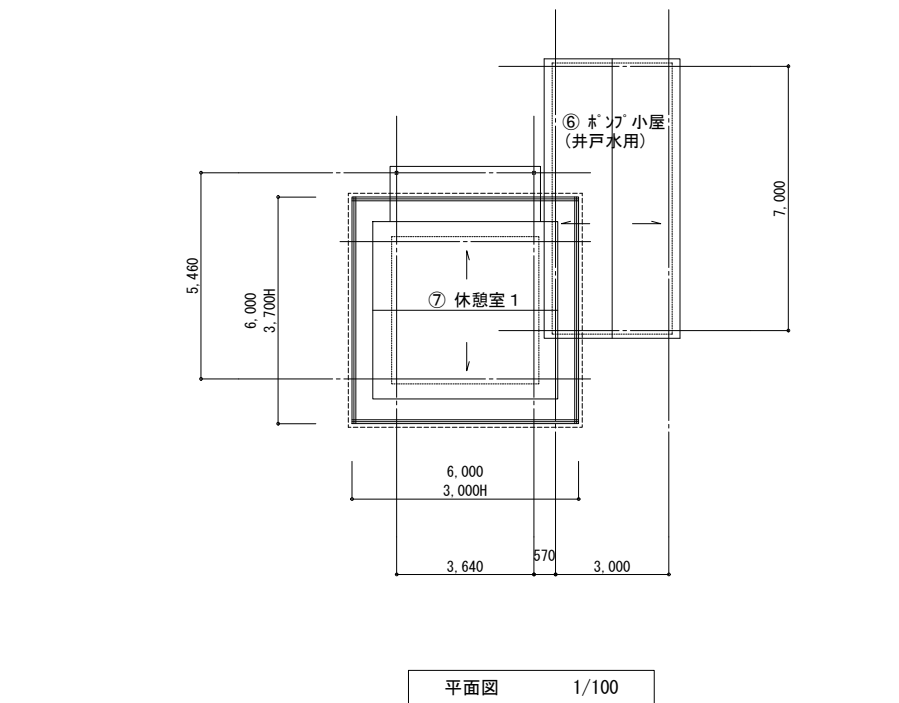
南立面図 1/100

再資源選別処理施設

凡 例

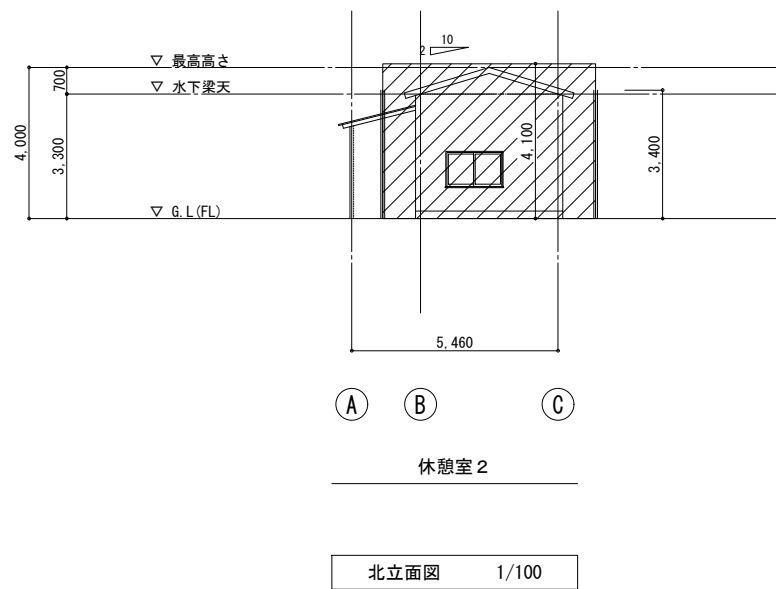
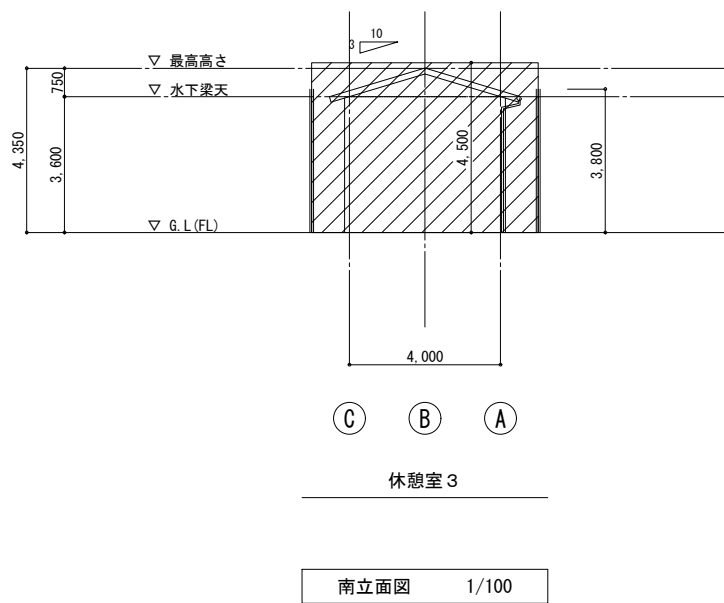
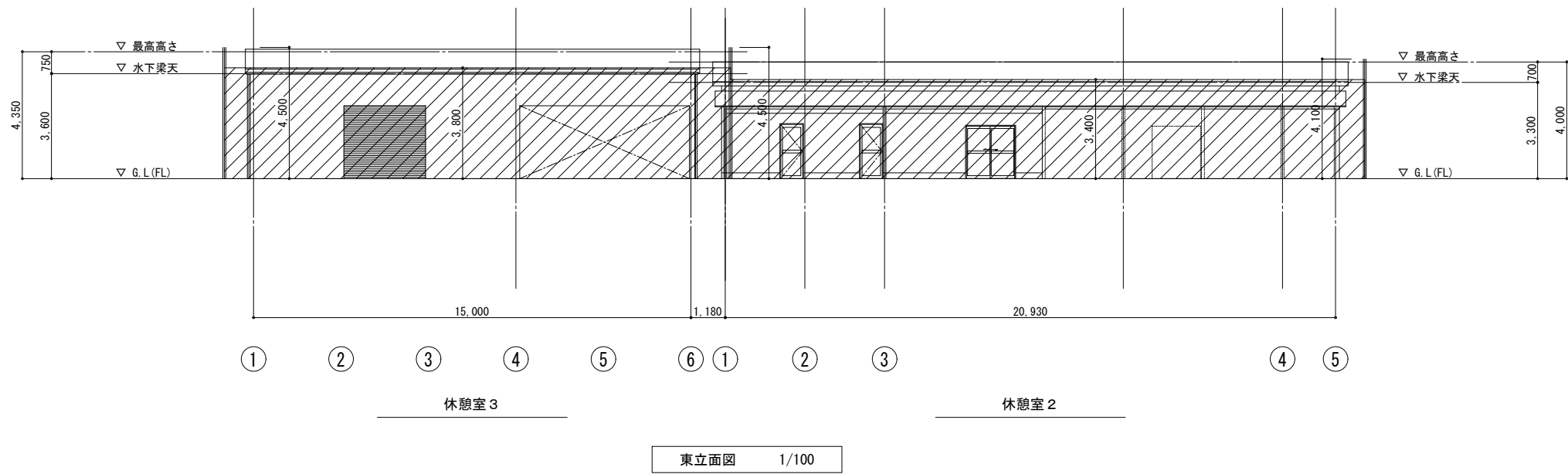
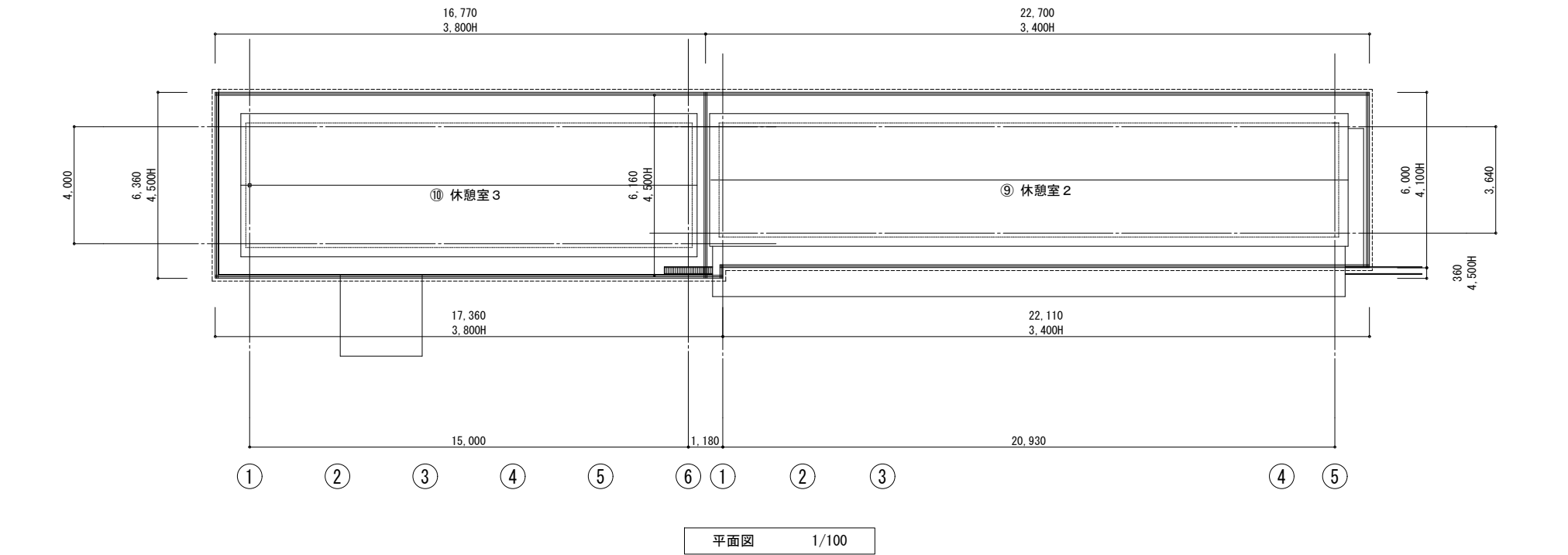
- 単管足場を示す
- 養生メッシュシート（平面）を示す
- 養生メッシュシート（立面）を示す

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	18	縮尺	S=1/100
図面名： 仮設計画図(参考図)(3)			
三原広域市町村圏事務組合			



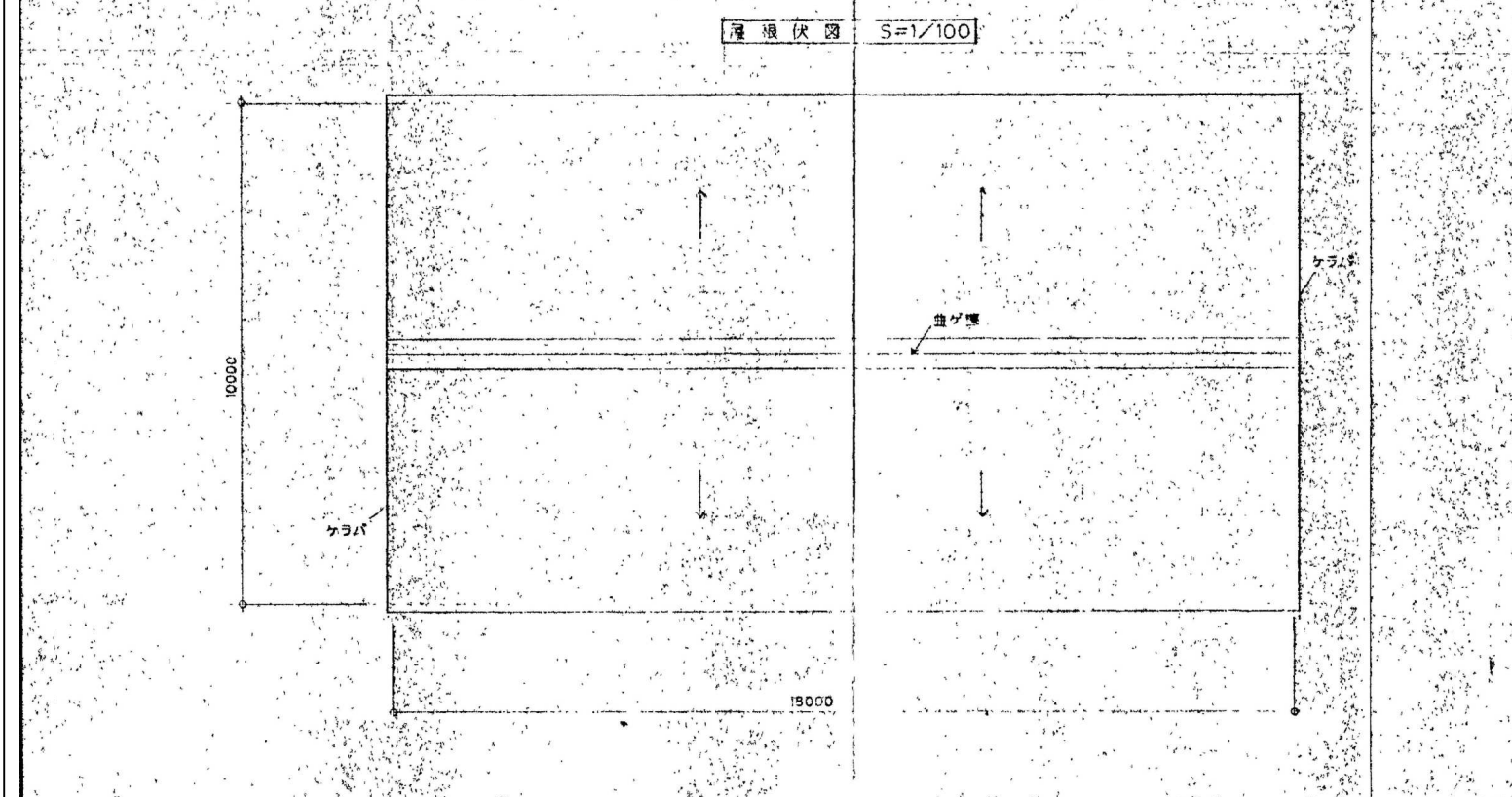
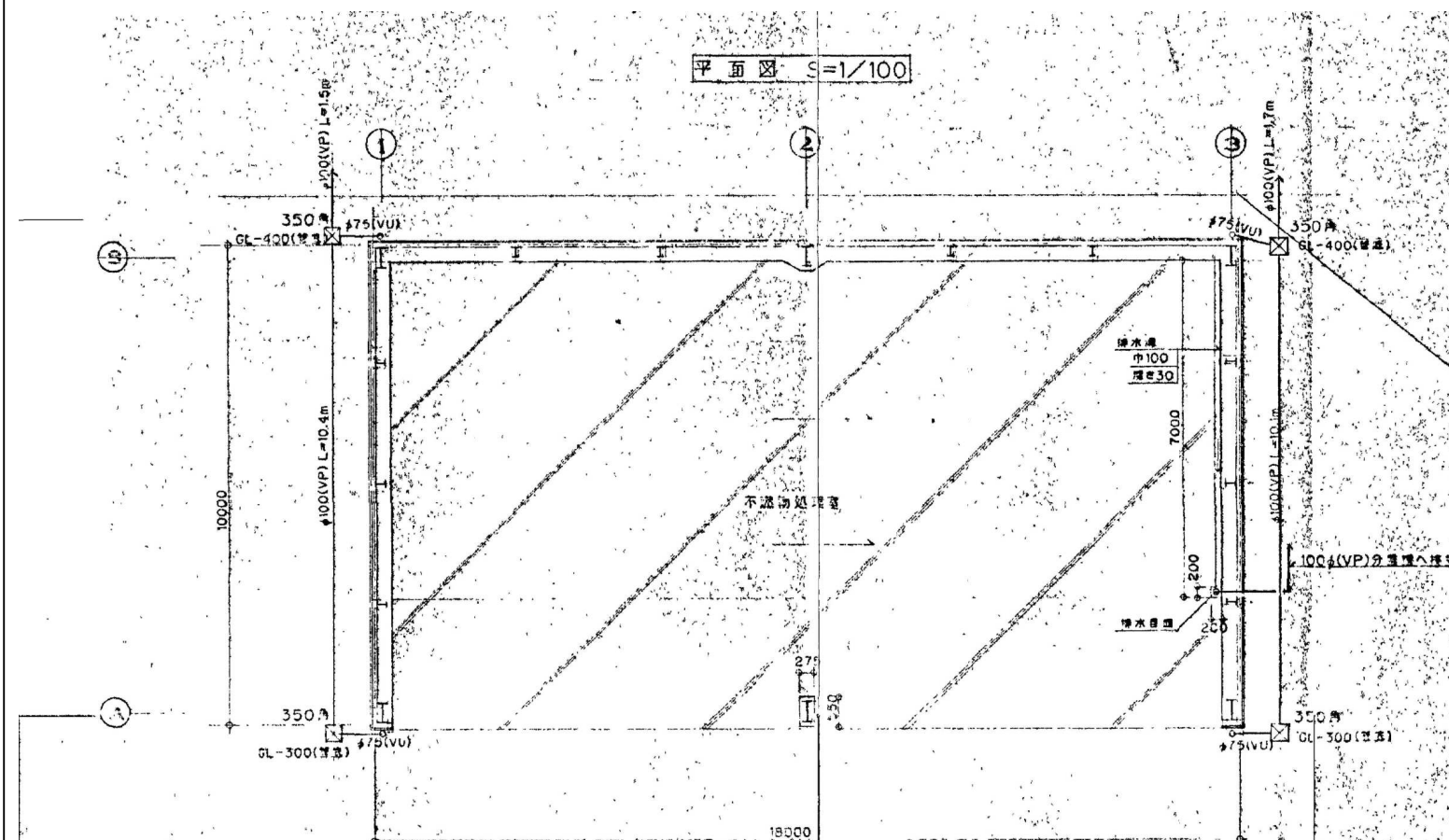
- 凡 例
- 単管足場を示す
 - 養生メッシュシート（平面）を示す
 - 養生メッシュシート（立面）を示す

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	19	縮尺	S=1/100
図面名： 仮設計画図(参考図)(4)			
三原広域市町村圏事務組合			



- 凡 例
- 単管足場を示す
 - 養生メッシュシート（平面）を示す
 - 養生メッシュシート（立面）を示す

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	20	縮 尺	S=1/100
図面名：	仮設計画図(参考図)(5)		
三原広域市町村圏事務組合			



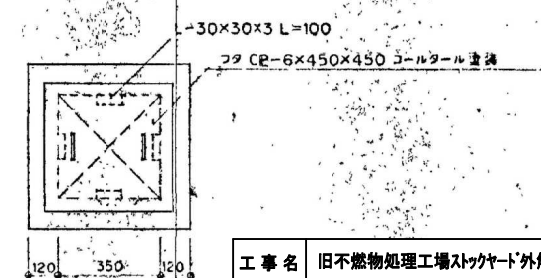
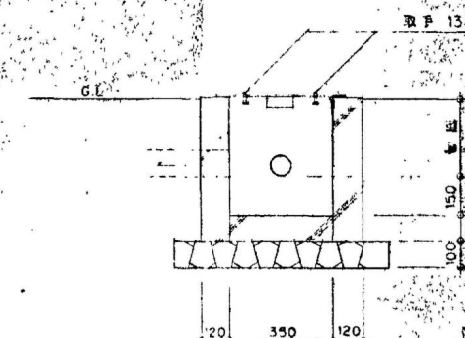
内部仕上

- 床 : コンクリート直打ち(全ゴテ) 水勾配付(現場指示)
- 壁 : 床FL+1000までコンクリート打放し仕上げ(柱部分も同様)
- : 床より2700まで鉄板 3.2張り以上外壁及び 鉄部見え隠り部OP塗り(壁面鉄板を除く)
- 天井 : 直接及び 鉄部見え隠り部 OP塗り

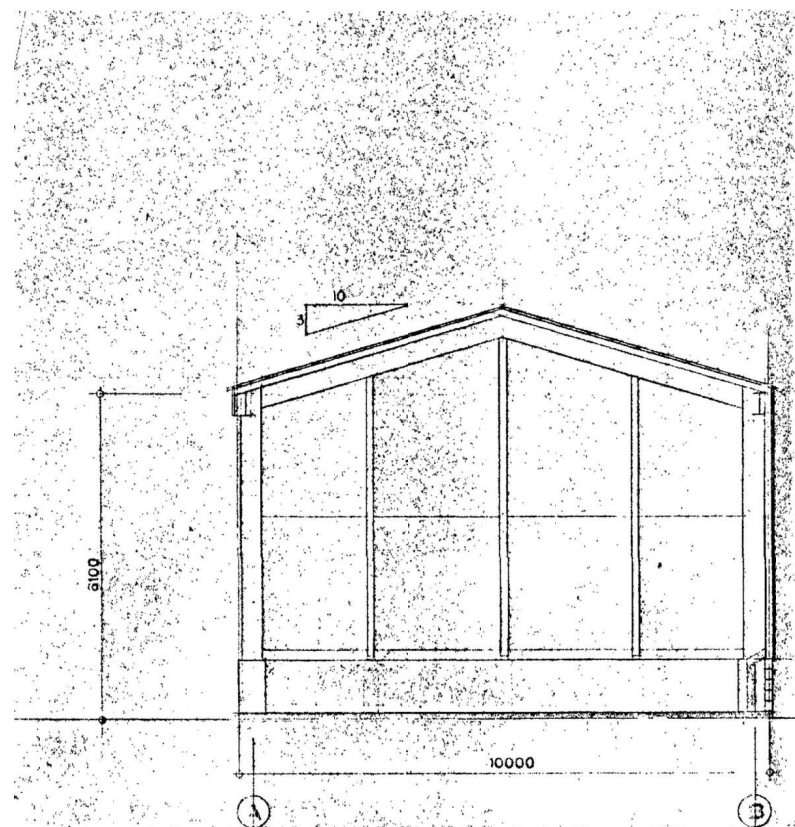
外部仕上

- 屋根 : 石綿スレート大波張り 7条 継ぎ目150 傾斜約1.5%

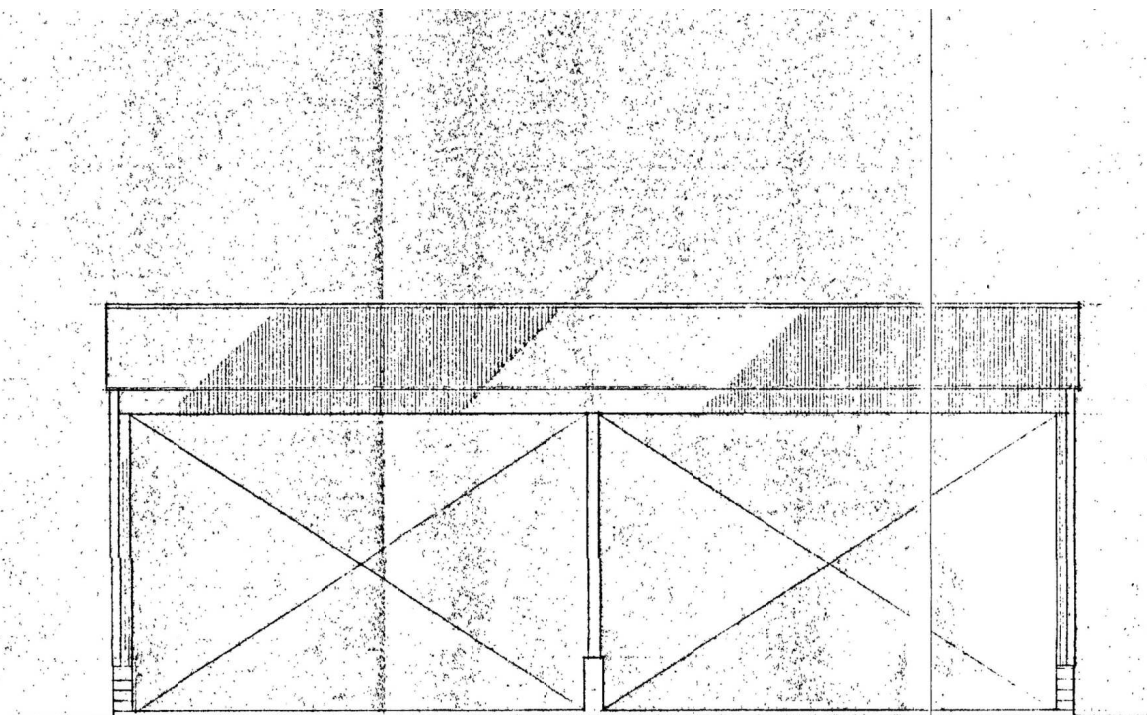
- : 役物 曲げ鋼 曲げ鋼 2φ クラバ
- 外壁 : 石綿スレート大波張り 6条 継ぎ目90 傾斜約1.5%
- : 役物 角当
- 基礎 : コンクリートブロック 100 化粧舗
- 土留 : 鉄筋 断面 120φ (縦向き)
- : 木で隠 VU 75φ



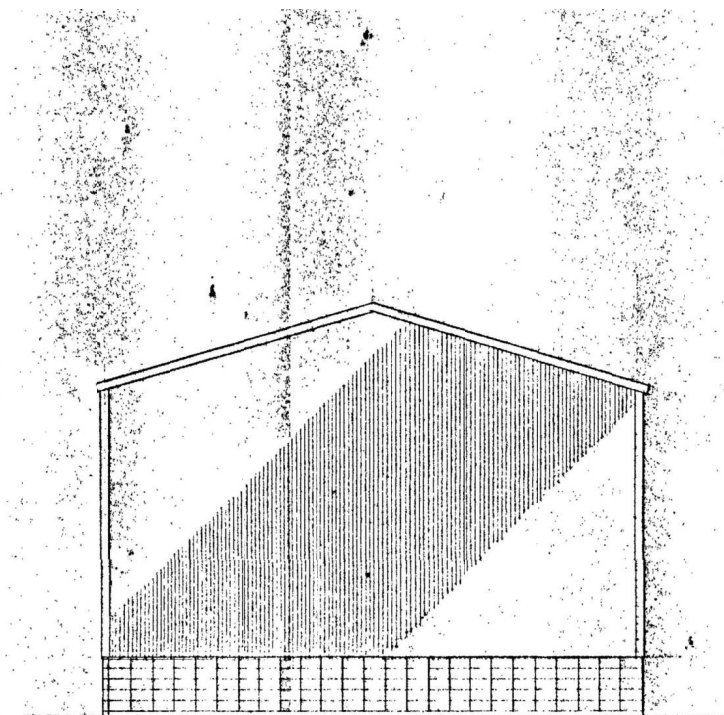
工事名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	21	縮尺	S=1/100
図面名: ① スtockヤード 既存図 平面図、屋根伏図			
三原広域市町村圏事務組合			



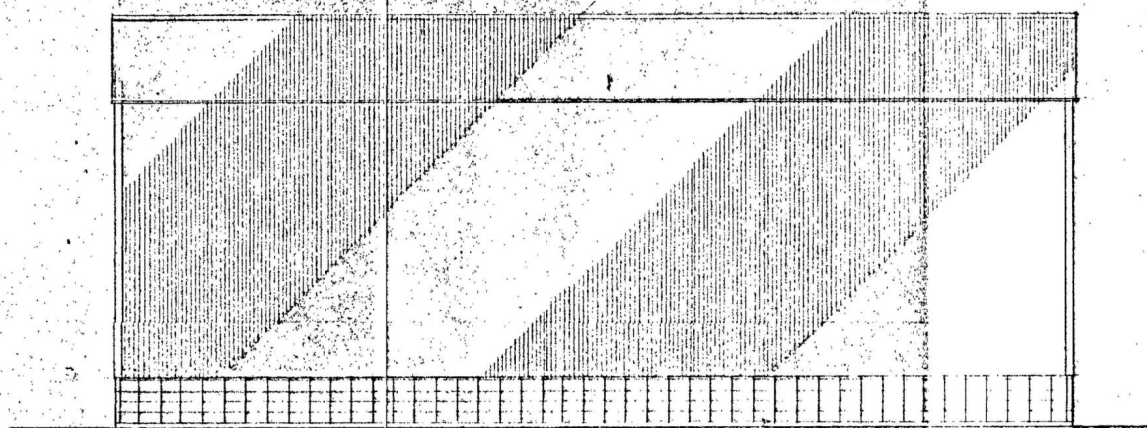
断面図 S=1/100



南面立面図 S=1/100

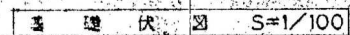


東、西面立面図 S=1/100



北面立面図 S=1/100

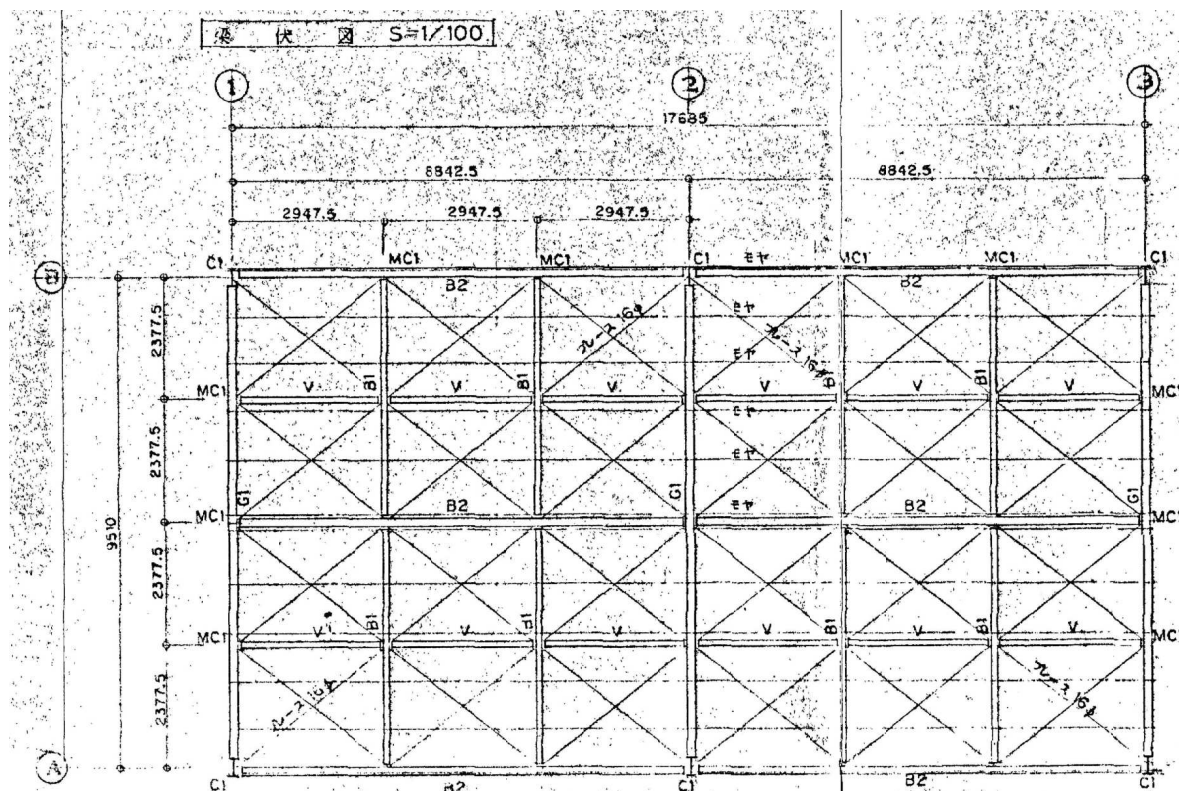
工事名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	22	縮尺	S=1/100
図面名: ① スtockヤード 既存図 断面図、立面図			
三原広域市町村圏事務組合			



基礎、基礎梁コンクリート	FC=210kg/cm ³
土間コンクリート	FC=210kg/cm ³
床コンクリート	FC=150kg/cm ³
鉄筋	SD295
土間筋	D13#200(クロス)



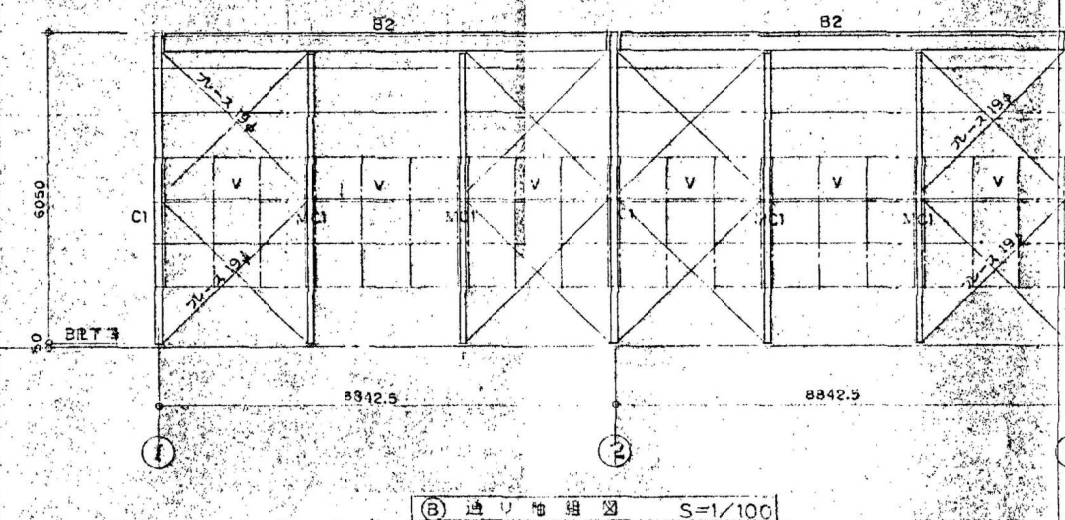
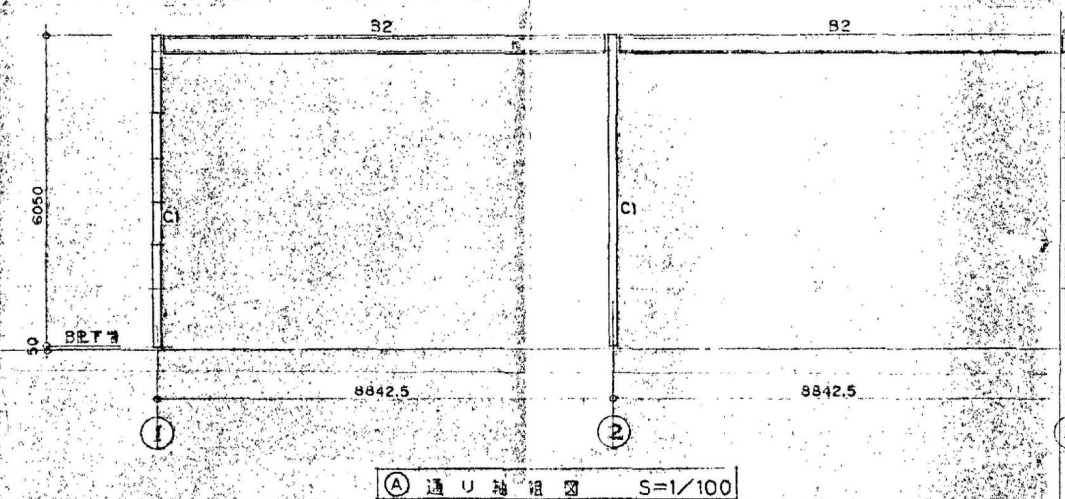
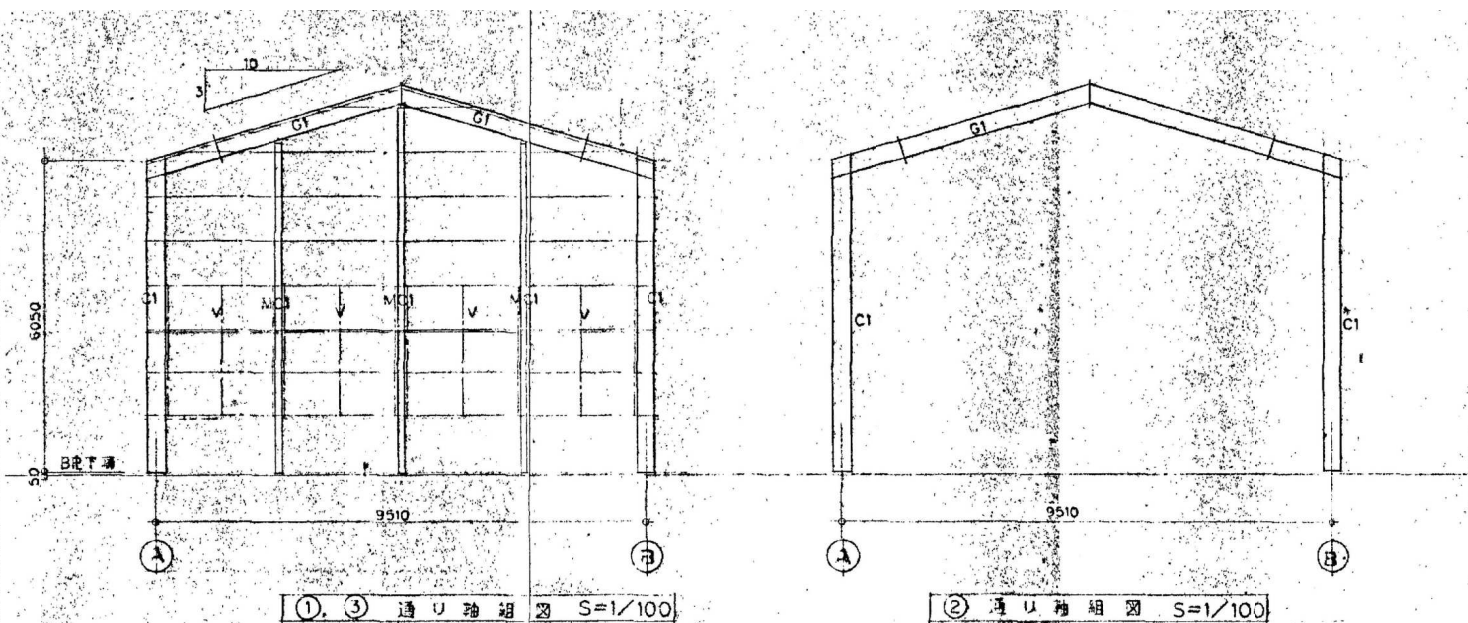
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	24	縮尺	S=1/30、1/100
図面名: ① ストックヤード 既存 図 基礎伏図、リスト			
三原広域市町村圏事務組合			



一般事項

鉄骨 SS400, SSC400
H.T.B. F10T

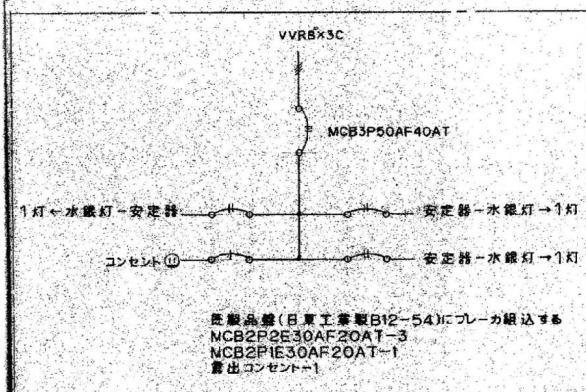
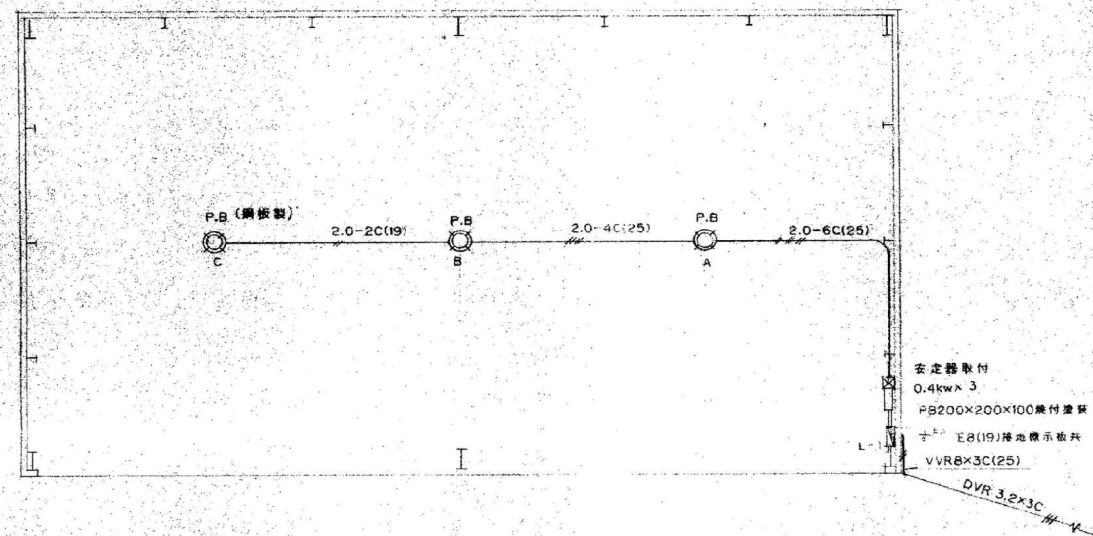
符 号	断 面	仕 口
C1	H-350×175×7×11	
MC1	H-200×100×5.5×8	取-6 H.T.B 2-M15
G1	H-350×175×7×11	取-6×150×155
B1	H-175×90×5×8	取-6 H.T.B 2-M13
B2	H-350×175×7×11	取-6 H.T.B 3-M16
V	2C-100×50×20×1.6	取-6 H.T.B 2-M13
キヤ	C-100×50×20×2.3	キッL-90×90×6 B2-M12
鋼ブチ (たてよこ共)	C-100×50×20×1.8	キッL-90×90×6 B2-M12



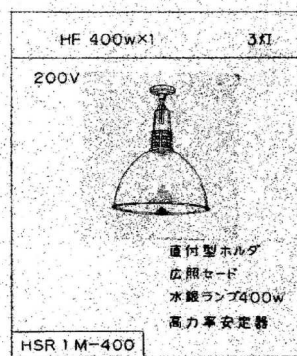
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	25	縮尺	S=1/100
図面名: ① スtockヤード 既存図 梁伏図・軸組図			
三原広域市町村圏事務組合			

平面図 S=1/100

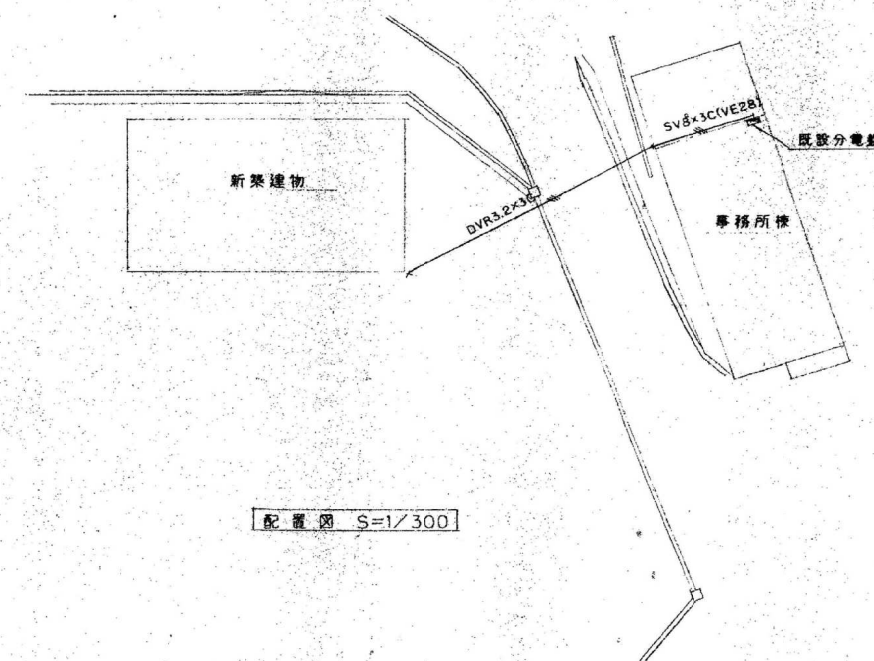
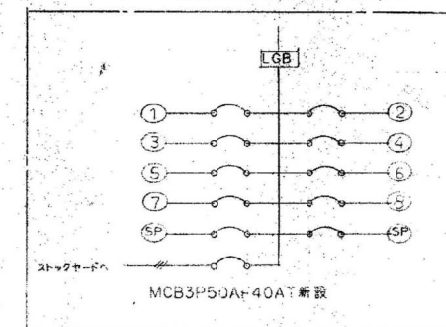
※電線管は全て金属管を使用



L-1



既設分電盤

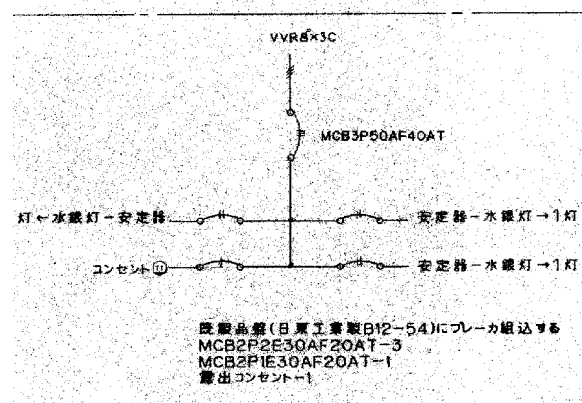
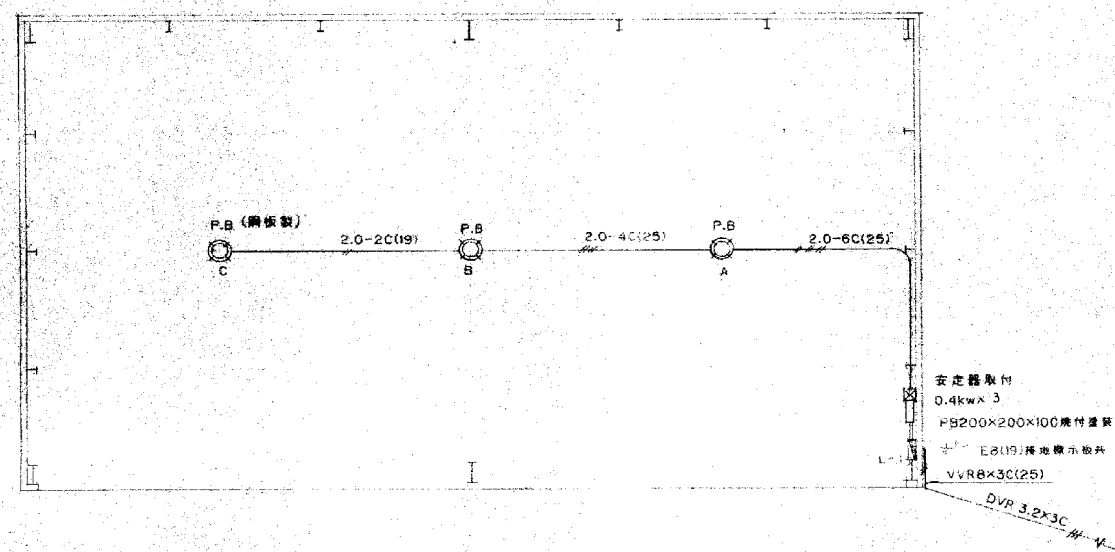


配置図 S=1/300

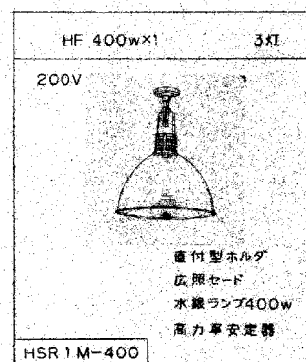
工事名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	27	縮尺	S=1/100、1/300
図面名: ① スtockヤード 既存図 電気設備図面(1)			
三原広域市町村圏事務組合			

平面図 S=1/100

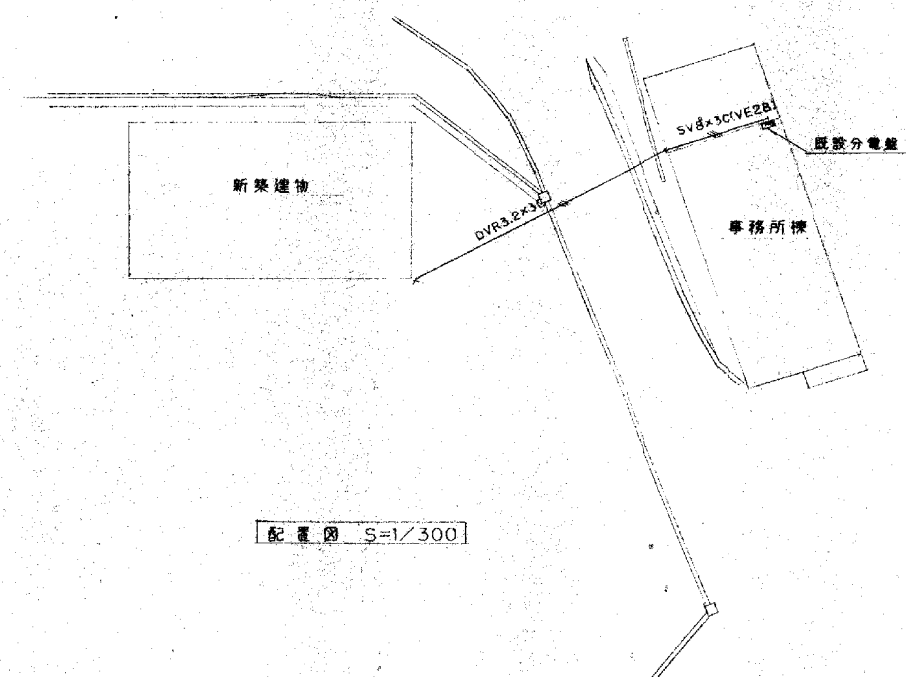
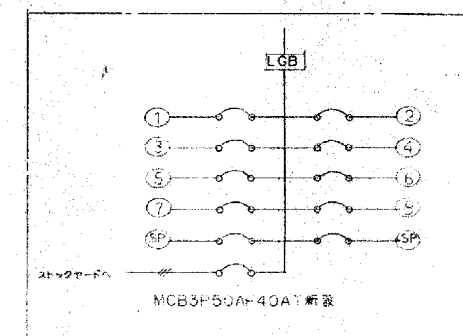
※電線管は全て金属管を使用



L-1

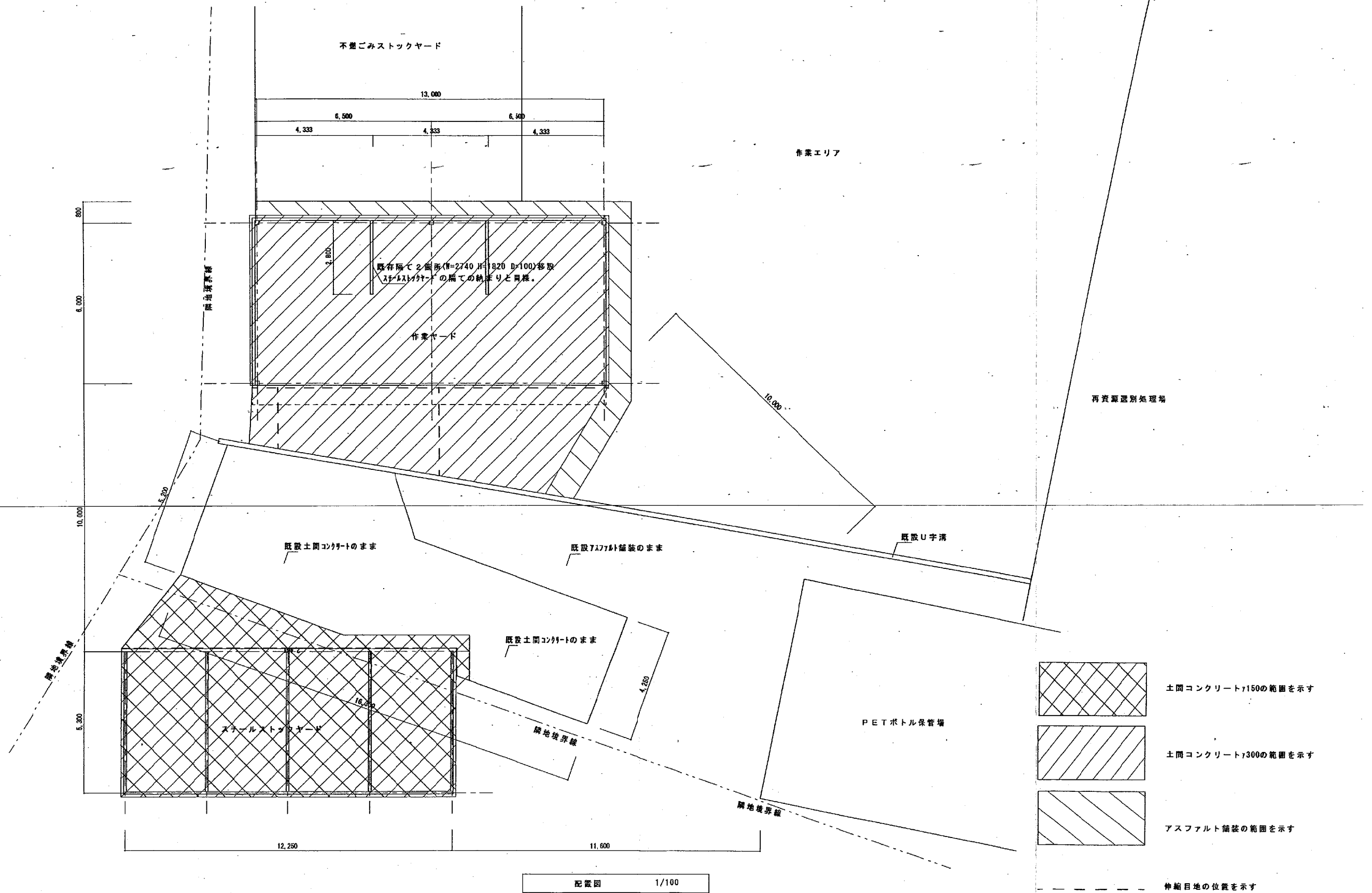


既設分電盤



配置図 S=1/300

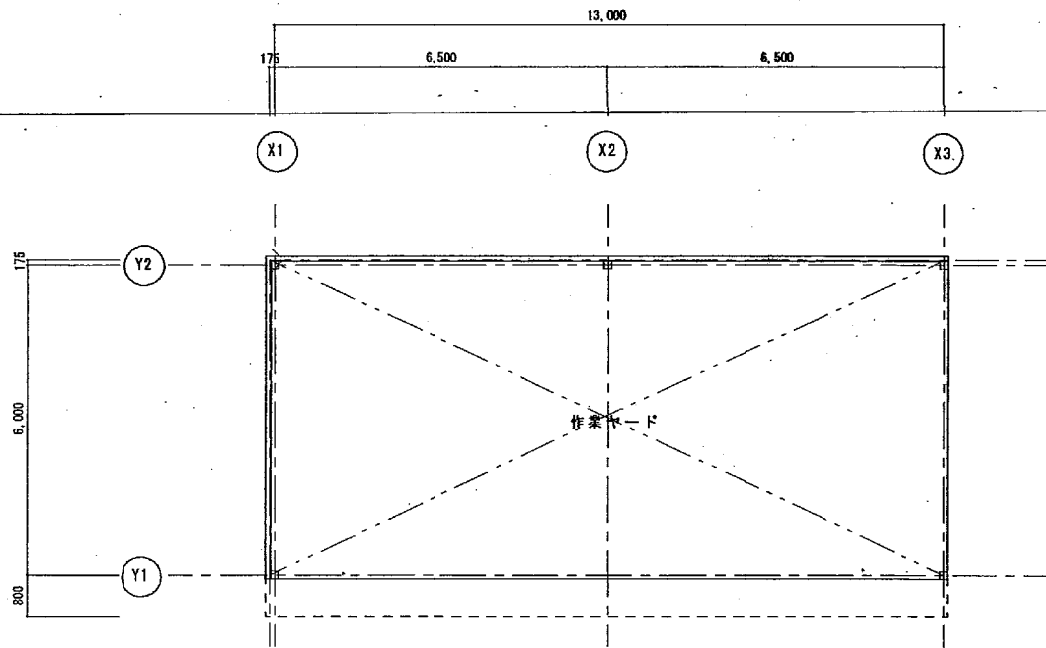
工事名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	28	縮尺	S=1/100、1/300
図面名: ① ストックヤード 既存図 電気設備図面(2)			
三原広域市町村圏事務組合			



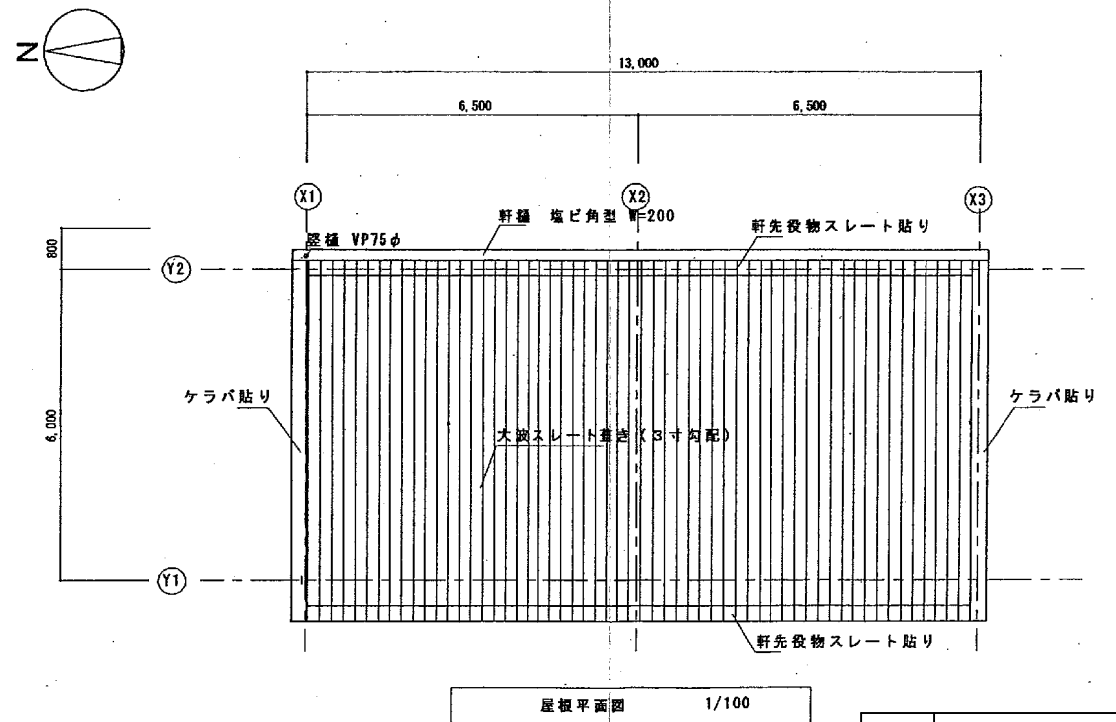
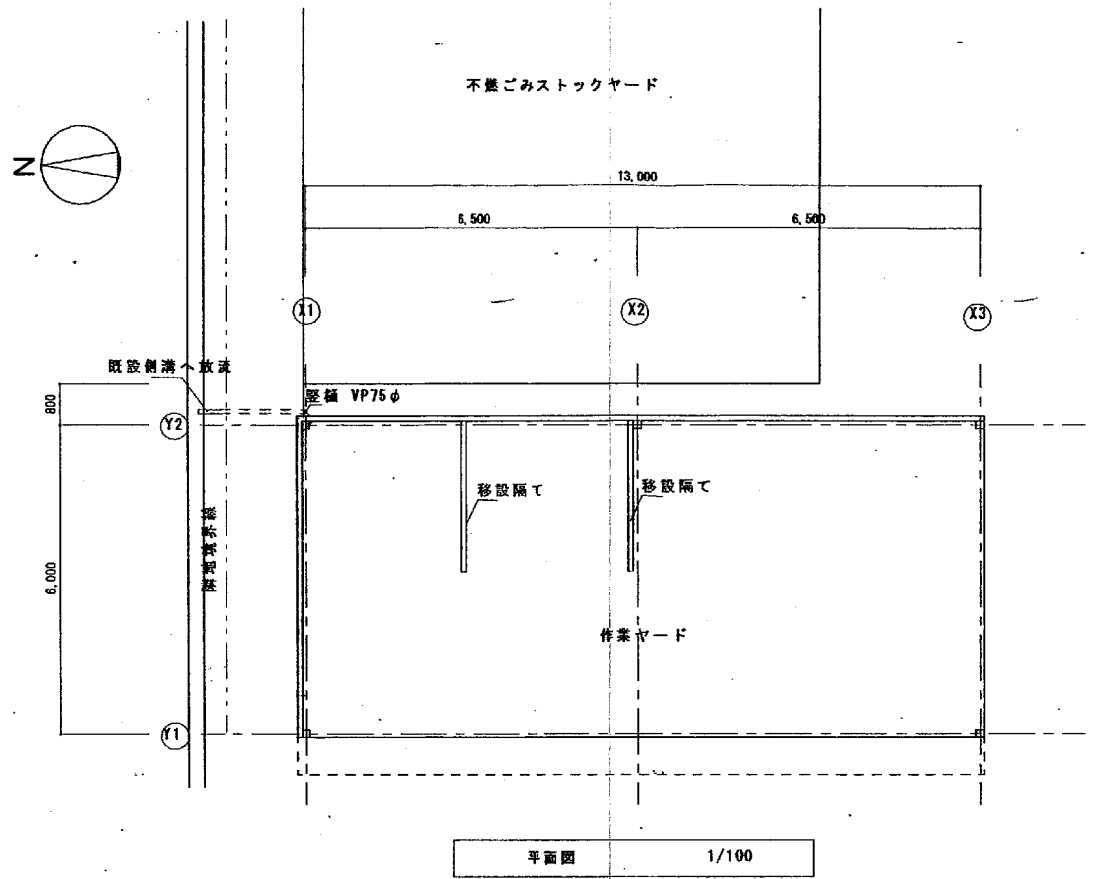
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	29	縮尺	S=1/100
図面名:	②粗大ごみ破碎処理ヤード 既存図 配置図		
三原広域市町村圏事務組合			

設計概要	
工事名	(仮)作業ヤード 新築工事
建築場所	広島県三原市久井町坂井原字焼御堂1358-
構造	鉄骨造 平屋建て
付帯設備	図示範囲 (電気設備)
外構工事	図示範囲 (スチールストックヤード)

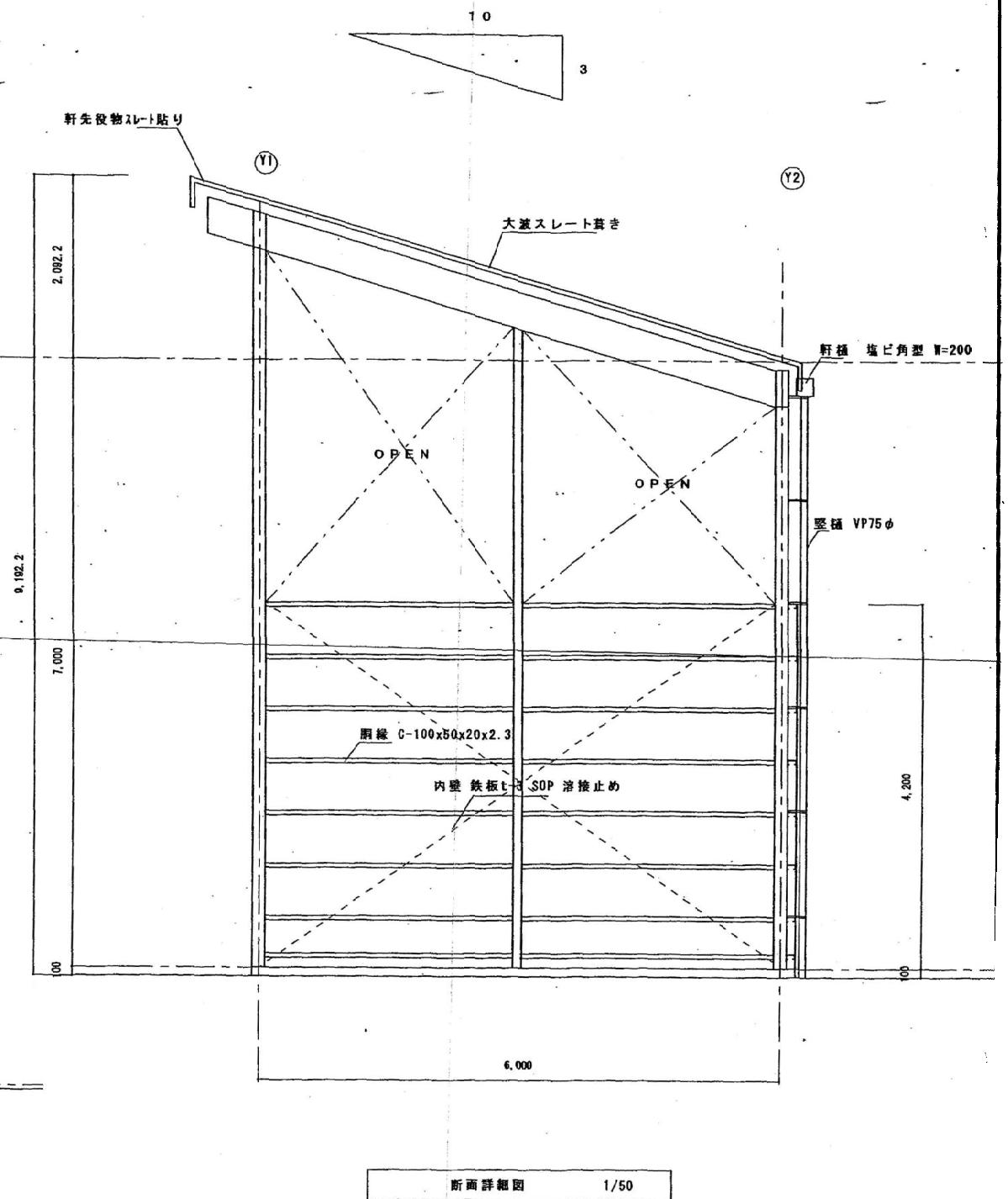
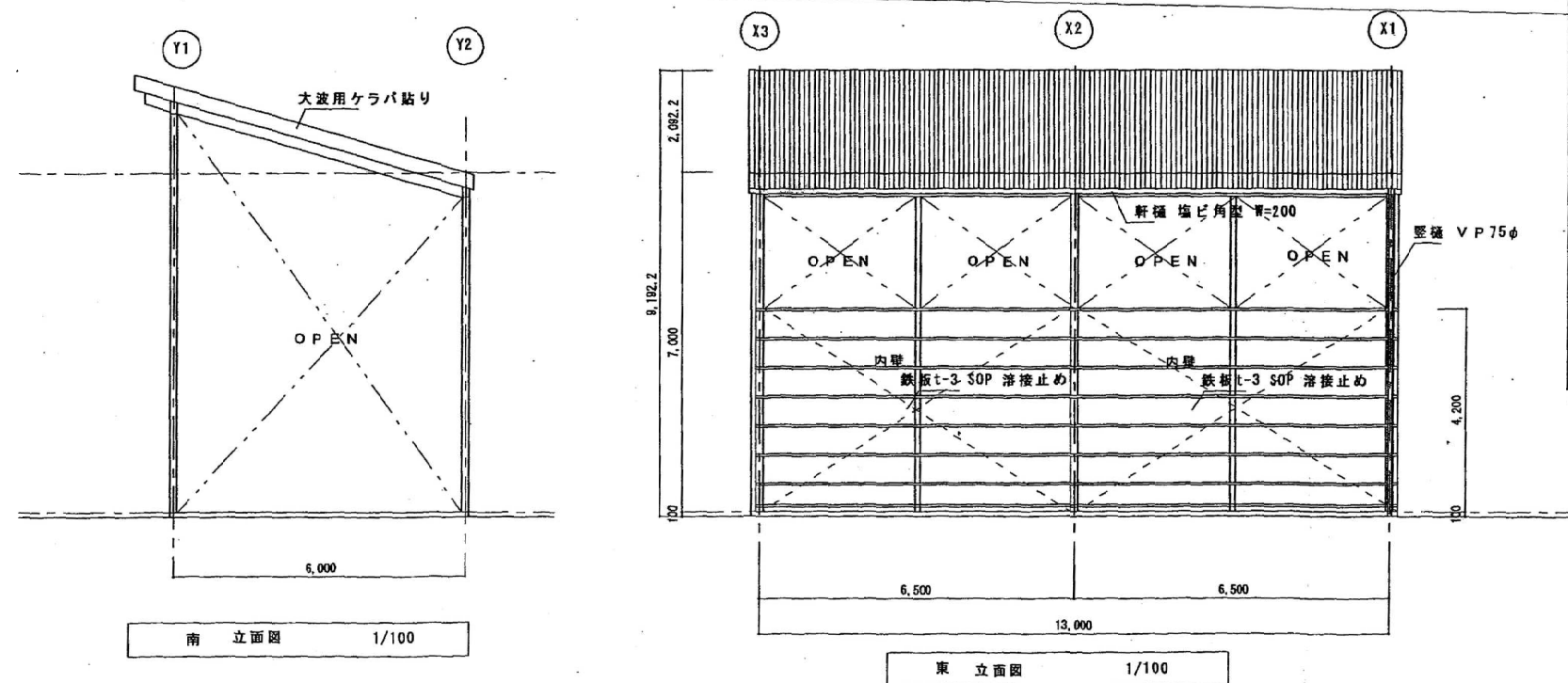
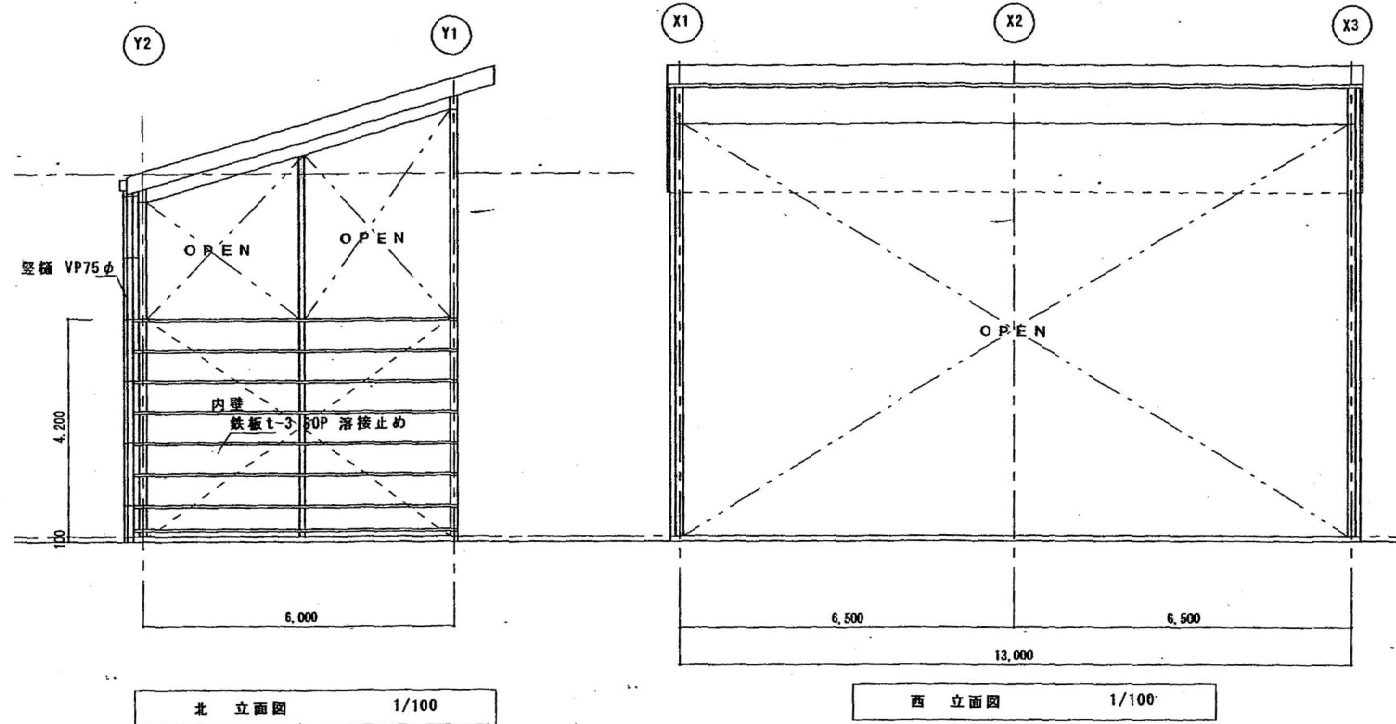
仕上げ表	
屋根	大波スレート葺き 3寸勾配 認定番号 NM-8576 <不燃第1001号>
壁	内壁 鉄板t=3 SOP 溶接止め
床	土間コンクリート300金銭仕上げ
鉄部	SOP塗装
柱	軒柱 塩ビ角型 W=200 縦柱 VP75 埋み金物 SUS#1200



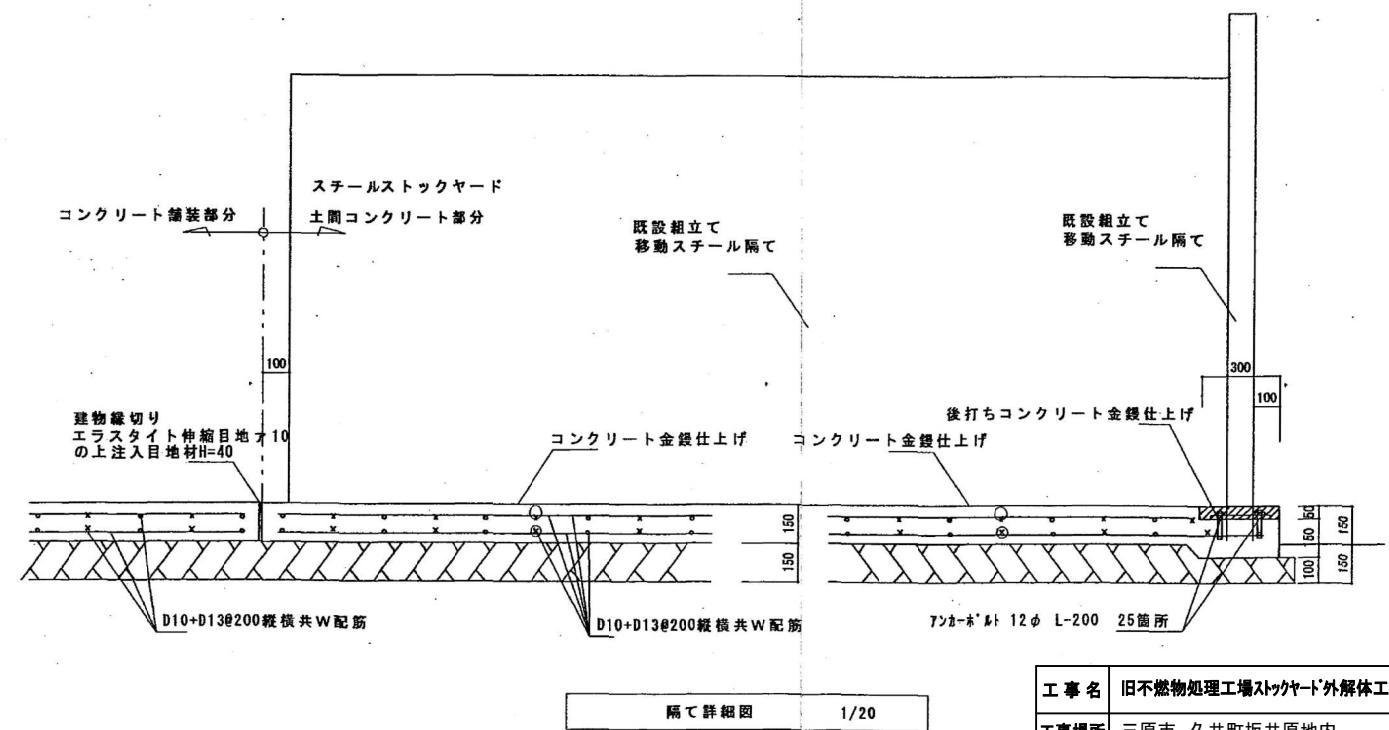
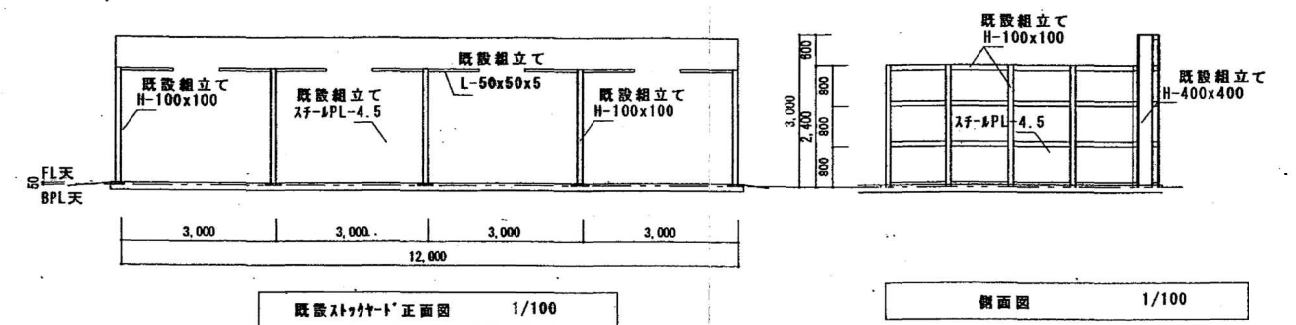
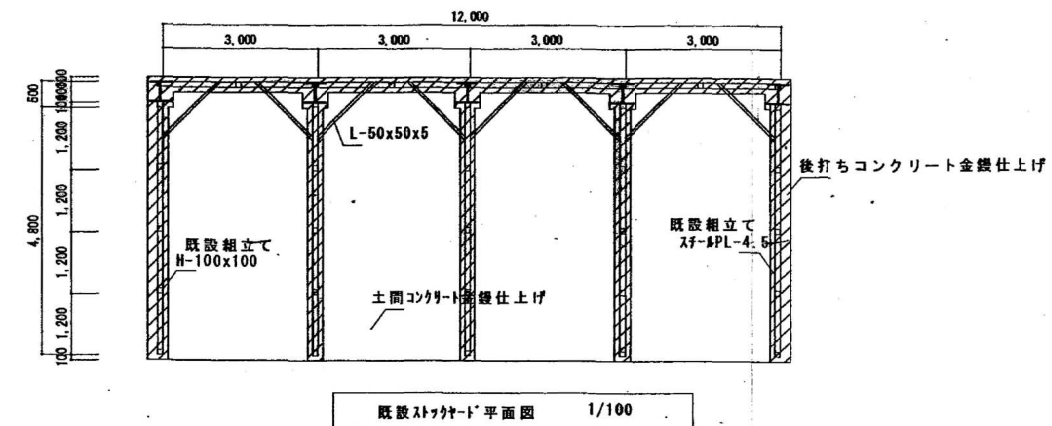
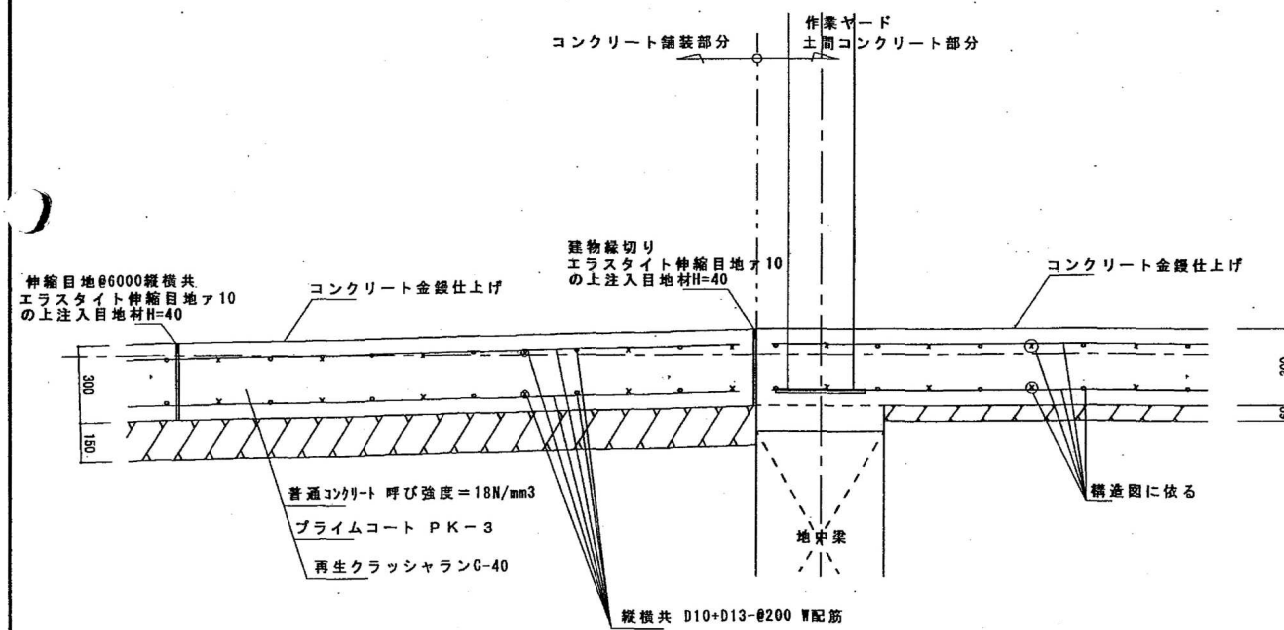
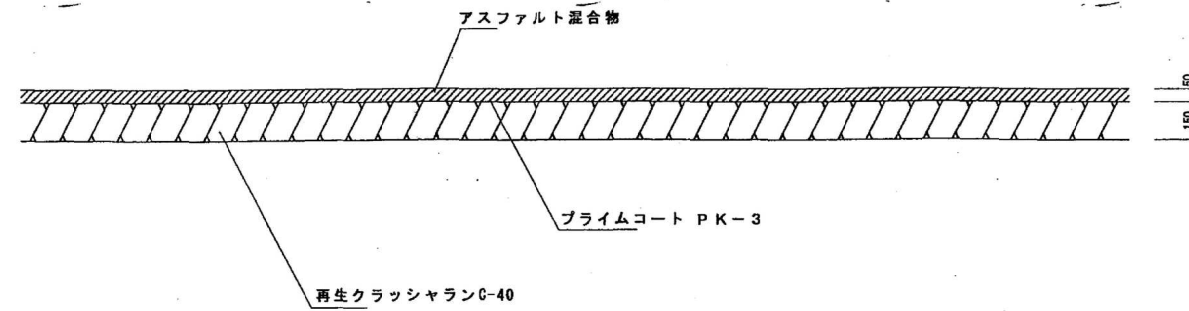
作業ヤード面積表	
13.175 X 6.175 = 81.36 m ²	81.36 m ²



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	30	縮尺	S=1/100
図面名:	② 粗大ゴミ破砕処理ヤード 既存図 仕上げ表 面積表 平面図		
三原広域市町村圏事務組合			



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	31	縮尺	S=1/50、1/100
図面名:	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 立面図 断面詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	32	縮尺	S=1/100
図面名:	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 各部詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			

鉄骨構造標準図 (1)

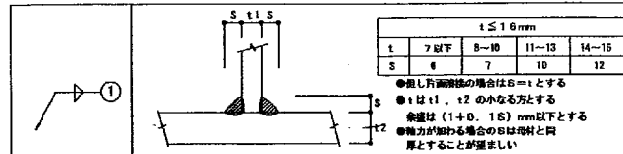
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
(a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、制度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼管部材の分岐部手前の相貫切断は、鋼管自動切断機による
(c) 高強度鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
(a) 本構に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
(a) 溶接技術者
溶接技術者は施工する溶接に適用するJIS Z 3801 (手溶接) 又はJIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
(b) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
(c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアーガウジング (AAG)
(d) 溶接姿勢
下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
(e) 組立て溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
組立て溶接は溶接の地、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
(ハ) 溶接施工
(イ) エンドダブ
I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚度で同形状の
エンドダブを取り付ける
II) エンドダブの材質は、母材と同質とする
III) エンドダブの長さは、MC: 35mm以上
NGC, GC: 40mm以上と特記のない場合は、溶接終了後、
母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
IV) プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は
工事監理者の承認を得る
(ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶
接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
(ハ) スカラップ 半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする
(ホ) 裏はつり
基準図の溶接においてAAGと記号のある部分は全て、溶接監理者の確認を
図行し、部材に確認マークをつける
(ヘ) 現場溶接の開始前には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部
をいらない様に、養生を行なう
(5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと
一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

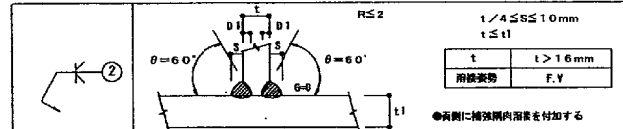
2. 溶接標準図

(注) f: 余高 G: ルート開幅 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

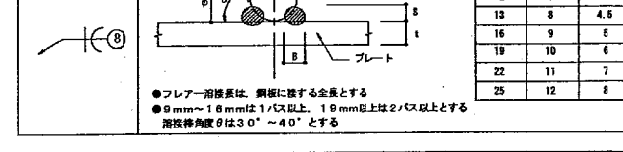
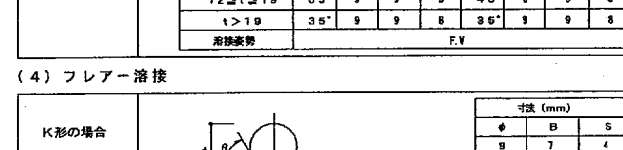
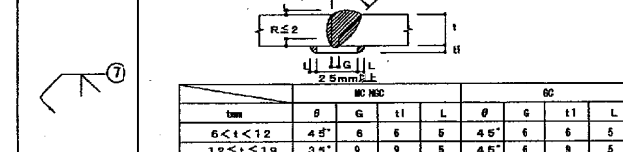
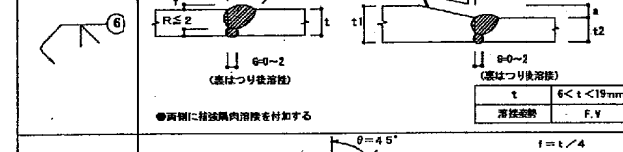
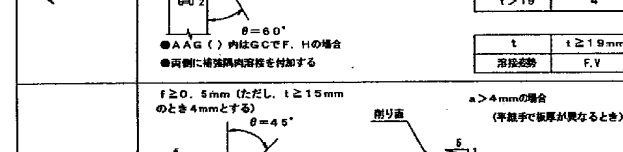
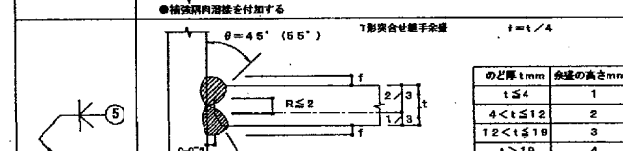
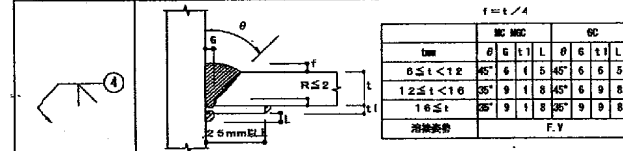
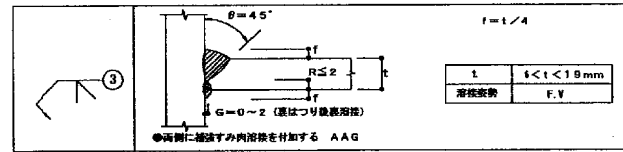
(1) 隅肉溶接



(2) 部分溶込み溶接

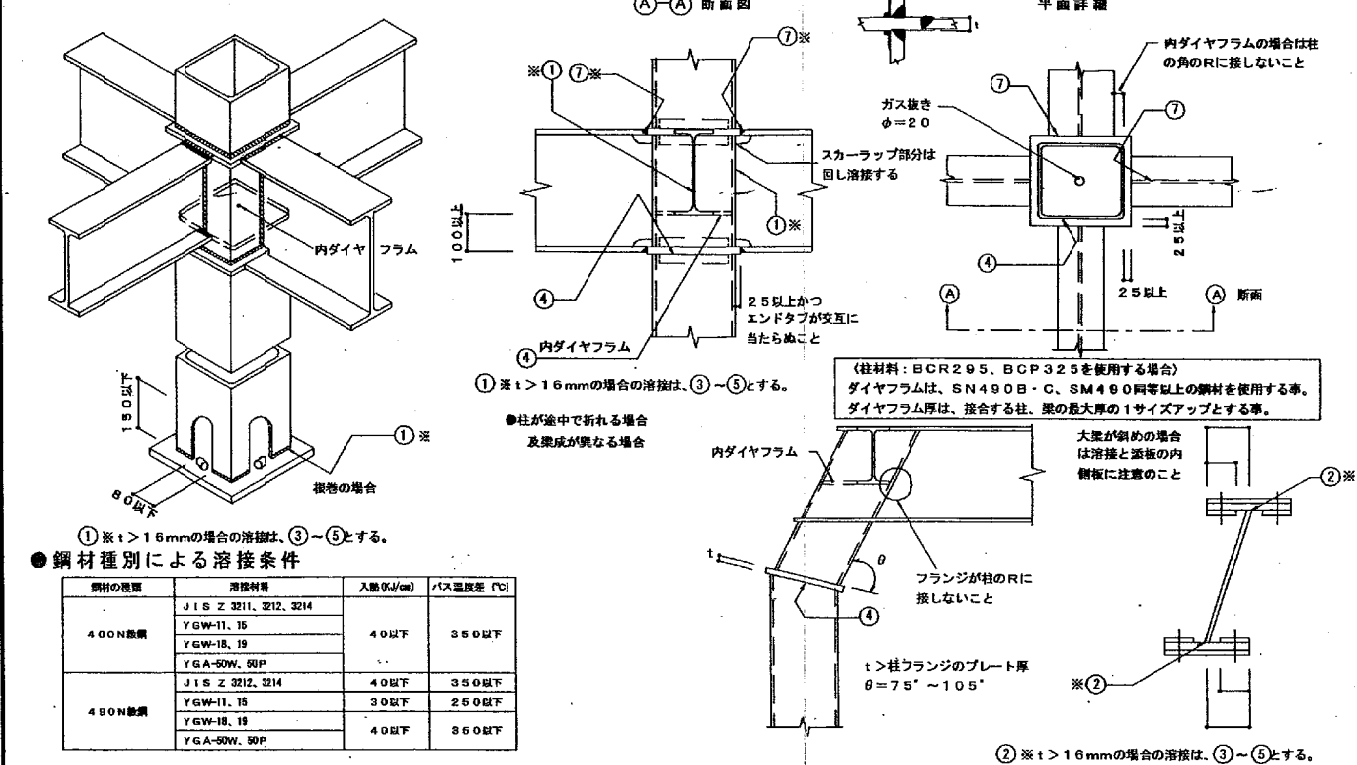


(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)



○溶接記号番号を○中に記入のこと

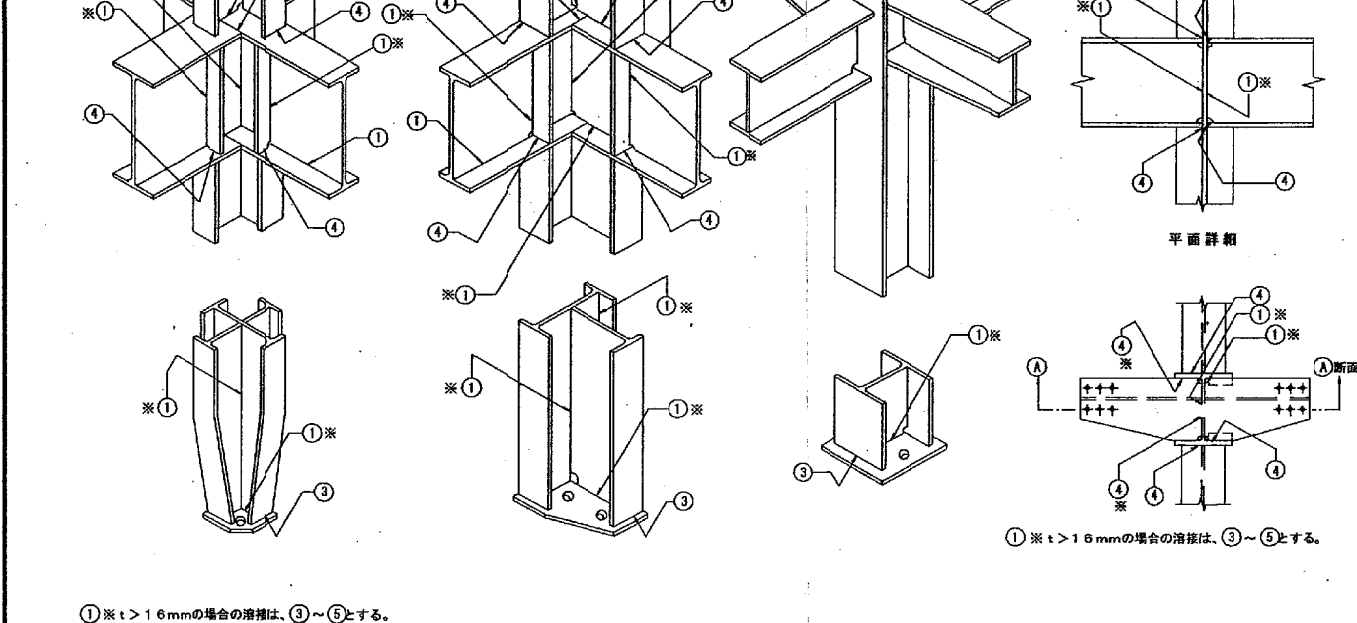
BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



鋼材種別による溶接条件

鋼材の種別	溶接材料	入熱量J/cm	ガス温度(°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214 YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P	40以下	350以下
480N級鋼	JIS Z 3212, 3214 YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P	40以下	350以下

中, H型



工事名	旧不燃物処理工場スケート外解体工事
工事場所	三原市 久井町坂井原地内
図面番号	34 縮尺
図面名	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 鉄骨構造標準図(1)
三原広域市町村圏事務組合	

鐵 骨 構 造 標 準 圖 (2)

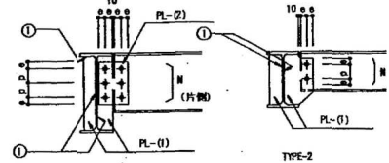
3. 継手規準図, その他

(1) ボルトピッチ (P), ボルト穴径・最小縁端距離

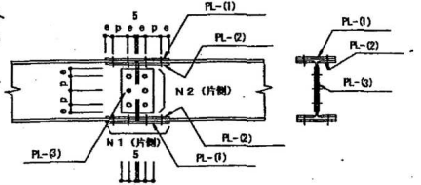
呼 び	ポルト 穴 長	最 小 最 短 距 離 (cm)				ビ ッ ツ 材 (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2) 口の端部	最 小	最 大
1118	18	46	23	22	40	40	60
120	22	56	34	26	40	50	60
122	24	55	38	28	40	55	60
124	26	66	44	30	45	60	70

【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の繰返し距離
(2) セン断線・手動ガス切断線の場合の繰返し距離
(3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の繰返し距離

(2) ピン接合梁継手リスト

[illegible]

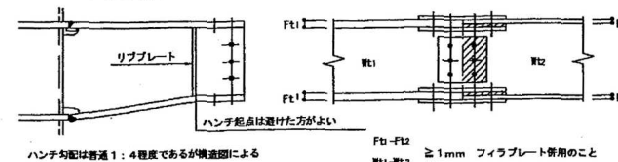
(3) 梁鋼接合継手リスト
(SCSS-H97による)



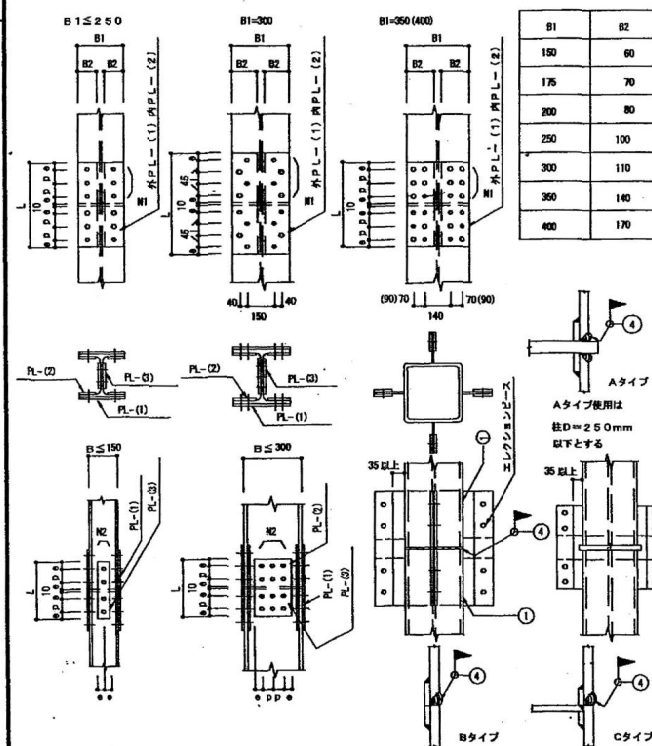
注) 焼酎をEHとする場合の部材は設計図による

[illegible]

(4) ハンチ部の継手



(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

[illegible]

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JIS5540…1982/5541…5542…1993)

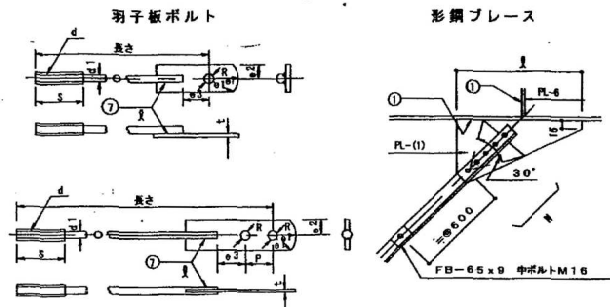
わじの呼び (d)			R12	R14	R16	R18	R20	R22	R24
軸径 d	最 大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最 小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整わじの長さ S			100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容値+0. -0.5mm			13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小) (D) e 1			35	40	45	50	55	55	50
切歯型	へりあき (最小) (1) e 2		22	28	38	34	34	38	38
	板 厚 t	4.5	6	8	9	9	9	9	9
平歯型	へりあき (最小) (1) e 2		19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	9
ボルト頭から取付ボルト穴心のあき (最小)			e 3	47	52	59	66	73	70
歯接長さ (最小)			1	40	50	55	60	75	85
(2)	種 類	J I S B 1 1 8 6 2種高力ボルト (F10T) 又は J I S B 1 1 8 0 中B 1 0 . 9							
	わじの呼び	R12	R16	R16	R20	R20	R22	R20	
	本 数	1	1	1	1	1	1	2	

注 (1) ①、② が確保されていれば形状は自由でよい

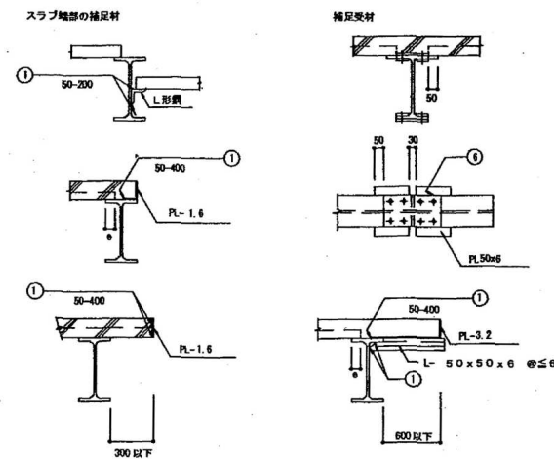
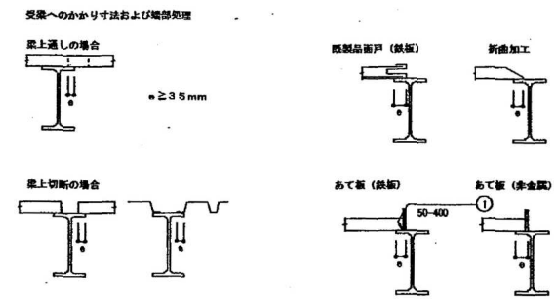
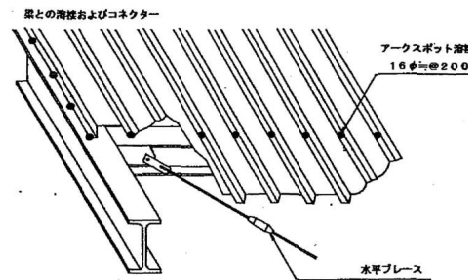
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

(b) 形鋼ブレース

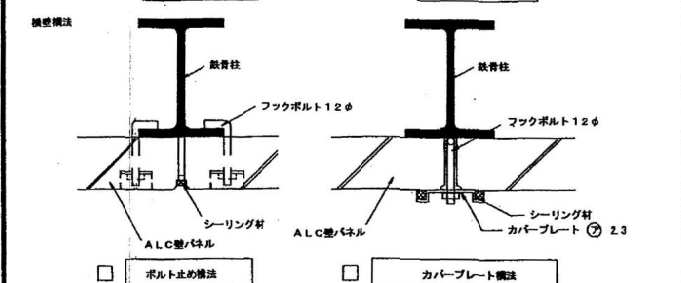
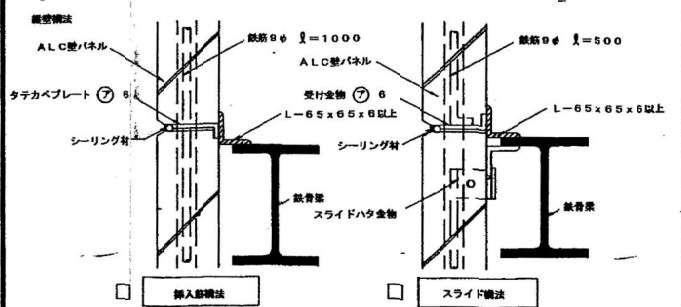
符 号	部 材	R _L (T)	N—E	I



(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



(8) ALC振取付要領



(9) 頭付きスタッド (JIS 1198)

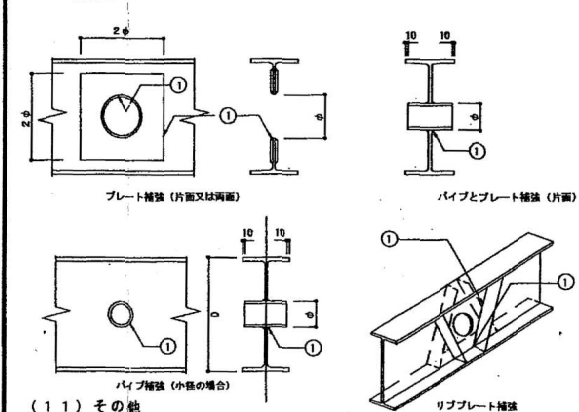
形状

スタッド付

呼び名	軸径 d mm	外径 D mm	取付穴径 mm	溶接後の長さ L mm
φ 13 mm	13.0	22.0	10.0	80, 80, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
φ 16 mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
φ 19 mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
φ 22 mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

(10) 梁貫通補強

- 計算で確定された場合は下記の位置、寸法によらずに良い
- 変換部（スパンの $\frac{1}{2}$ 以内かつ2D以内）は避ける
- $\phi \leq 0.4D$



(11) その他

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	35	縮尺	
図面名:	② 粗大ごみ破碎処理ヤード 既存図 鉄骨構造標準図(2)		
三原広域市町村圏事務組合			

一般事項										鉄骨一般事項																																													
1.建物概要		建築場所 三原市久井町坂井原字焼御堂1358-82								1.使用材料		鋼板・形鋼								JIS G 3101		SS 400		規格品																															
		用 途 作業ヤード																		JIS G 3136		SN 400B		規格品																															
		構造種別 地上部分																		JIS G 3136		SN 400C		規格品																															
		鉄骨造 1階																		JIS G 3350		SSC400		規格品																															
		地下部分																																																					
2.適用図書		特記なき構造詳細は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」平成16年版及び、建設省大臣官房官庁営繕部監修「建築鉄骨設計基準及び同解説」平成10年版による。								2.用 語		本設計図で使用する用語は関連JIS及び日本建築学会編「建築工事標準仕様書JASS6 鉄骨工事」及び「鉄骨工事技術指針」による。																																											
3.使用材料		コンクリート（基礎、基礎梁） 普通コンクリート（ポルトランドセメント） Fc=21 N/mm ² （土間コンクリート） 普通コンクリート 呼び強度=18 N/mm ² （捨てコンクリート） 普通コンクリート 呼び強度=15 N/mm ²								3.ボルトの記号		<table><thead><tr><th>種 別</th><th>呼び名</th><th>記 号</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">高力ボルト</td><td>M16</td><td>—</td><td rowspan="4">S10T</td></tr><tr><td>M20</td><td>+</td></tr><tr><td>M22</td><td>⊕</td></tr><tr><td>M24</td><td>⊗</td></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき高力ボルト</td><td>M16</td><td>—</td><td rowspan="3">F8T</td></tr><tr><td>M20</td><td>+</td></tr><tr><td>M22</td><td>⊕</td></tr><tr><td>アンカーボルト</td><td colspan="3">各詳細図に特記する</td></tr></tbody></table>																		種 別	呼び名	記 号	備 考	高力ボルト	M16	—	S10T	M20	+	M22	⊕	M24	⊗	溶融亜鉛めっき高力ボルト	M16	—	F8T	M20	+	M22	⊕	アンカーボルト	各詳細図に特記する		
種 別	呼び名	記 号	備 考																																																				
高力ボルト	M16	—	S10T																																																				
	M20	+																																																					
	M22	⊕																																																					
	M24	⊗																																																					
溶融亜鉛めっき高力ボルト	M16	—	F8T																																																				
	M20	+																																																					
	M22	⊕																																																					
アンカーボルト	各詳細図に特記する																																																						
4.鉄筋記号		<table><thead><tr><th>呼び名</th><th>D10</th><th>D13</th><th>D16</th><th>D19</th><th>D22</th><th>D25</th><th>D29</th><th>D32</th></tr></thead><tbody><tr><td>表示記号</td><td>●</td><td>×</td><td>⊗</td><td>●</td><td>○</td><td>⊙</td><td>⊗</td><td>⊙</td></tr></tbody></table>								呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	表示記号	●	×	⊗	●	○	⊙	⊗	⊙																												
呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32																																															
表示記号	●	×	⊗	●	○	⊙	⊗	⊙																																															
5.鉄筋継手		D16以下 重ね継手 D19以上 ガス圧接（開口部補強筋、壁筋、基礎スラブ、地下外壁は除く）																																																					
6.基礎形式		直接基礎、独立基礎 ・地耐力： σ=50 kN/m ² （長期）																																																					
7.地 盤		<table><thead><tr><th>場 所</th><th>捨てコンクリート</th><th>砕 石</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>基礎下</td><td>50</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>基礎梁下</td><td>50</td><td>50</td><td></td></tr><tr><td>土間コン下</td><td>—</td><td>50</td><td></td></tr></tbody></table>								場 所	捨てコンクリート	砕 石	備 考	基礎下	50	100		基礎梁下	50	50		土間コン下	—	50																															
場 所	捨てコンクリート	砕 石	備 考																																																				
基礎下	50	100																																																					
基礎梁下	50	50																																																					
土間コン下	—	50																																																					

工事名

旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事

工事場所

三原市 久井町坂井原地内

図面番号

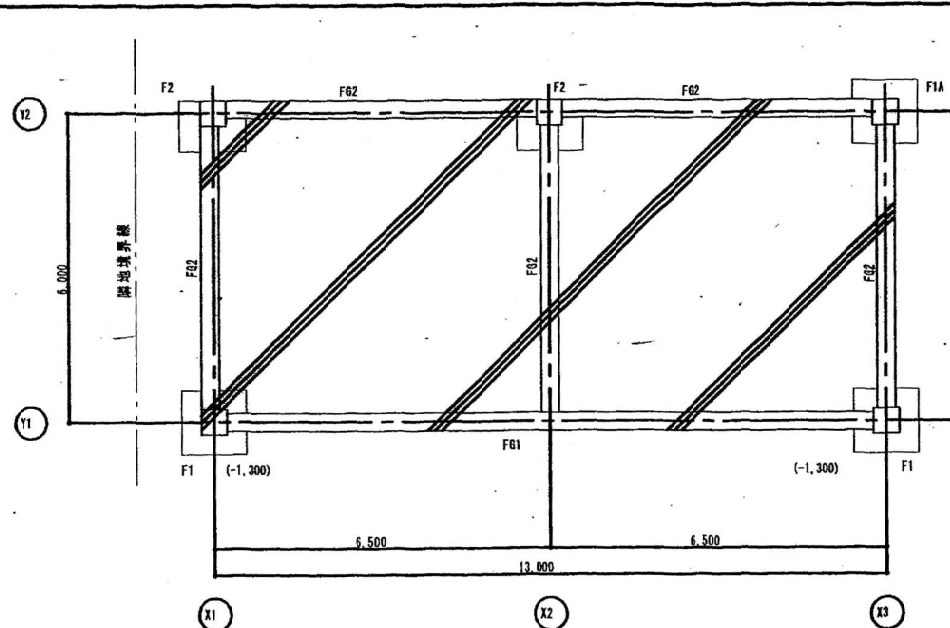
36

縮尺

図面名

② 粗大ごみ破碎処理ヤード 既存図
一般事項

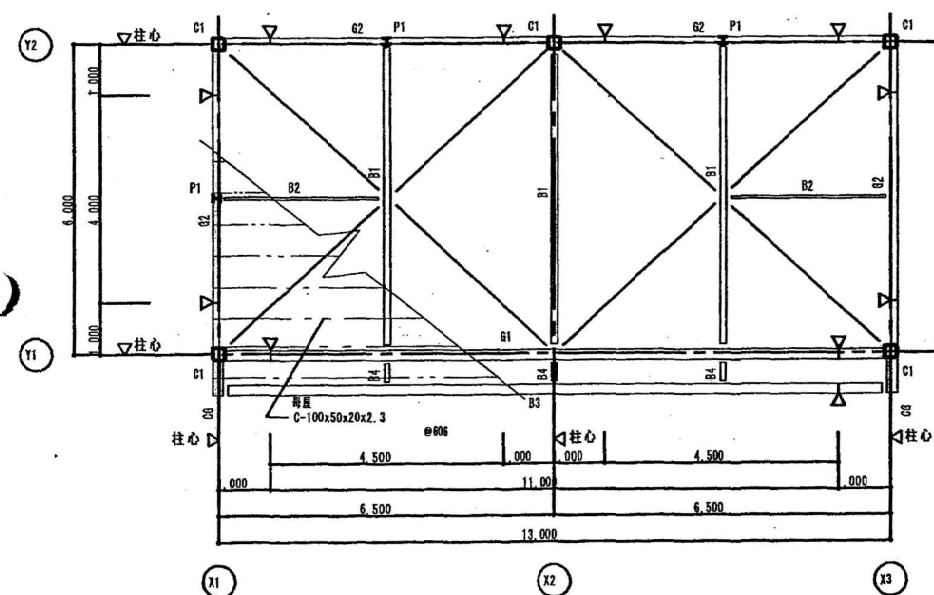
三原広域市町村圏事務組合



基礎伏図 1/100

特記外は下記に依る。

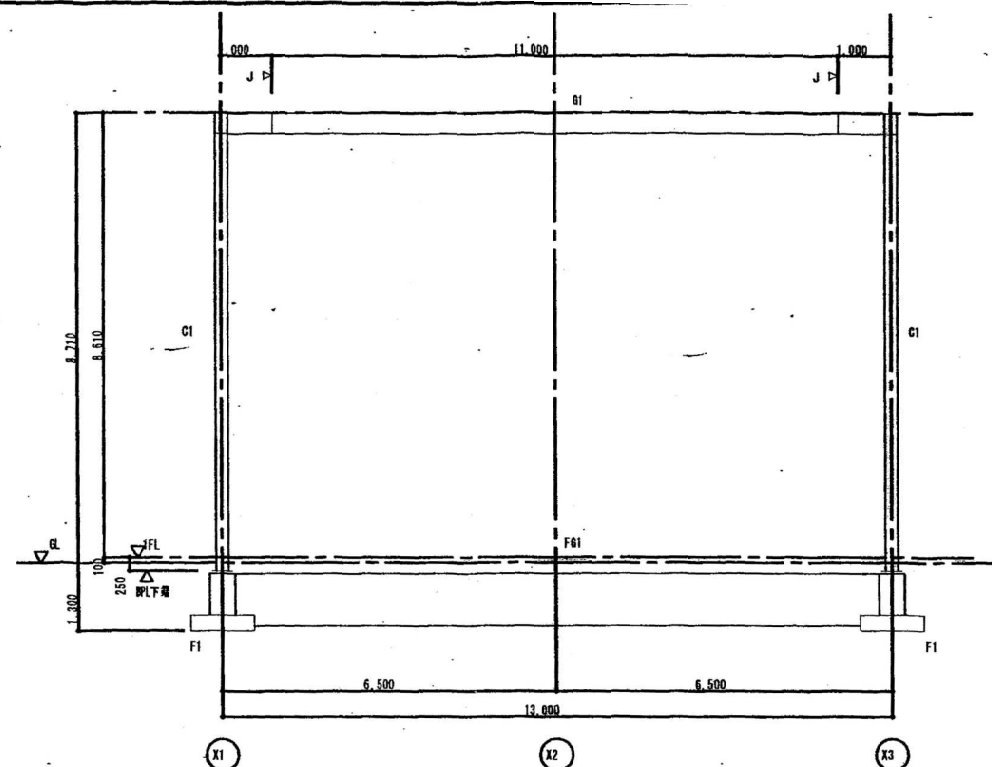
- 床天端レベル FL±0
- 基礎梁天端レベル FL-300
- 基礎下端レベル GL-900
- () 内数値はGLからの基礎下端レベルを示す。
- は土間コンクリートを示す。



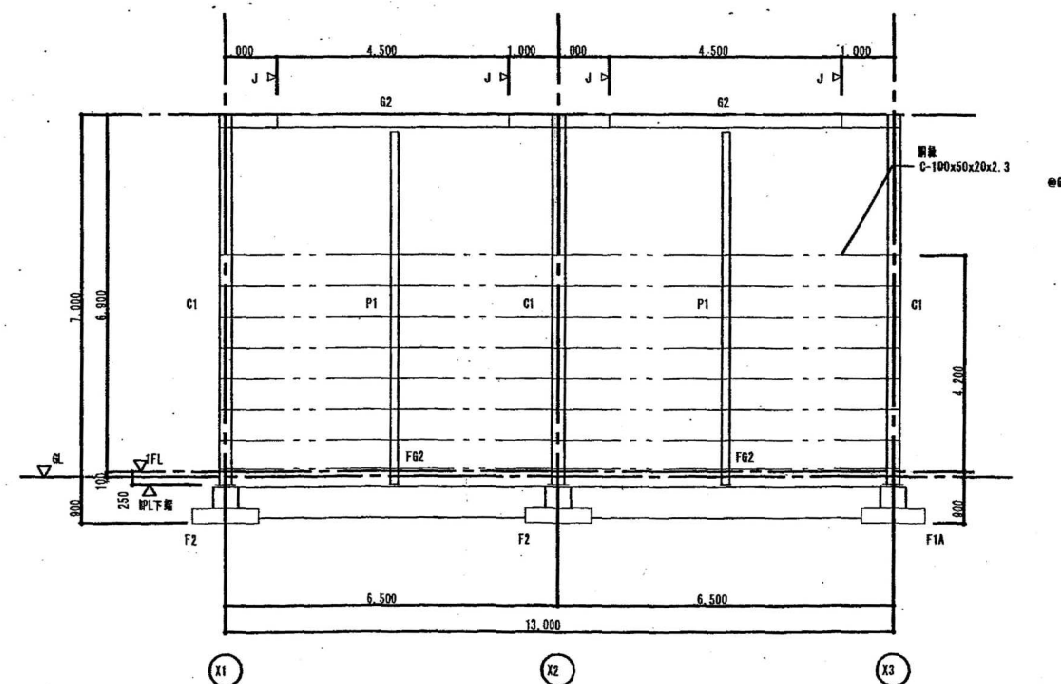
2階 伏図 1/100

特記外は下記に依る。

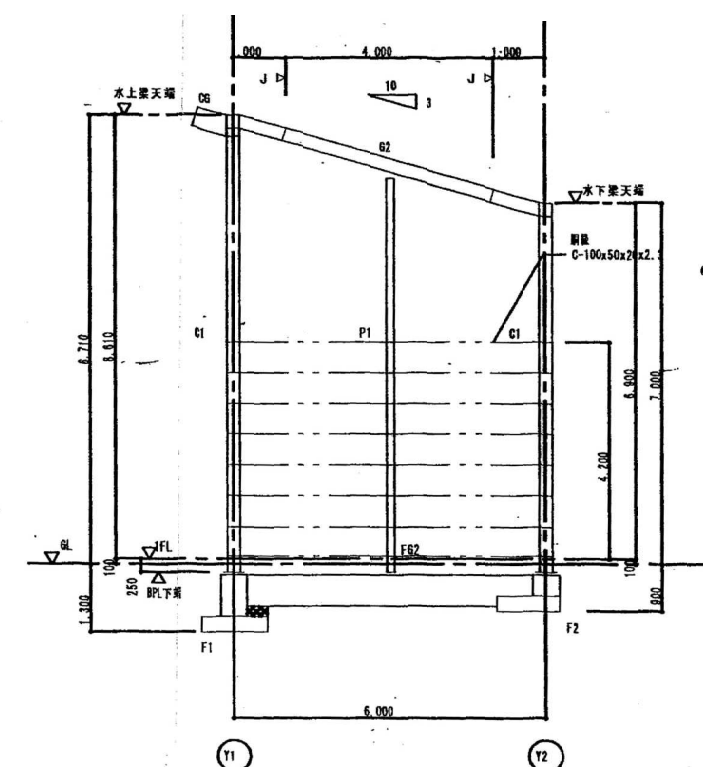
- 屋根面ブレース HV1



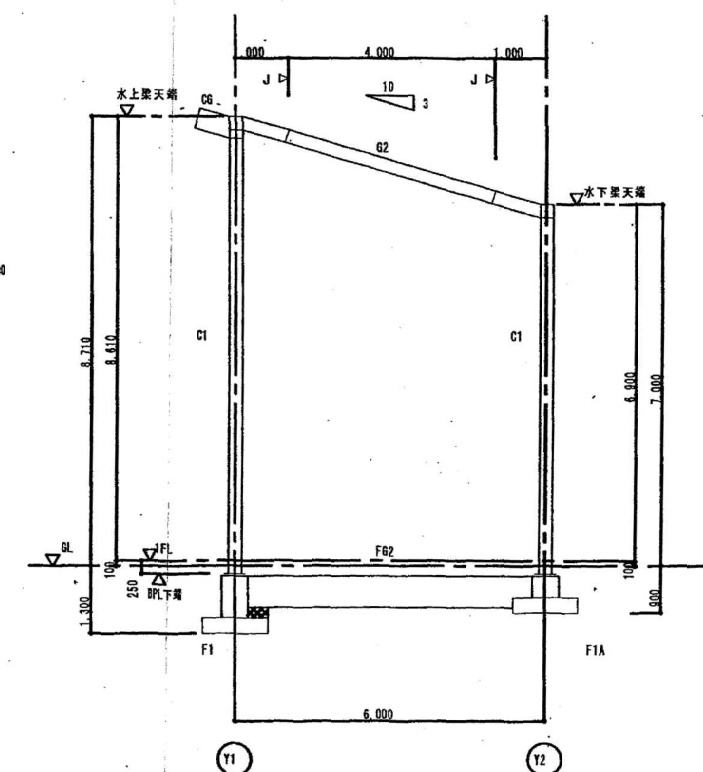
Y1通り軸組図 1/100



Y2通り軸組図 1/100



X1通り軸組図 1/100



X3通り軸組図 1/100

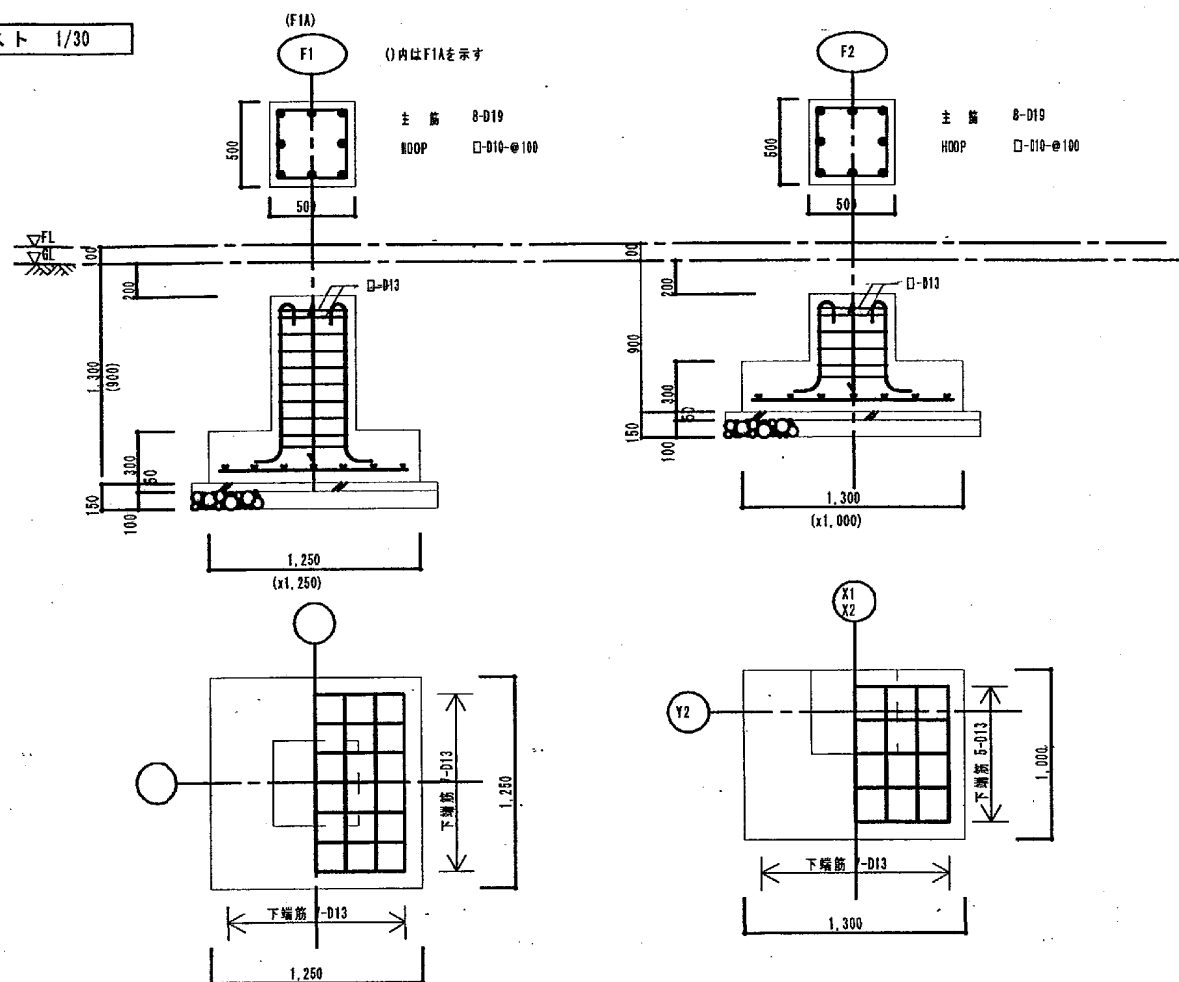
軸組図共通事項

- 基礎梁天端レベル FL-300

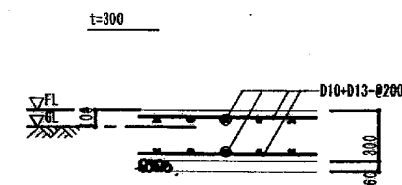
- $\triangle J$ は大梁継手位置を示す。

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	37	縮尺	S=1/100
図面名:	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 伏図、軸組図		
三原広域市町村圏事務組合			

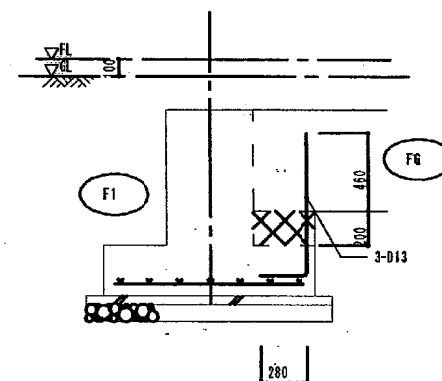
基礎リスト 1/30



土間配筋図 1/30



基礎増打要領 1/30



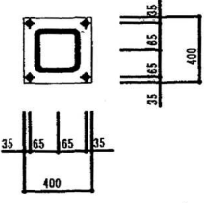
基礎梁リスト 1/30

注記：特記なき限り巾止め筋はD10-@1000とする。

記号	F61	F62	
位置	端部	中央	全断面
断面			
bxD	350x1,000	350x600	
上筋	3-D19	3-D19	3-D19
下筋	3-D19	5-D19	3-D19
腹筋	4-D10		
あばら筋	D10-D13-@200	D10-D13-@200	

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	38	縮尺	S=1/30
図面名:	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 基礎、基礎梁リスト		
三原広域市町村圏事務組合			

柱リスト 1/30

符 号	C1	
部 材	C-250x250x 12	
柱脚		
B. PL	PL-25x400x400	
A. BOLT	4-M20 (L=600)	

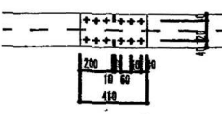
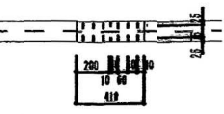
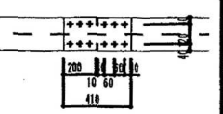
特記外は下記に依る	
・ 鋼材	SS400
・ A. BOLT	SM400B (ダブルナット締め)
・ B. PL	SM400C

鉄骨部材リスト

符 号	部 材	備 考
G1	H-400x200x 8x 13 (SM400B)	剛接合 (JF1) 継手リスト参照。
G2	H-250x125x 6x 9 (SM400B)	剛接合 (JF2) 継手リスト参照。
G6	H-400x200x 8x 13 (SM400B)	剛接合
B1	H-250x125x 6x 9	GPL-9 2-M20 #90
B2	C-100x 50x 5x7.5	GPL-9 2-M16 #60
B3	H-294x200x 8x 12	GPL-12 3-M20 #60 継手は、継手リスト (JF11) 参照。
B4	H-200x100x5.5x 8	GPL-6 2-M16 #60
P 1	H-150x150x 7x 10	GPL-9 2-M16 #60 柱脚は詳観図による。
HV1	1-M12 (ターンバックル付)	GPL-6 1-M12
母屋	C-100x50x20x2.3 #606 (SSC400)	仕口部は詳観図による。
脚壁	C-100x50x20x2.3 #600 (SSC400)	仕口部は詳観図による。

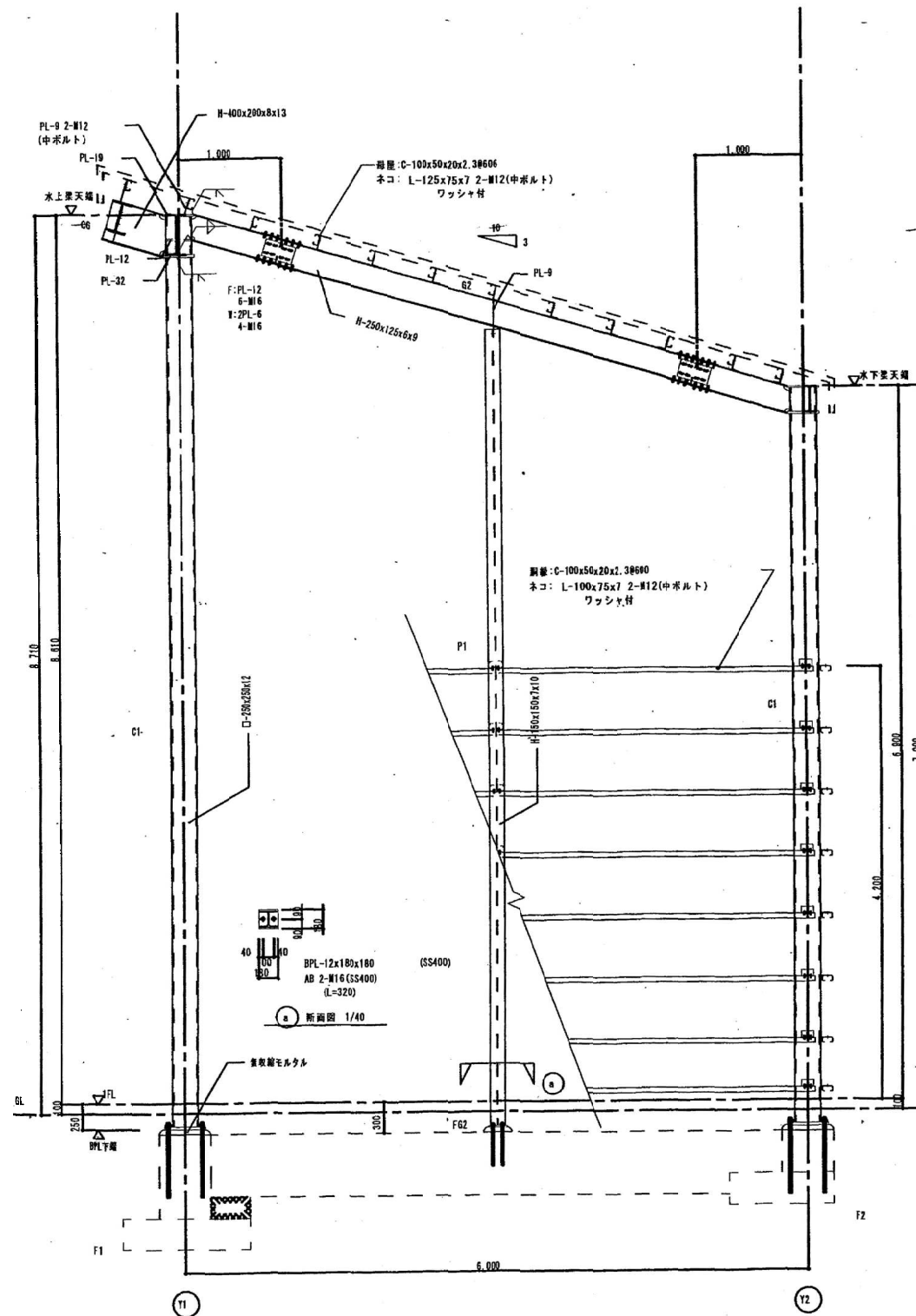
特記外は下記に依る	
・ 鋼材	SS400
・ BOLT	H.T.B S10T

大梁継手リスト 1/30

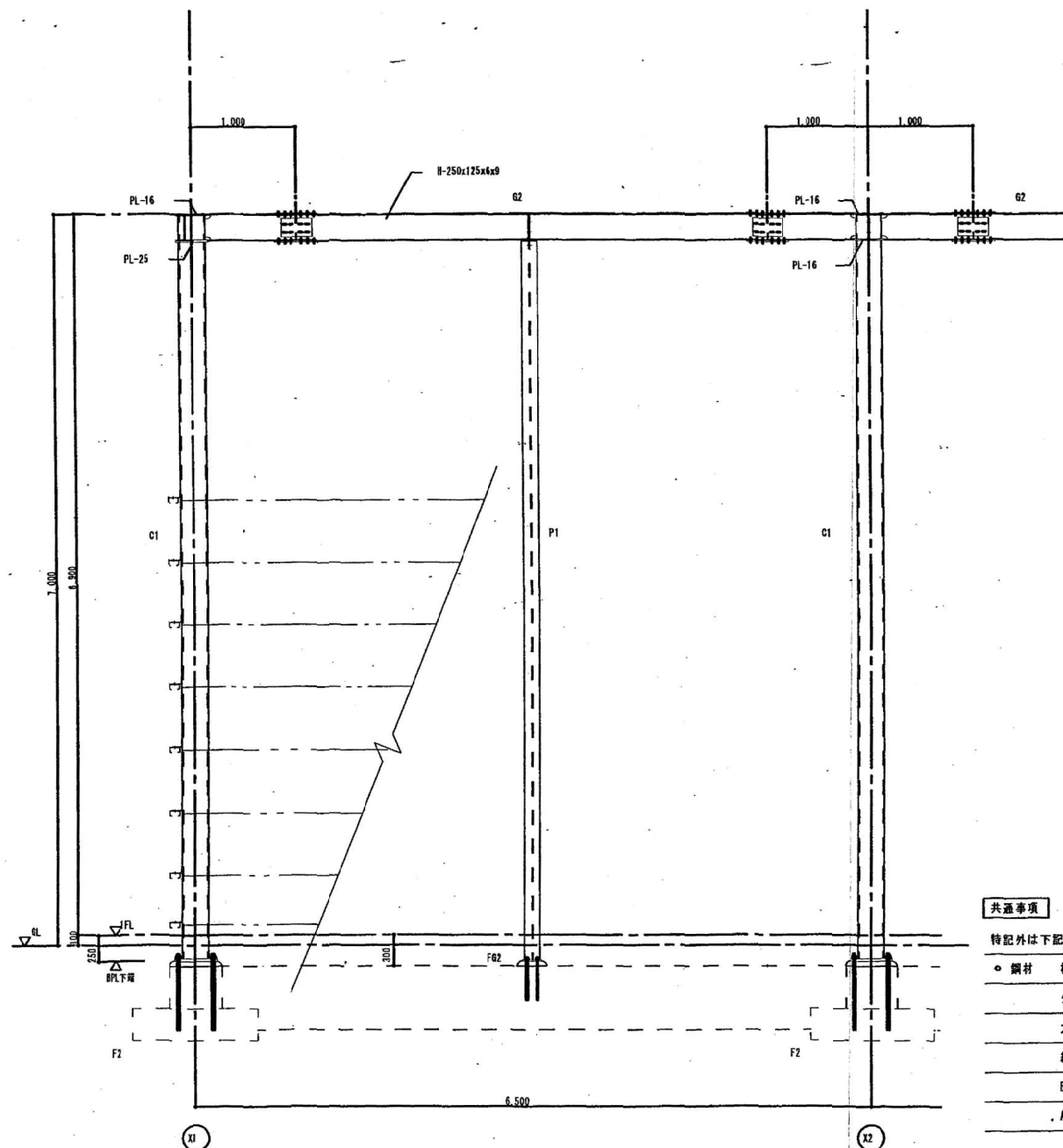
記 号	JF1	JF2		JF11
接合図				
部材寸法	H-400x200x 8x 13	H-250x125x 6x 9		H-294x200x 8x 12
フランジ	外添板 PL-9	PL-12		PL-9
	内添板 PL-9			PL-9
	ボルト 6-M20	6-M16		6-M20
ウェブ	添板 2PL-9	2PL-6		2PL-9
	ボルト 4-M20	4-M16		3-M20

特記外は下記に依る	
・ 継手PL	SM400B
・ BOLT	H.T.B S10T

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	39	縮尺	S=1/30
図面名:	② 粗大ごみ破砕処理ヤード 既存図 鉄骨部材リスト		
三原広域市町村圏事務組合			



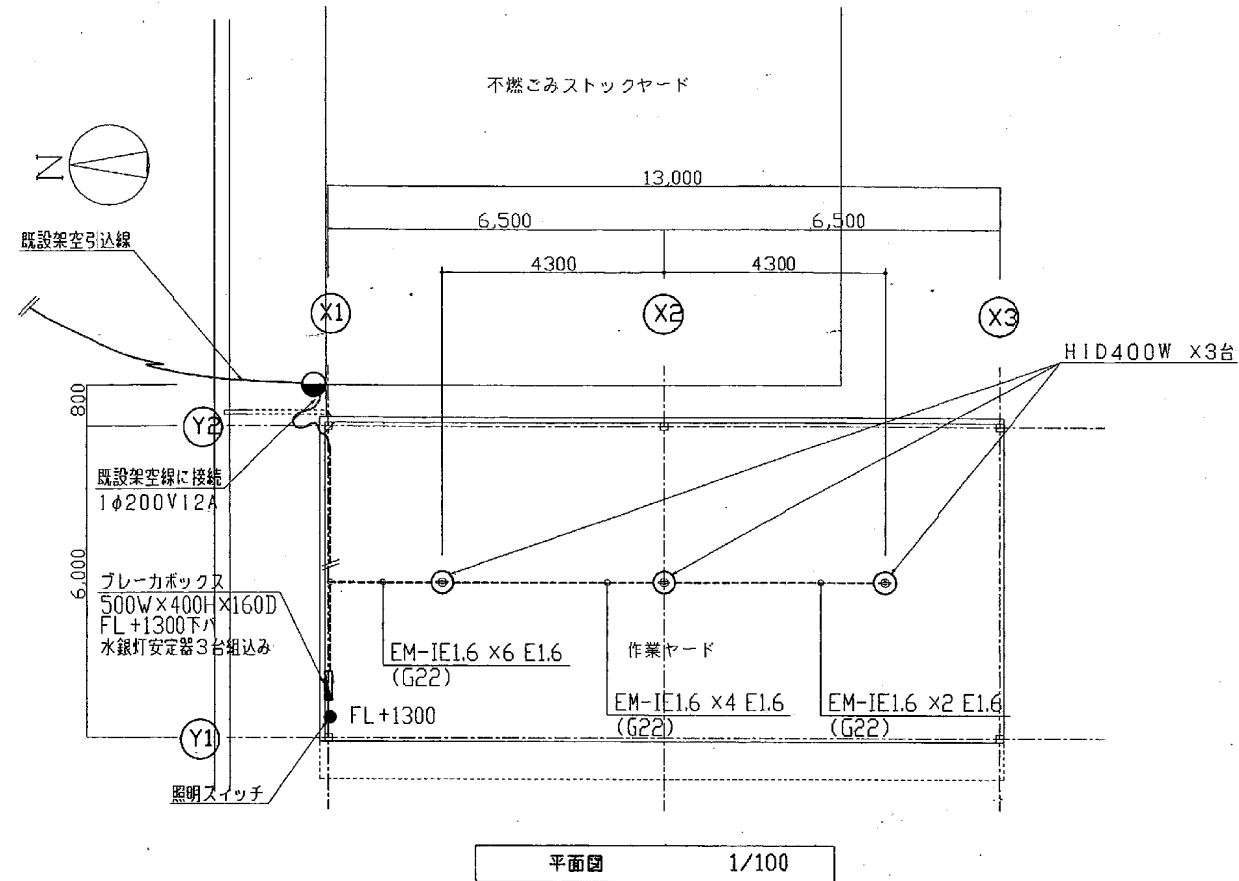
X1通り詳細図 1/40



Y2通り詳細図 1/40

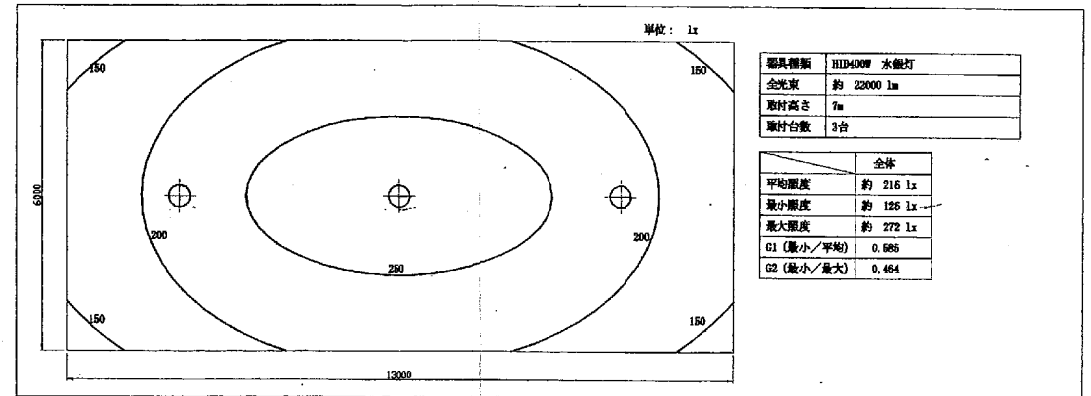
共通事項		
特記外は下記に依る。		
○ 鋼材	柱	STKR400
	ダイヤフラム	SN400C
	大梁	SN400B
	継手PL	SN400B
	BPL	SN400C
	A. BOLT	SNR400B
その他		SS400
○ ボルト	H. T. B	S10T

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	40	縮尺	S=1/40
図面名:	② 粗大ごみ破碎処理ヤード 既存図 鉄骨詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			



1. 作業ヤード電灯設備 照度検討

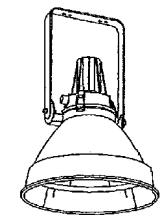
水平照度分布図	計算面高さ 0 m
反射率	天井 60% 壁 20% 床 10%



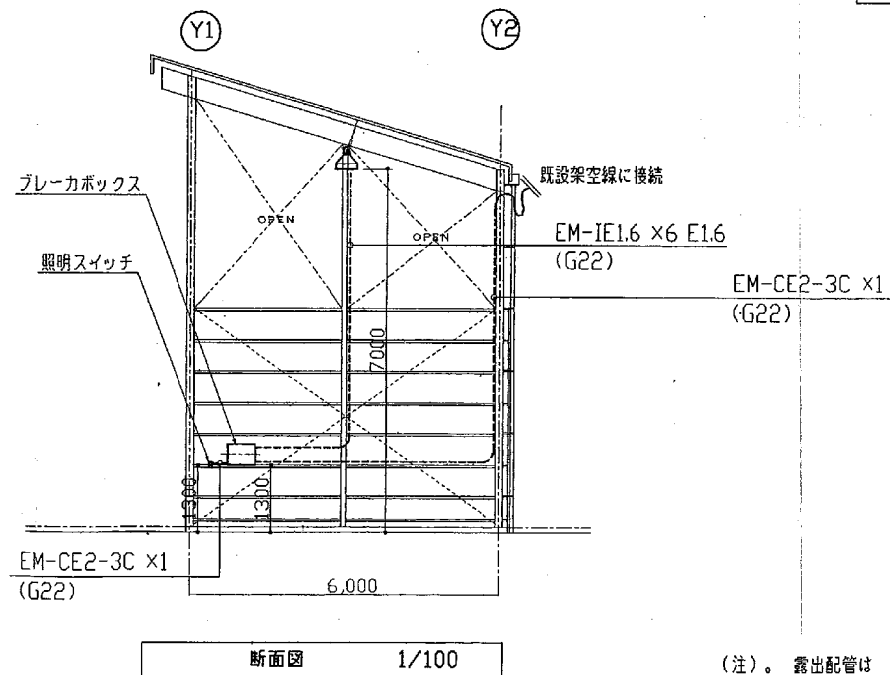
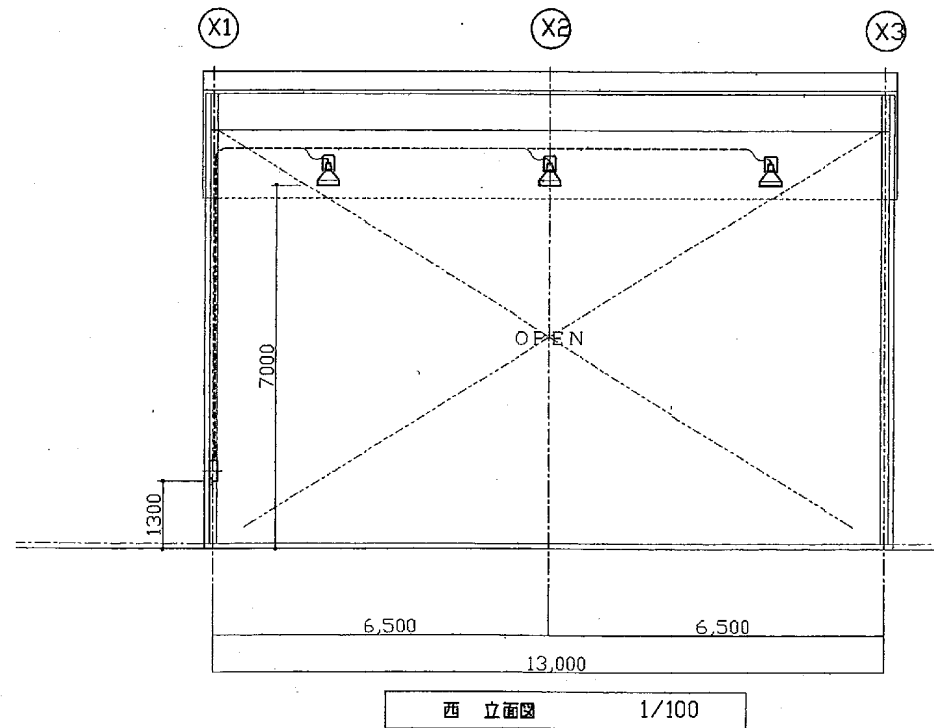
2. 作業ヤード電灯電圧降下 (1φ 200V)

照明:	最大44/1台 × 3台
倉庫内電気容量:	12A

HID400W 高天井用器具

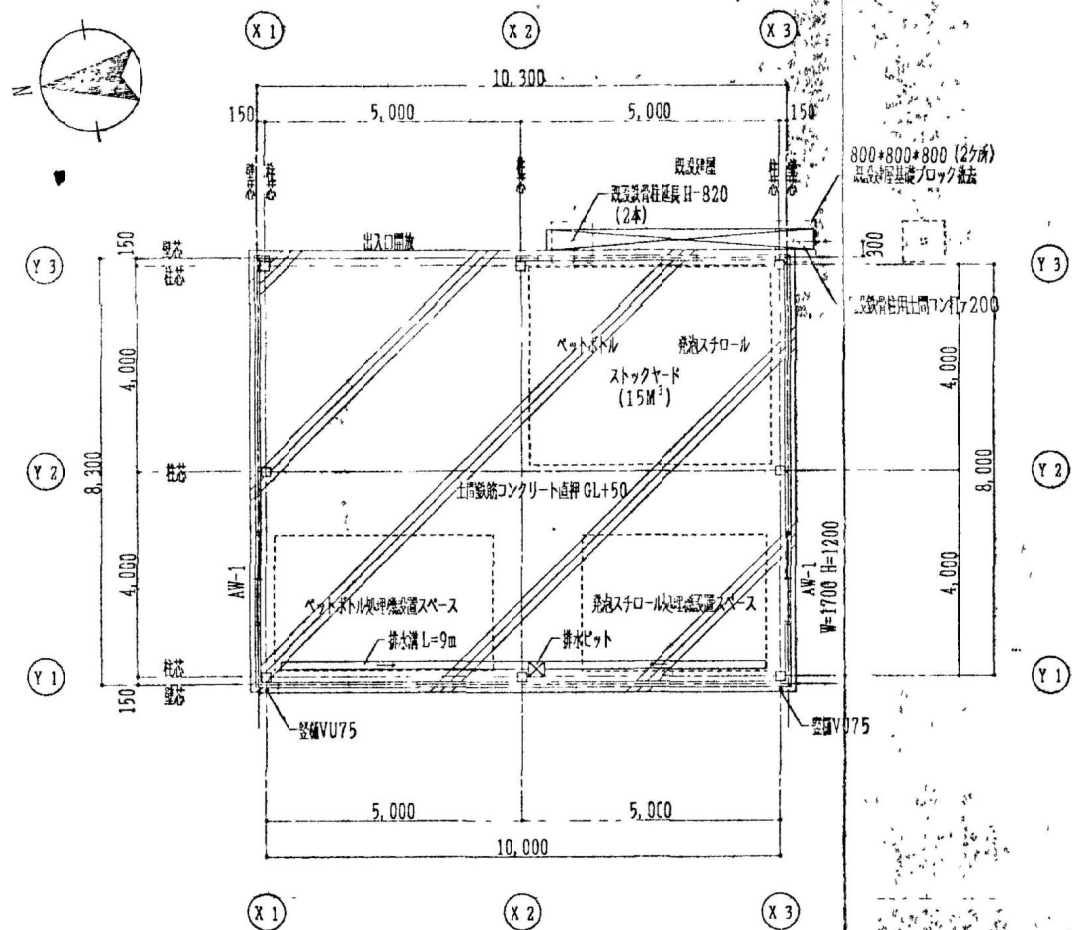


専用型 防湿・防雨型
反射器: アルミ (ガラス質コーティング)
反射板: 外周アクリル板
下面パネル: 強化ガラス

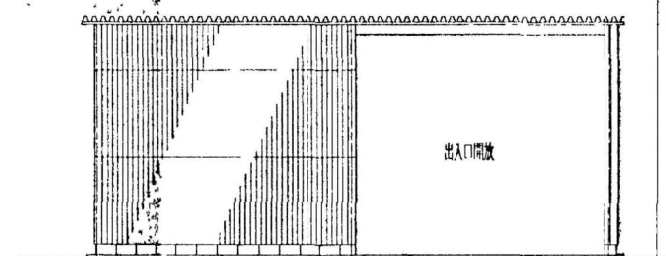


(注)。露出配管は 厚鋼電線管 (G管)、仕上げ塗装とする。

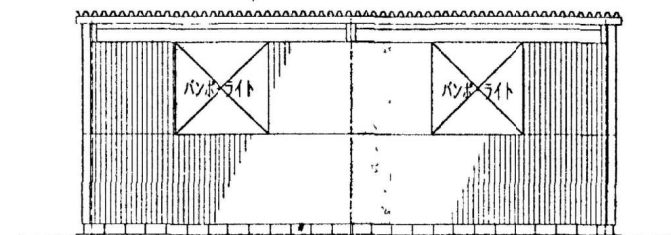
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	41	縮尺	S=1/100
図面名:	② 粗大ごみ破碎処理ヤード 既存図 電灯設備図		
三原広域市町村圏事務組合			



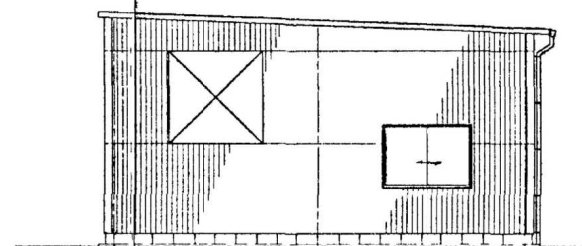
平面図 S=1:100



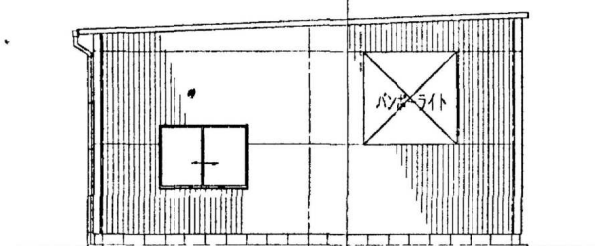
東側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



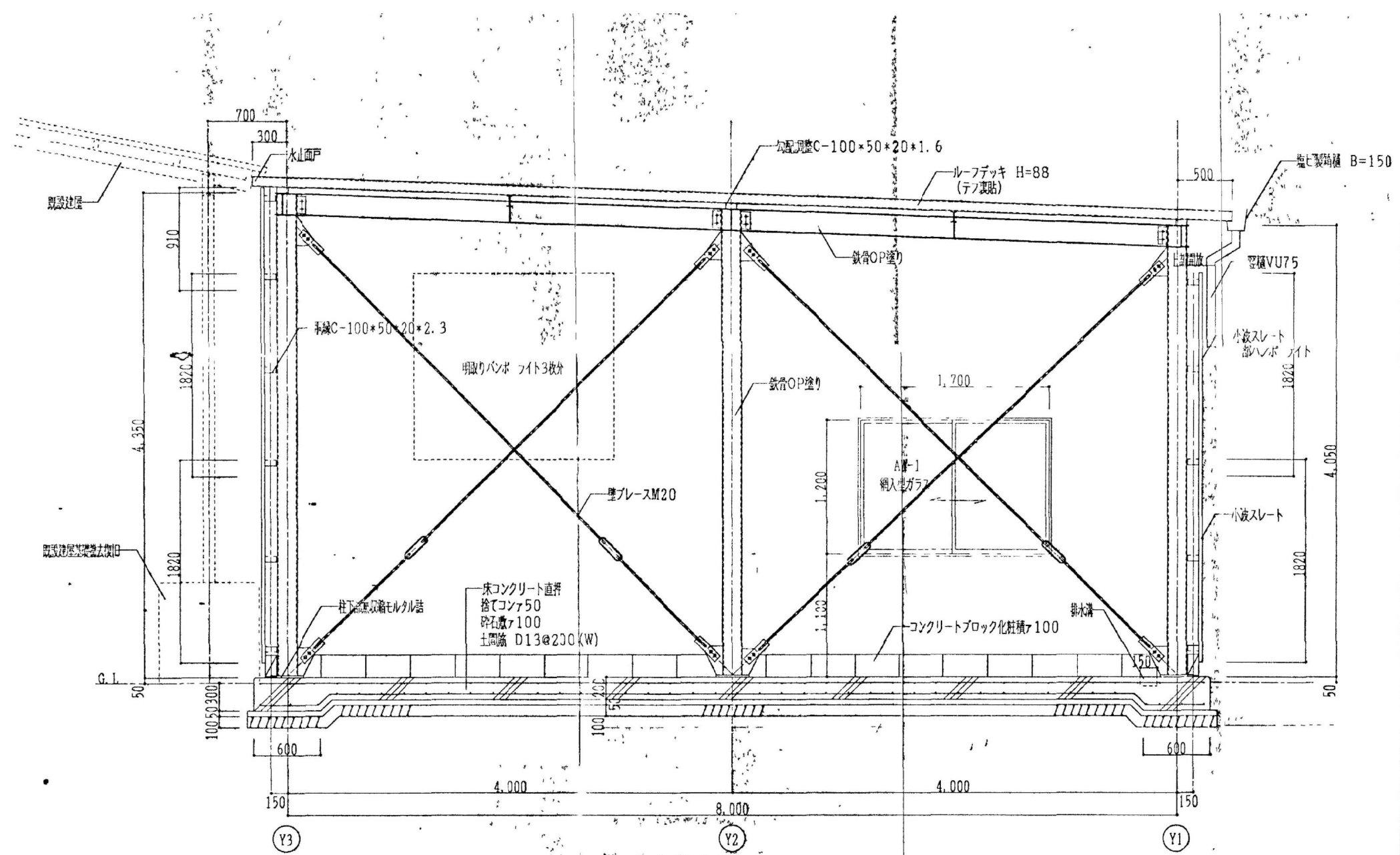
南側立面図 S=1:100

外部仕上表	
屋根	ルーフデッキ H=88 (ポリフォーム裏張)
外壁	小波スレート 一部パンボライト
軒裏	ルーフデッキ H=88 (ポリフォーム裏張)
建具	アルミサッシ (シルバー) 網入型ガラス 6.8

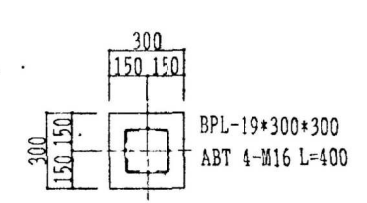
内部仕上表		
室名	床	巾木
商業物処理場	鉄筋コンクリート直押	CB7100

	基礎	鉄筋コンクリートベタ基礎
	壁	エンビ断壁 B=150 壁厚 VU75
	天井	ルーフデッキまじ
	備考	断熱 B=150 気密性

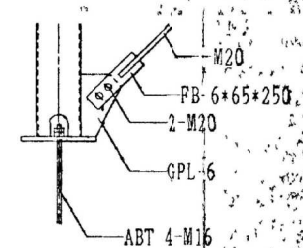
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	42	縮尺	S=1/100
図面名:	④ ペットボトル圧縮保管ヤード 既存図 平面図、立面図		
三原広域市町村圏事務組合			



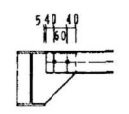
断面詳細図 S=1:30



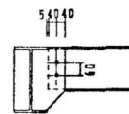
C1柱脚 S=1:20



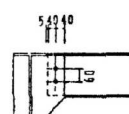
小梁継手	H-100*50*5*7	
	フランジ	ウェブ
添板		PL-6
HTB		2-M16
ゲージ	G1	G2



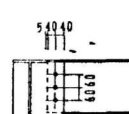
小梁継手	H-175*90*5*8	
	フランジ	ウェブ
添板		PL-6
HTB		2-M16
ゲージ	G1	G2



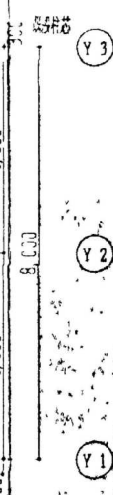
小梁継手	H-200*100*5.5*8	
	フランジ	ウェブ
添板		PL-6
HTB		2-M16
ゲージ	G1	G2



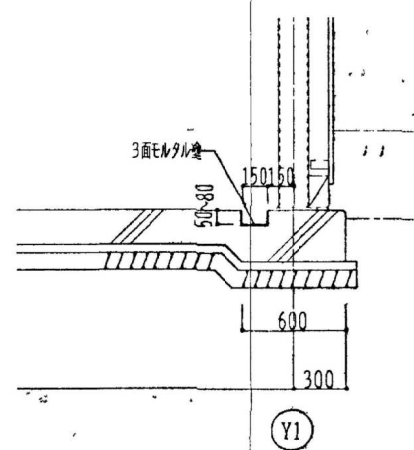
小梁継手	H-300*150*6*9	
	フランジ	ウェブ
添板		PL-6
HTB		3-M16
ゲージ	G1	G2



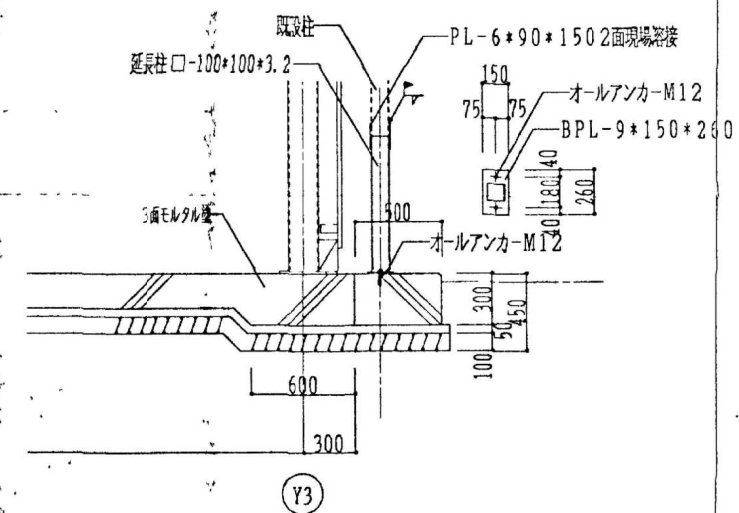
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	43	縮尺	S=1/20、1/30
図面名：	④ ベットホル圧縮保管ヤード 既存図 断面詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			



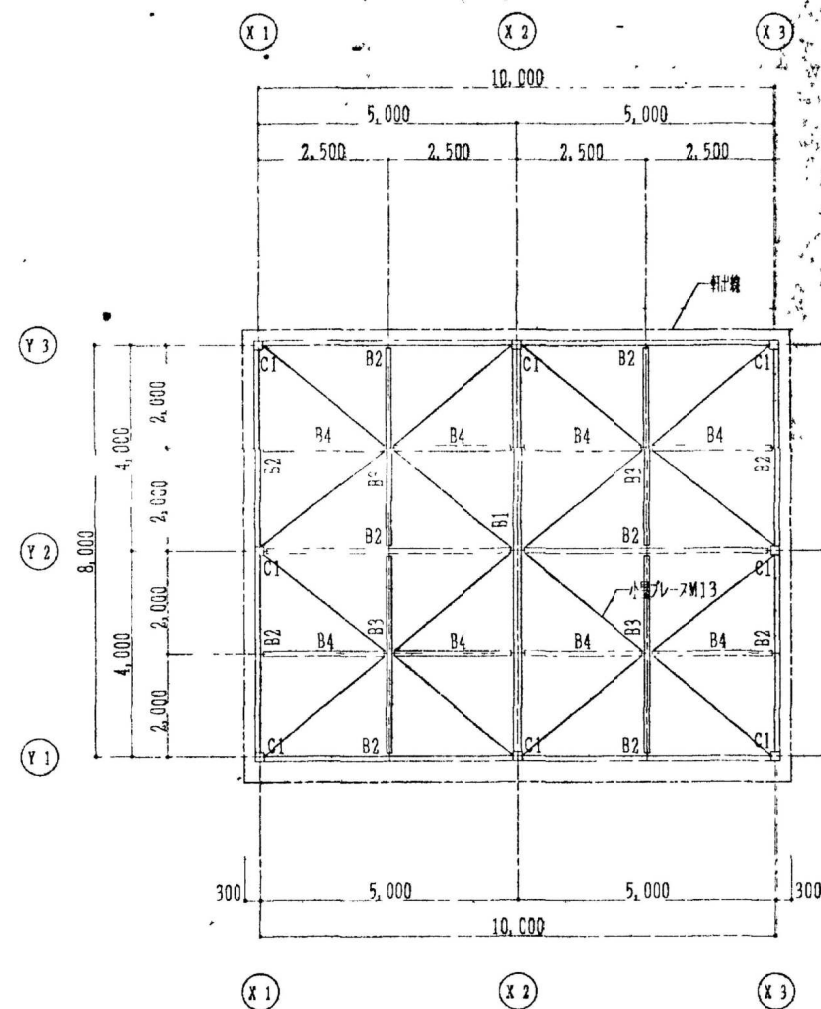
構造使用材	
鉄 骨	SS400
H T B	F10T
鉄 筋	SD295
コンクリート	$F_c = 210 \text{ Kg/cm}^2$



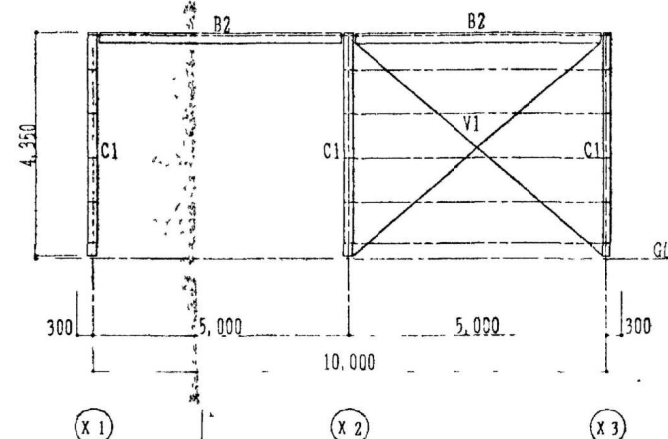
A部断面 $S=1:30$



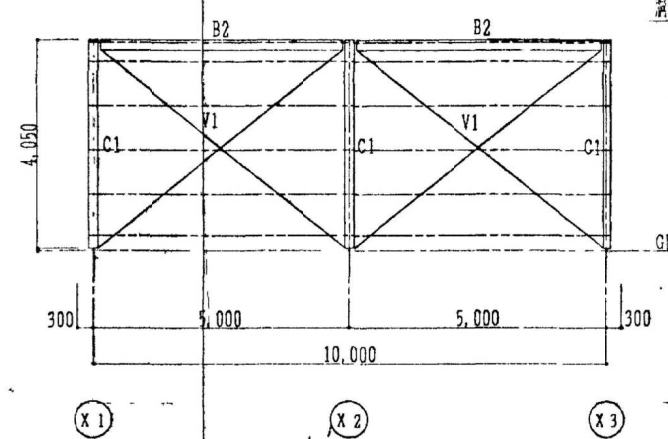
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	44	縮尺	S=1/30、1/100
図面名:	④ベントホルト圧縮保管ヤード 既存図 基礎伏図、断面詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			



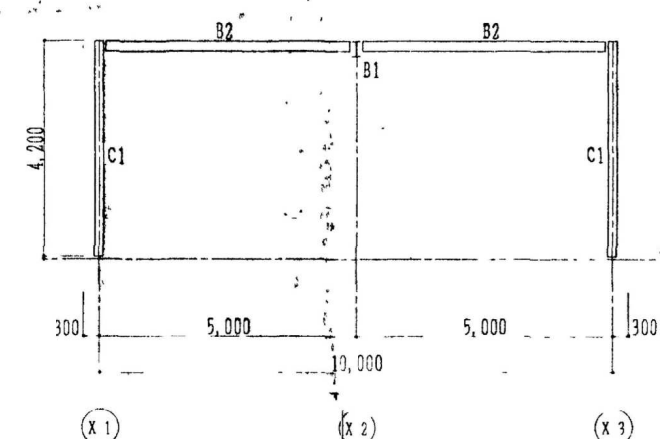
小屋伏図 S=1:100



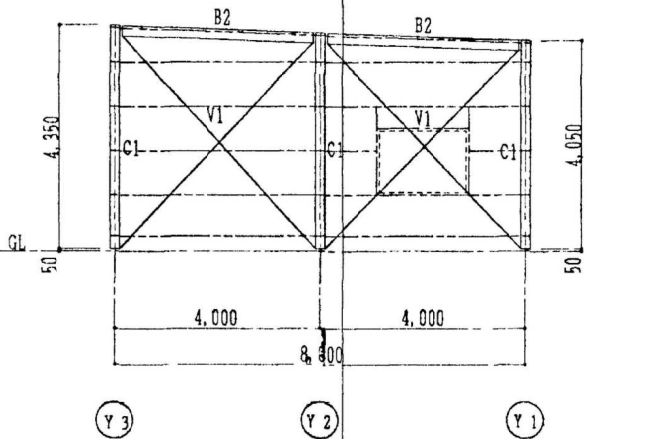
Y3通軸組図 S=1:100



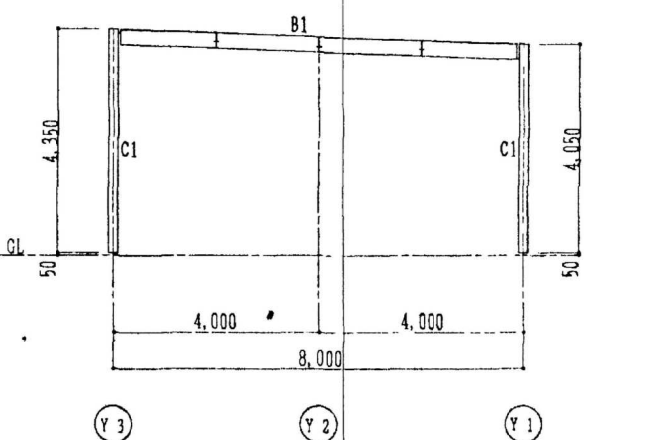
Y1通軸組図 S=1:100



Y2通軸組図 S=1:100



X1, X3通軸組図 S=1:100



X2通軸組図 S=1:100

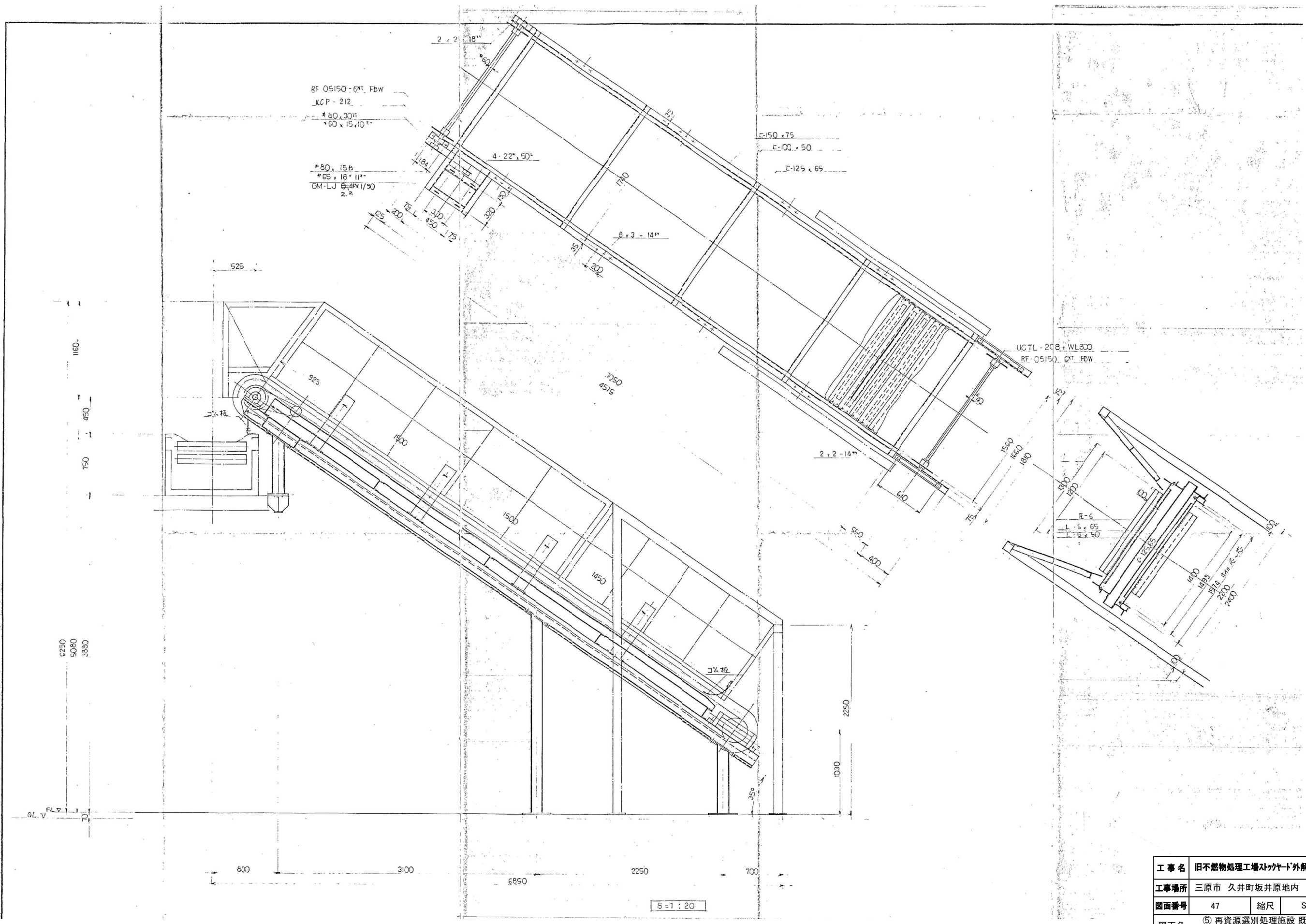
鉄骨リスト								
符号	C1		B1	B2	B3	B4	V1 (壁プレス)	V2 (壁プレス)
形 状							 FB 6*65*250 BT 2-M20	 FB 6*50*130 BT M16
寸 法	□-175*175*6		H-300*150*6.5*9	H-200*100*5.5*8	H-175*90*5*8	H-100*50*5*7	M19	M13
備 考	BPL-19*300*300		GPL-6 HTB 3-M16	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-6	GPL-6
ABT 4-M16 L=400								

構造使用材	
鉄骨	SS400
HTB	F10T
鉄筋	SD295
コンクリート	Fc=210Kg/cm ²

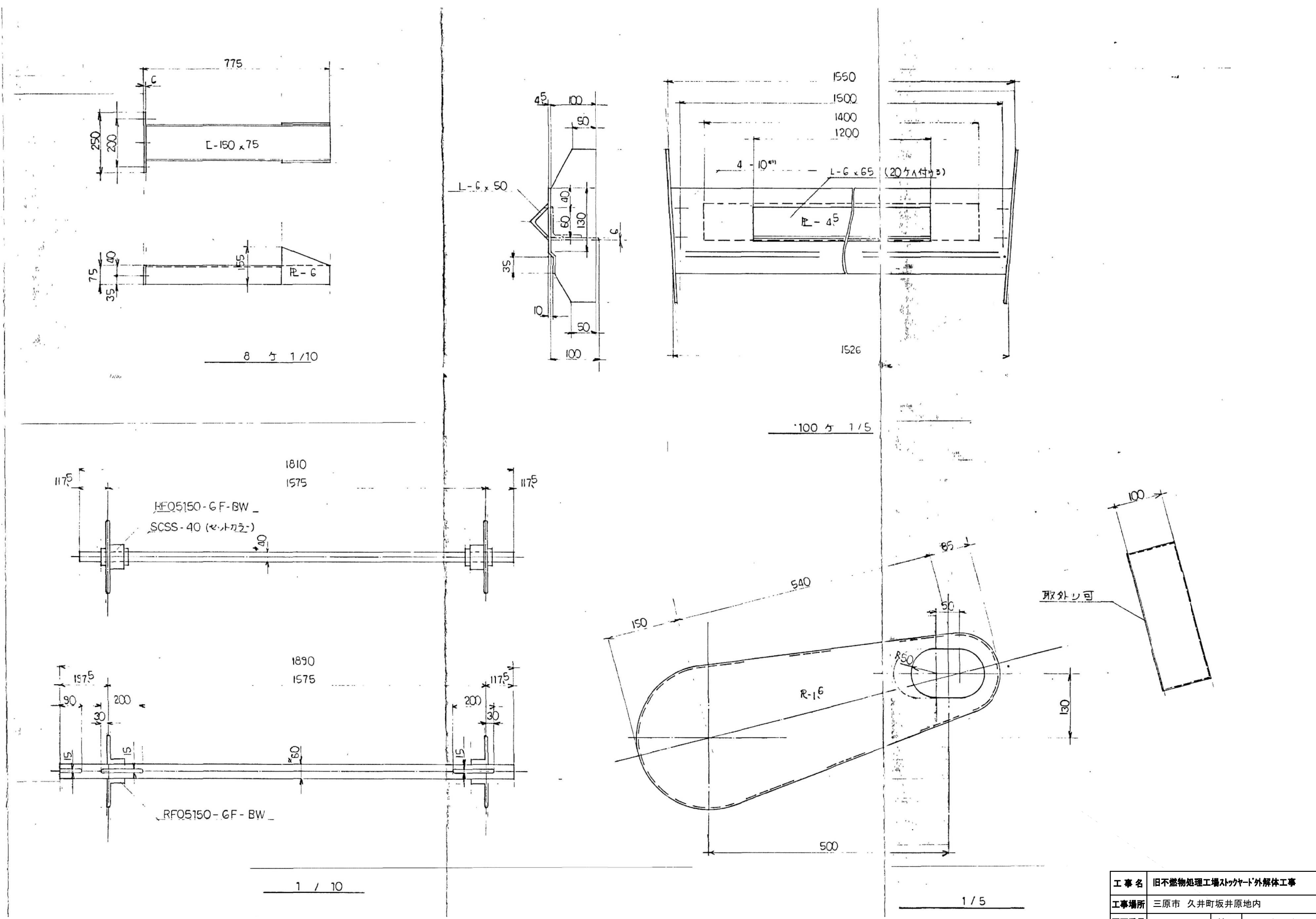
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	45	縮尺	S=1/100
図 面 名:	④ ペットボトル圧縮保管ヤード 既存図 小屋伏図、軸組図		
三原広域市町村圏事務組合			

電気設備仕様書		
1. 工事概要		
1 工事項目		
2 工事場所		
3 構造	造	1 階建 延床面積 m ²
2. 工事項目（●印のついたものを適用する）		
○ 高圧受配線 ○ 電力コンセント設備 ○ インターホン設備 ○ テレビ放送設備 ○ 電話機設置 ○	○ 照明設備 ○ 非常用照明器具 ○ 表示装置 ○ 非常警報装置 ○ 有線放送設備 ○	○ 動力設備 ○ 電気配管設備 ○ 電気絶縁設備 ○ 自動火災検知設備 ○ 警備設備 ○
3. 工事仕様		
1	本工事は、設計図書が特記仕様書・電気設備工事技術基準等内外規定に準拠し、その他の工事に関係ある部分等は、図面に明示した条件に従って施工すること。	
2	本工事に使用する材料は、JISに適合し、電気用品取締法の適用を受けるものは、型式承認品のもので、品質完全なものであること。	
3	本工事は、工事着手前に検査と協議を行わせの上、施工図を作成し、承認を得て、施工するものとする。	
4	工事に必要な輸送、手搬等は請負者が責任とし、これに要する費用は請負者の負担とする。	
5	工事完了後、竣工日より一年以内に竣工の不具合又は、部材材料の不具合に基づく故障を生じた場合、速やかに無料で修理すること。	
4. 特記仕様		
1	配線材料	配入ケーブルは、VVFケーブルを使用する。
2	保護管	指定なき限り、(VE)を使用する。
3	配管接続	(変換器を除く)大型の物を採用する。
4	分岐箱等	指定なき限り、既製品を使用してもよいものとする。
5		
6		
7		
8		
9		
10		

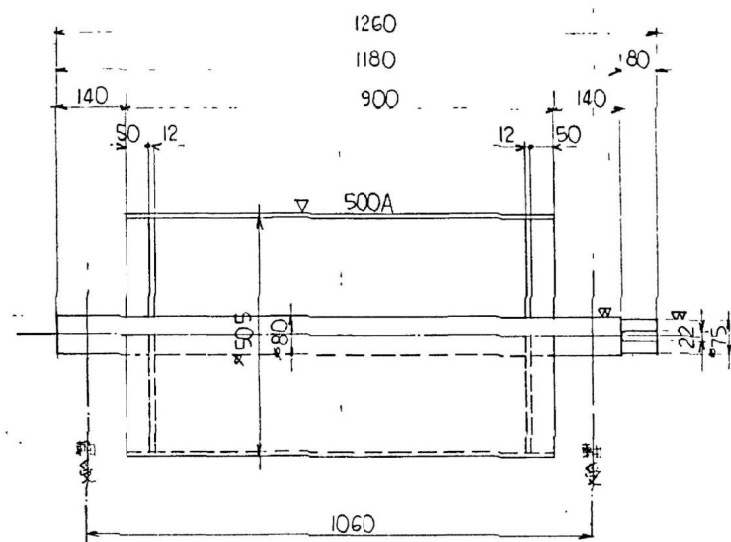
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	46	縮尺	
図面名:	④ ヘットホル圧縮保管ヤード 既存図 電気設備仕様書		
三原広域市町村圏事務組合			



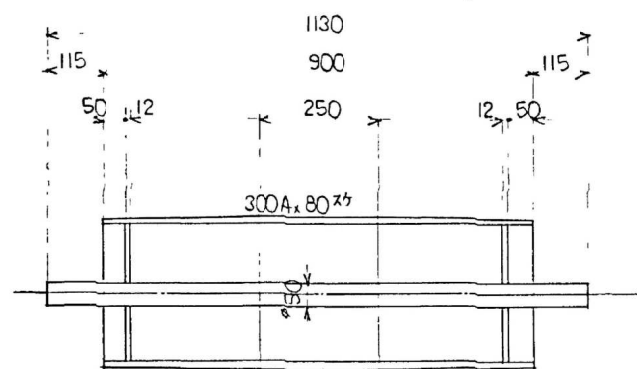
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	47	縮尺	S=1/20
図面名	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 投入ホッパー付きエプロンフィーダー部		
三原広域市町村圏事務組合			



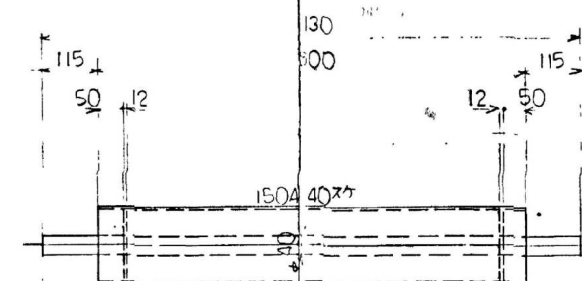
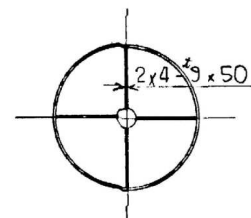
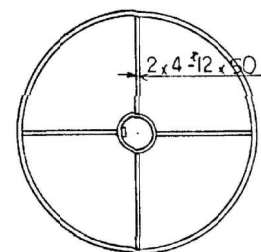
工事名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	49	縮尺	S=1/5、1/10
図面名: ⑤ 再資源選別処理施設 既存図 投入ホッパー付きエプロンフィーダー チェンカバ-ホイル、エプロン			
三原広域市町村圏事務組合			



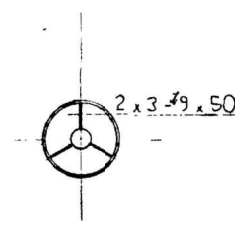
ヘッドローラー 1:10



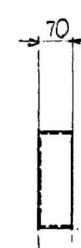
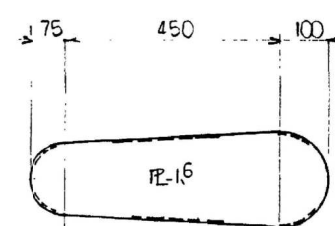
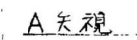
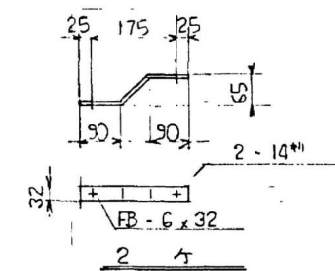
テールローラー 1:10



スクラップローラー 1:10

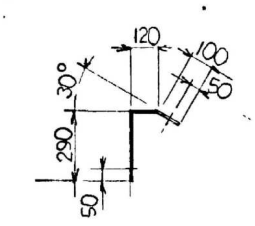
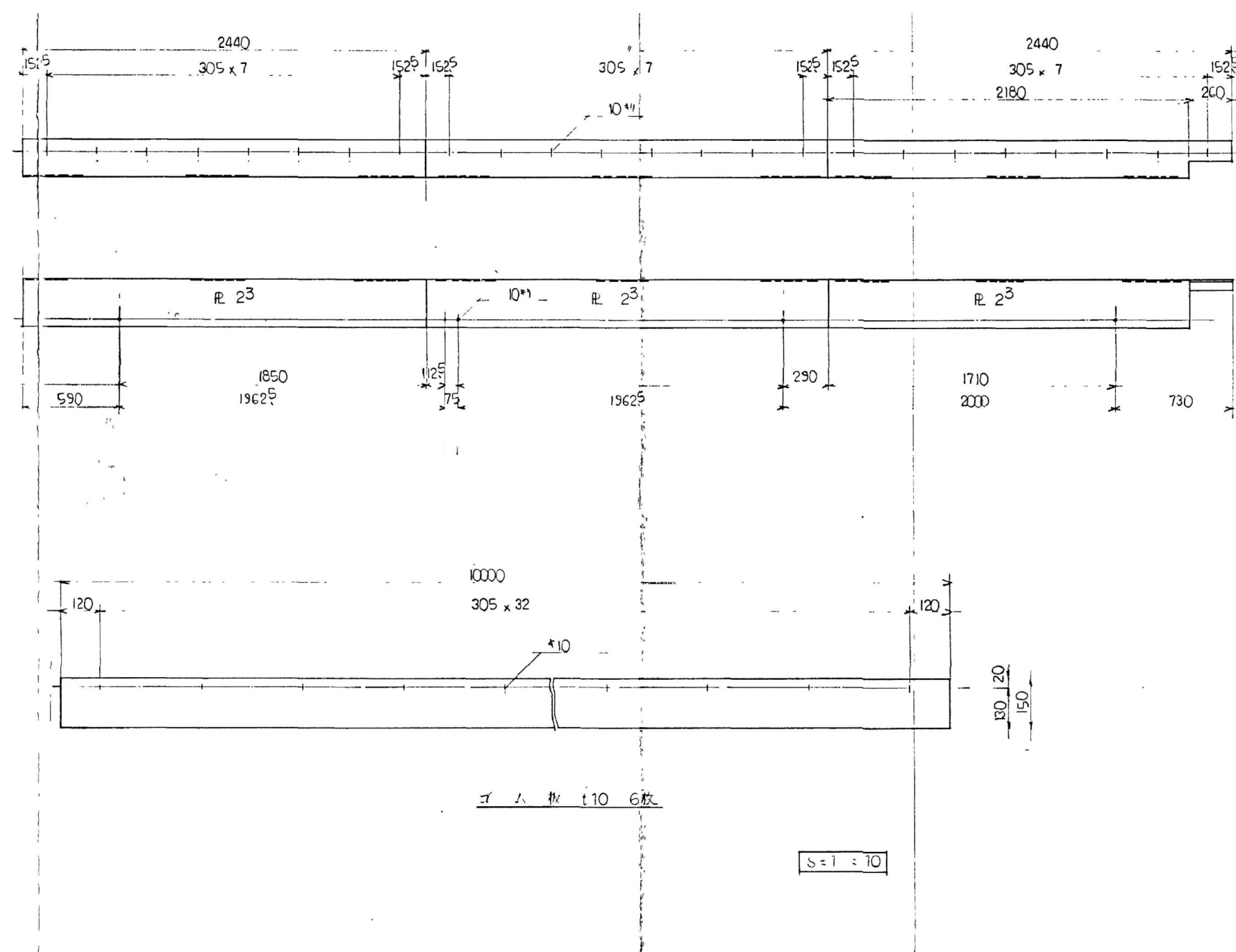


工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	51	縮尺	S=1/10
図 面 名 :	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ビッキングベルトコンベヤーローラー		
三原広域市町村圏事務組合			



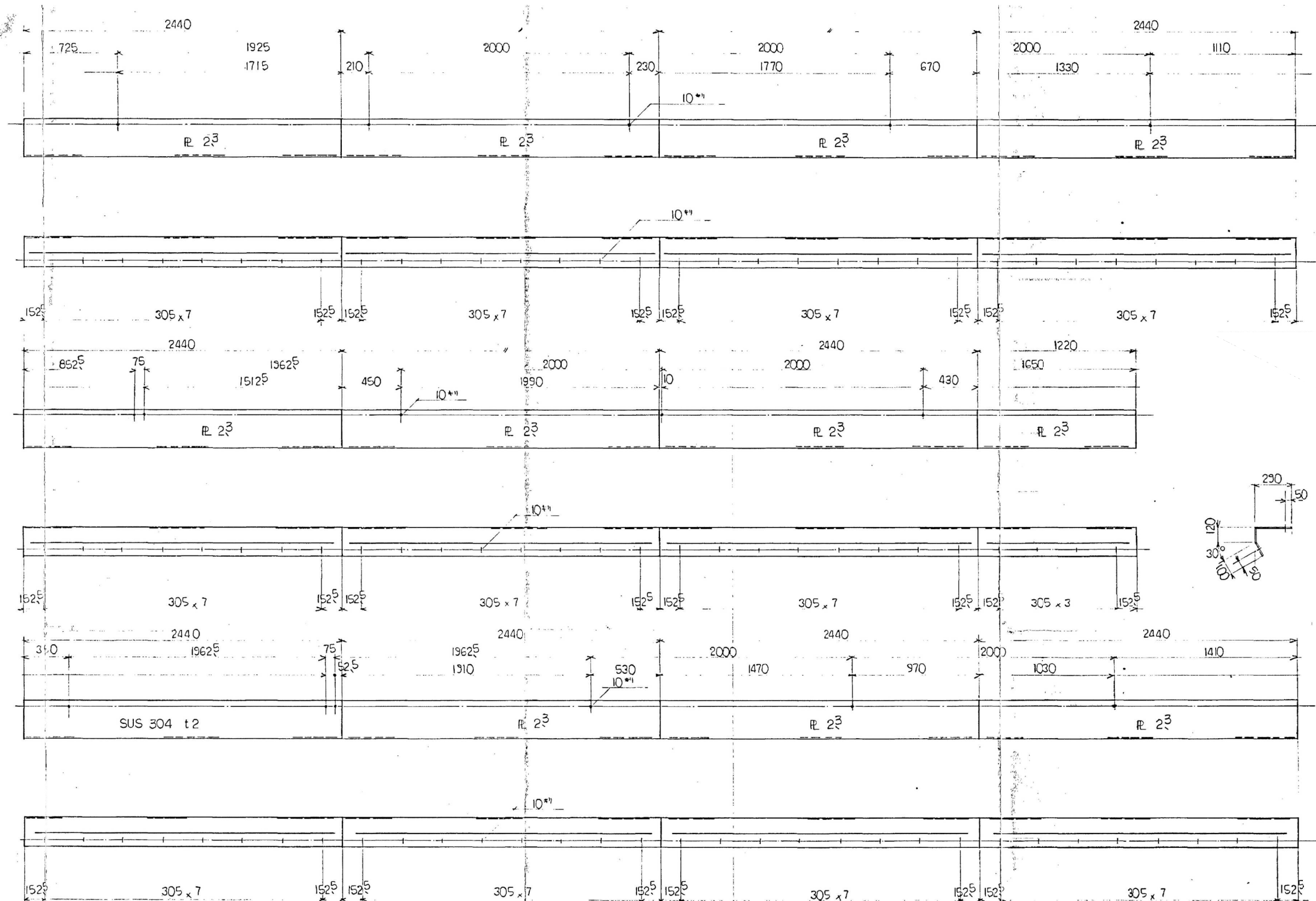
掃除ブラシ取付部詳細 1:10

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	52	縮尺	S=1/10
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ヒヤシクベルトコンベヤ スレーパー		
三原広域市町村圏事務組合			



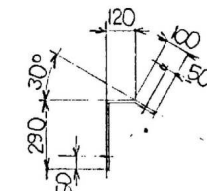
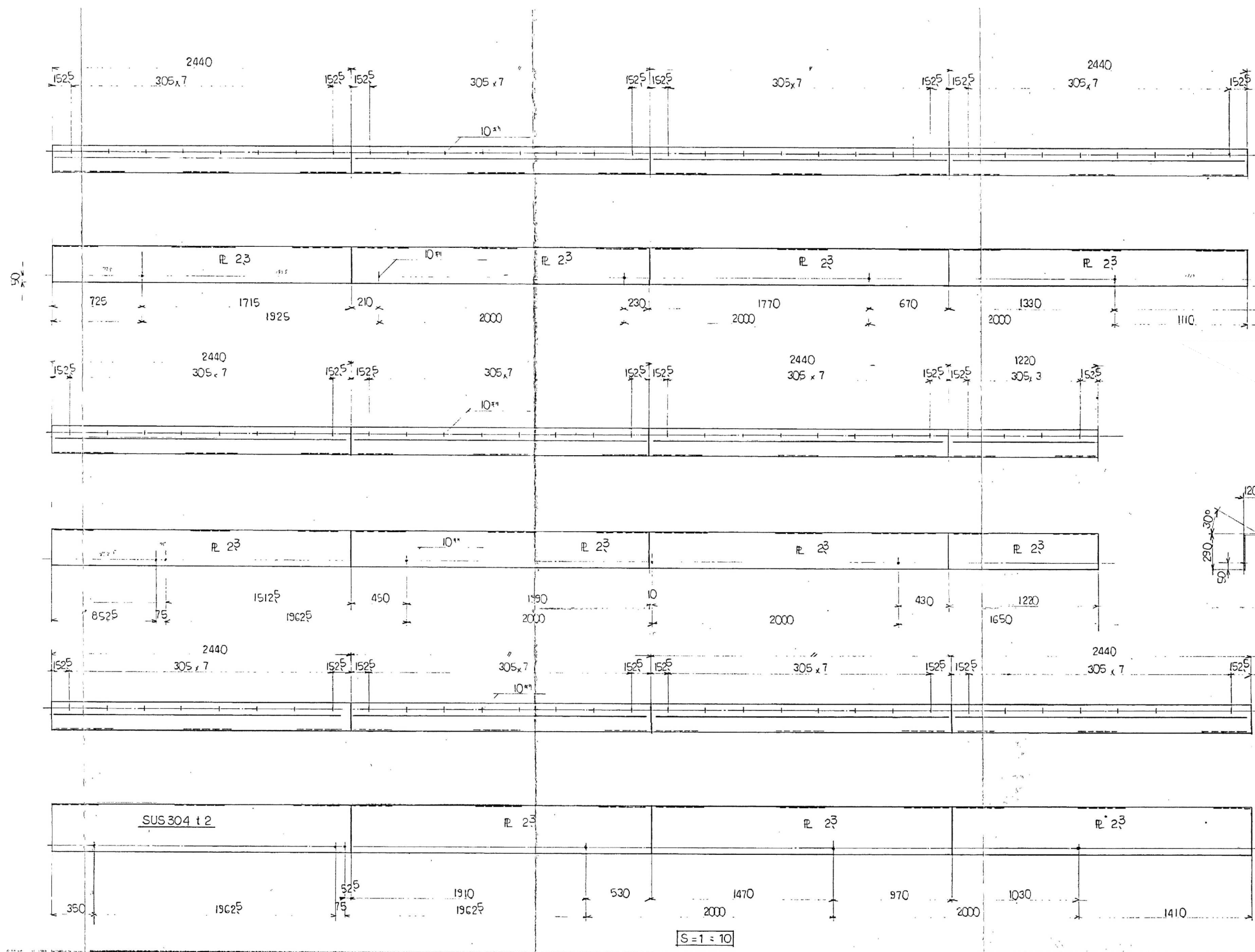
S=1/10

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	53	縮尺	S=1/10
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ビッキングベルトコンベヤスカート(1)		
三原広域市町村圏事務組合			

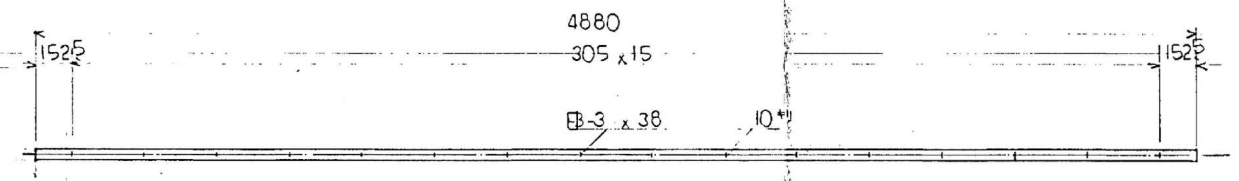
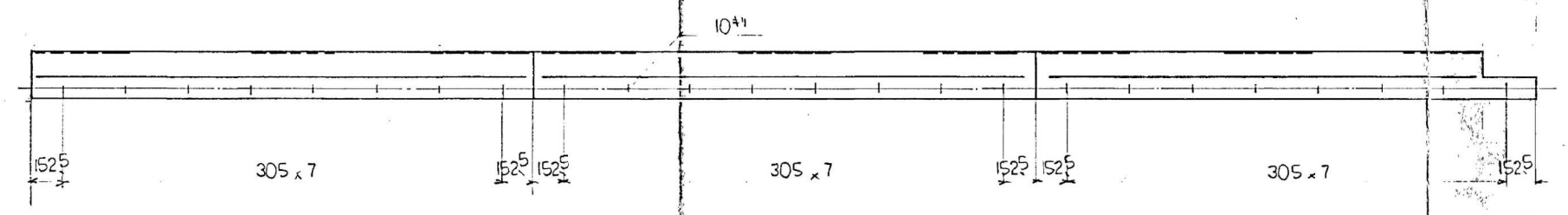
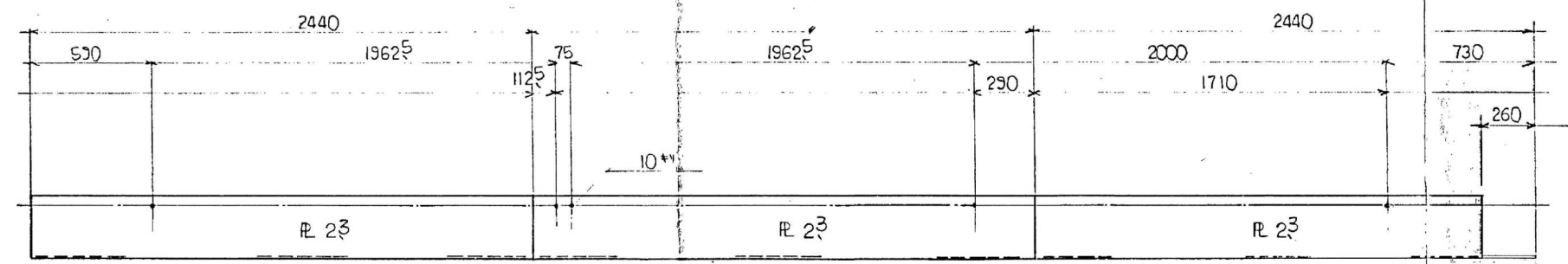


S=1:10

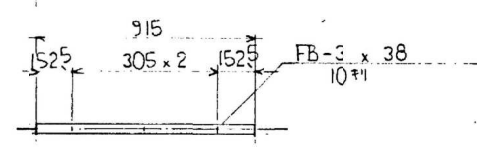
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	54	縮 尺	S=1/10
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ビッキングベルトコンベヤスカート(2)		
三原広域市町村圏事務組合			



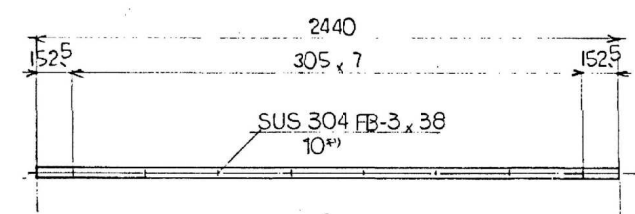
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	55	縮尺	S=1/10
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ピッキングベルトコンベヤスカート(3)		
三原広域市町村圏事務組合			



14 寸 左右 共 通

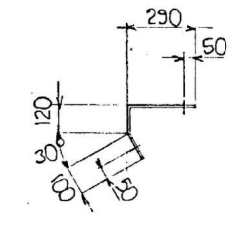
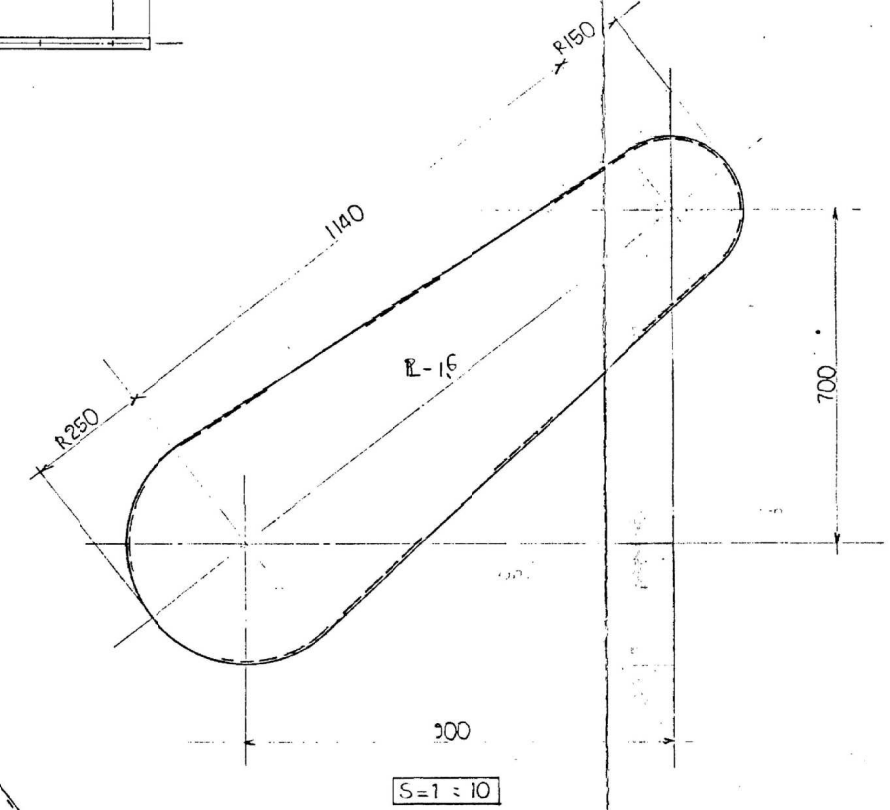
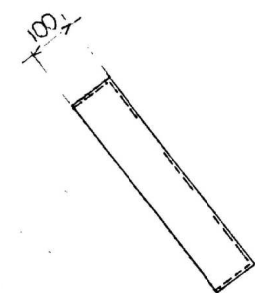


2 寸 左右 共 通

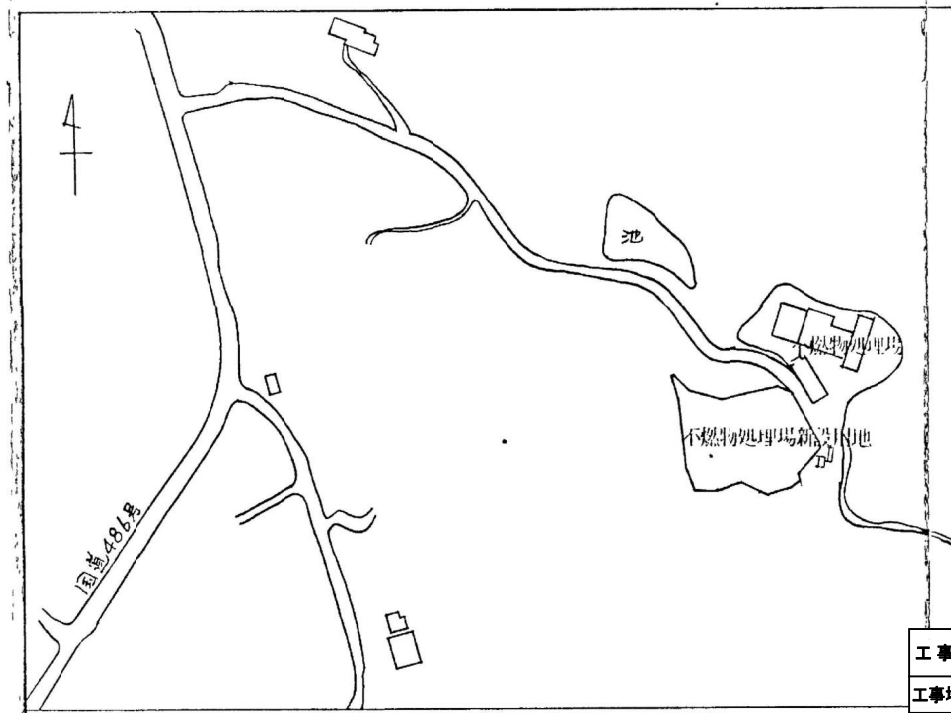


2 寸 左右 共 通

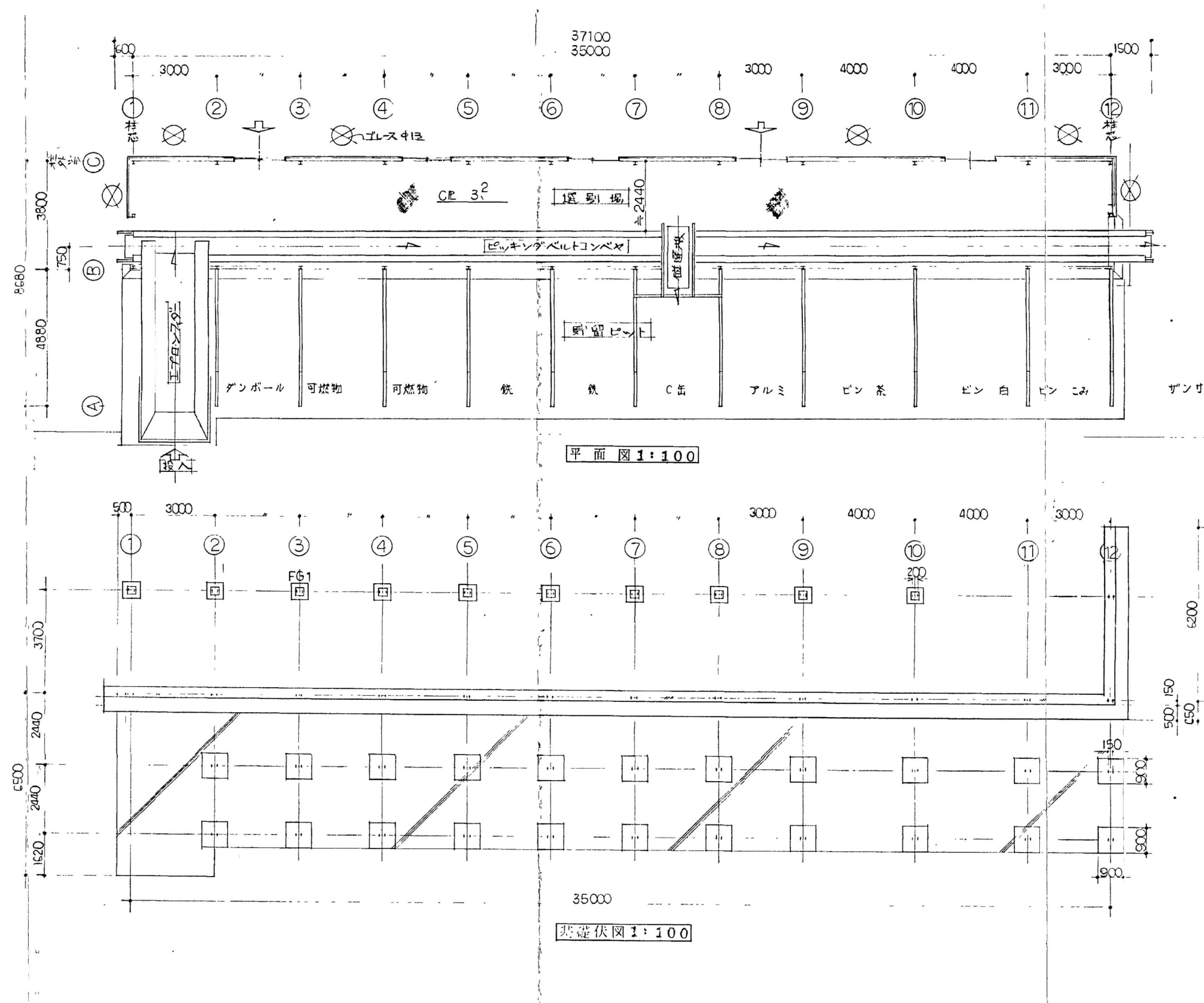
S=1 ± 20



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	56	縮 尺	S=1/10、1/20
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 ピッキングベルトコンベヤスカート、チェンカパー		
三原広域市町村圏事務組合			

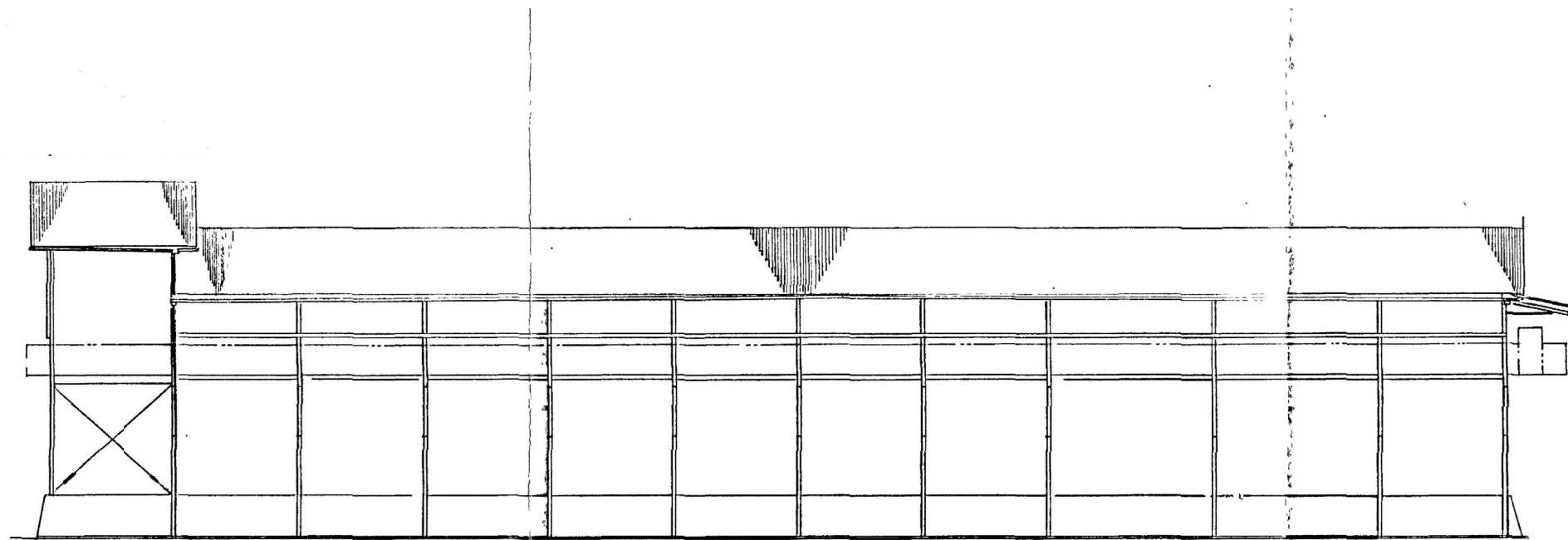


工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	57	縮尺	S=1/300
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 位置図		
三原広域市町村圏事務組合			

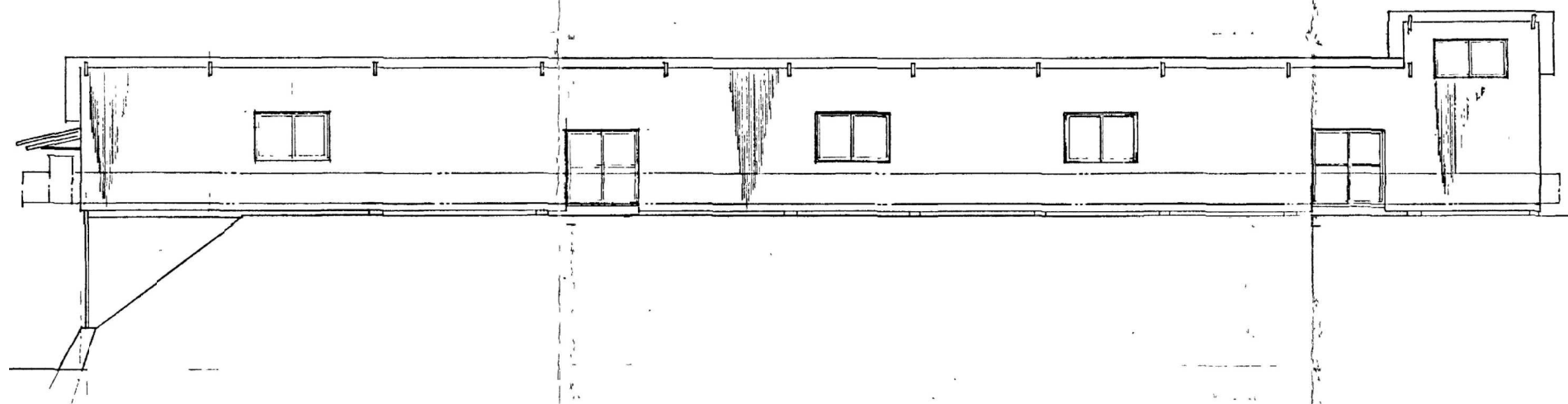


選別場 建築面積	144.79 M ²
床 面積	135.52 M ²
貯留ピット面積	178.16 M ²
投入エプロン下場面積	22.75 M ²

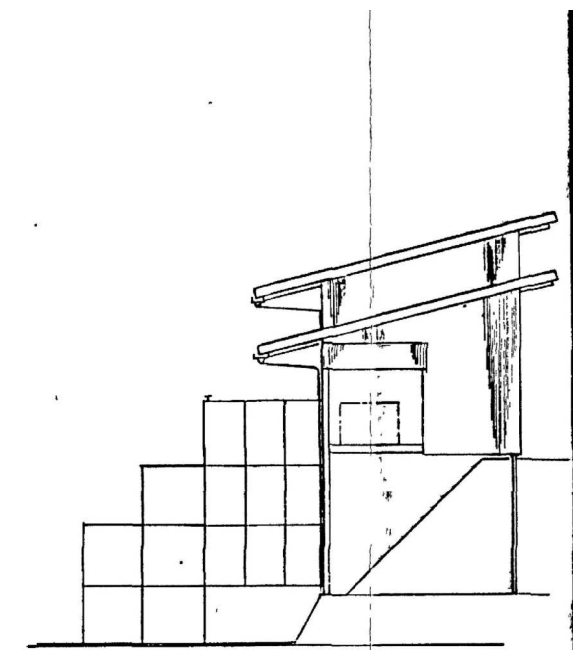
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	58	縮 尺	S=1/100
図 面 名 :	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 平面図、基礎図		
三原広域市町村圏事務組合			



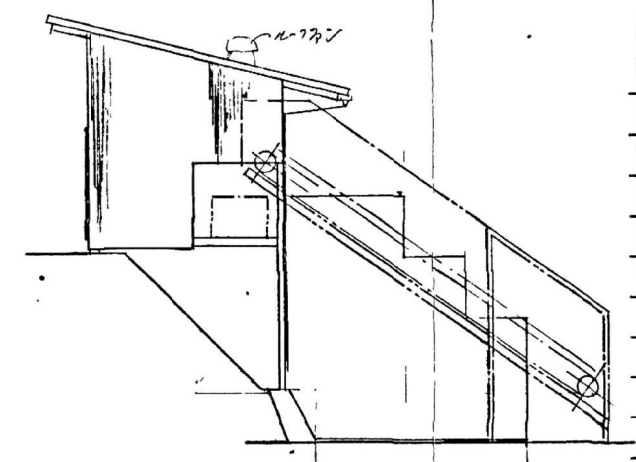
A 通立面図 1:100



C 通立面図 1:100

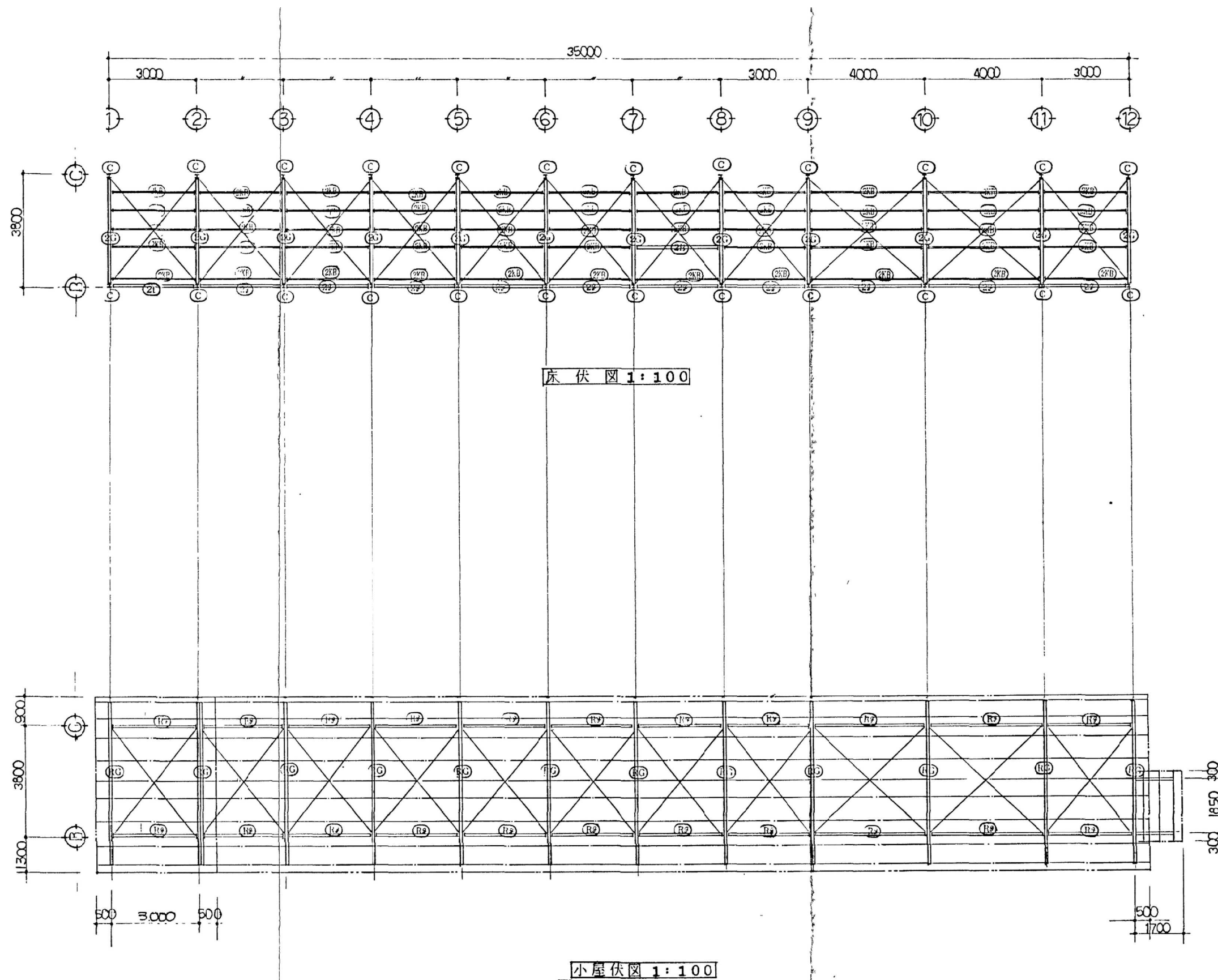


I 3 通立面図 1:100

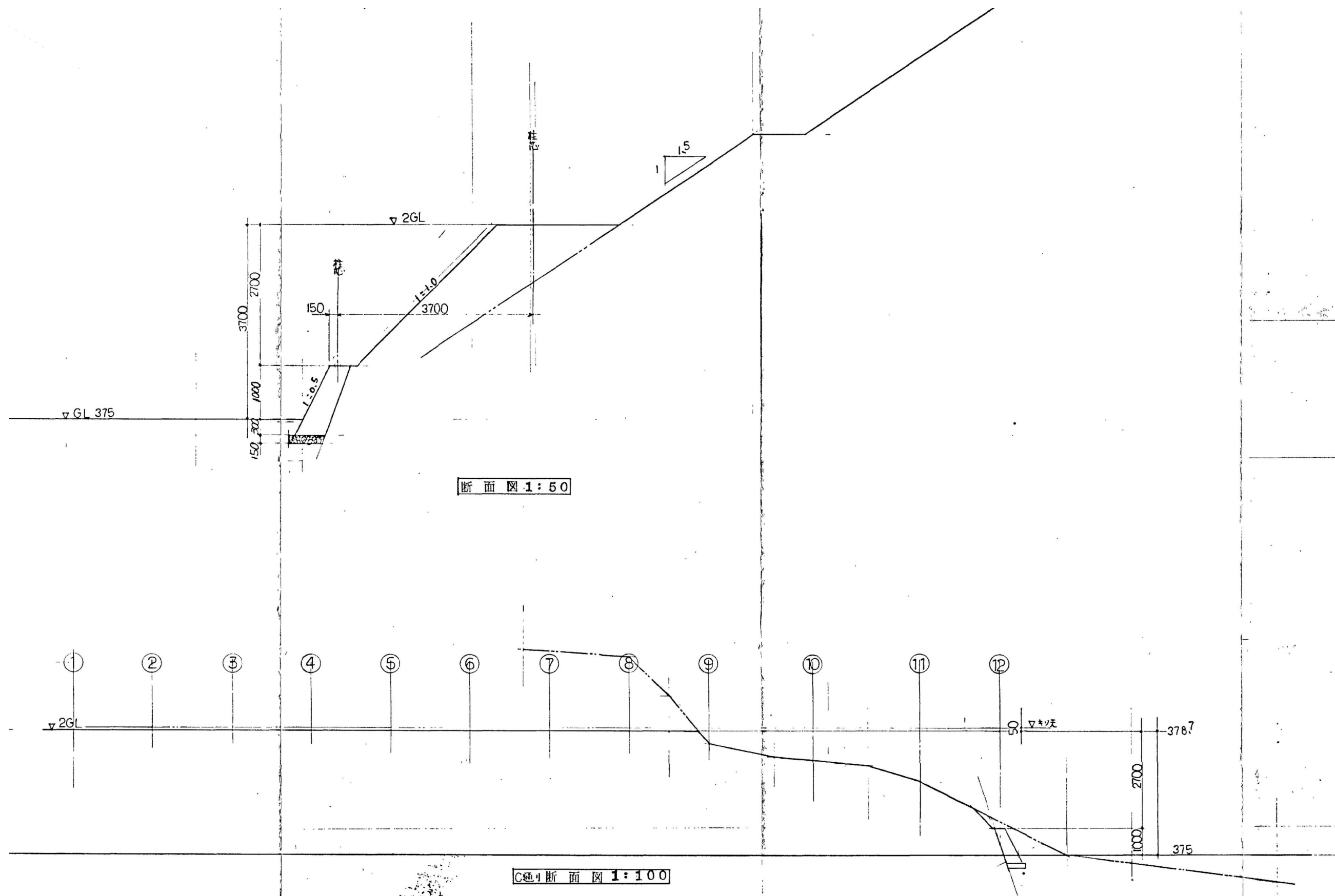


I 1 通立面図 1:100

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	59	縮尺	S=1/100
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 立面図		
三原広域市町村圏事務組合			

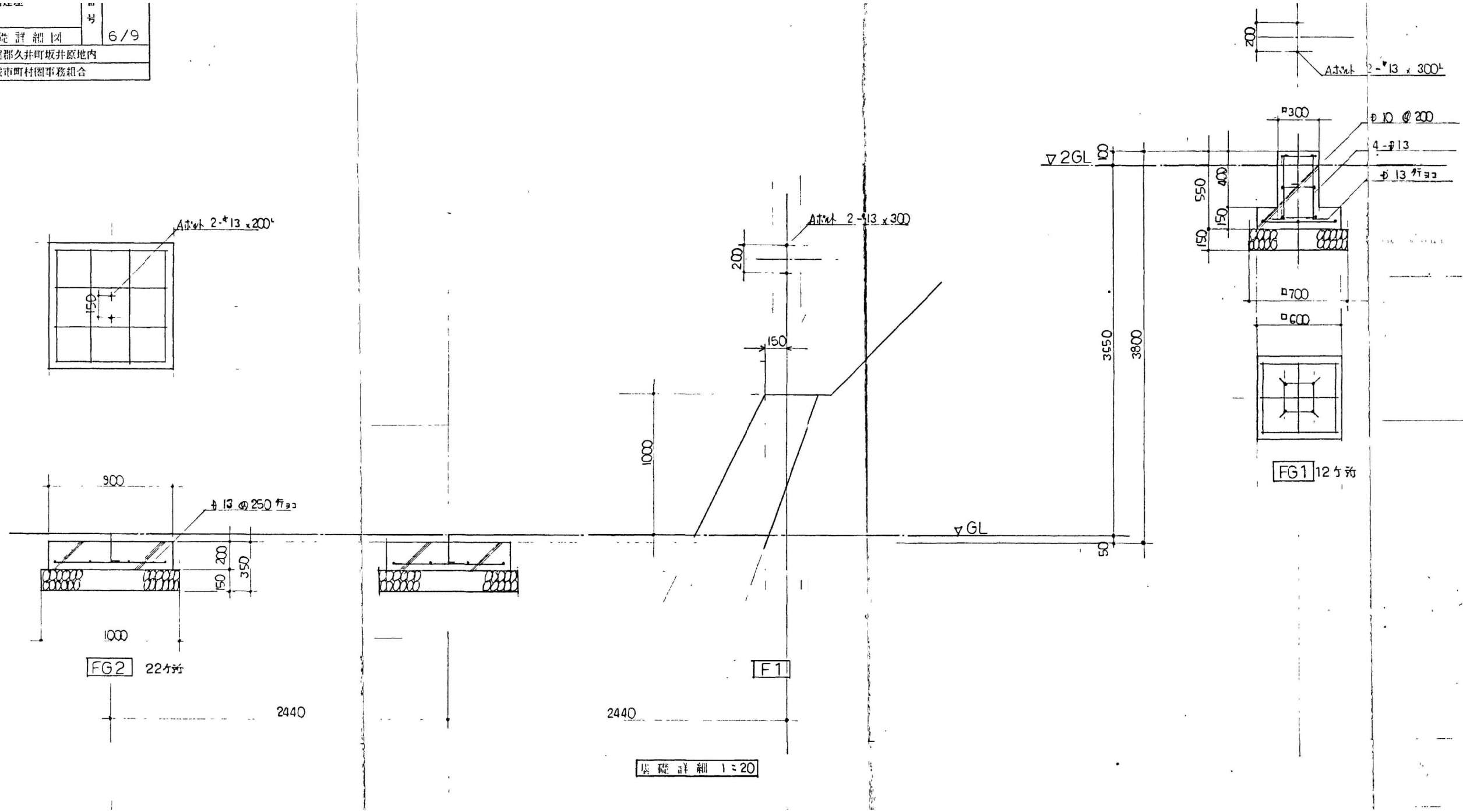


工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	60	縮尺	S=1/100
図面名：	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 床伏図、小屋伏図		
三原広域市町村圏事務組合			

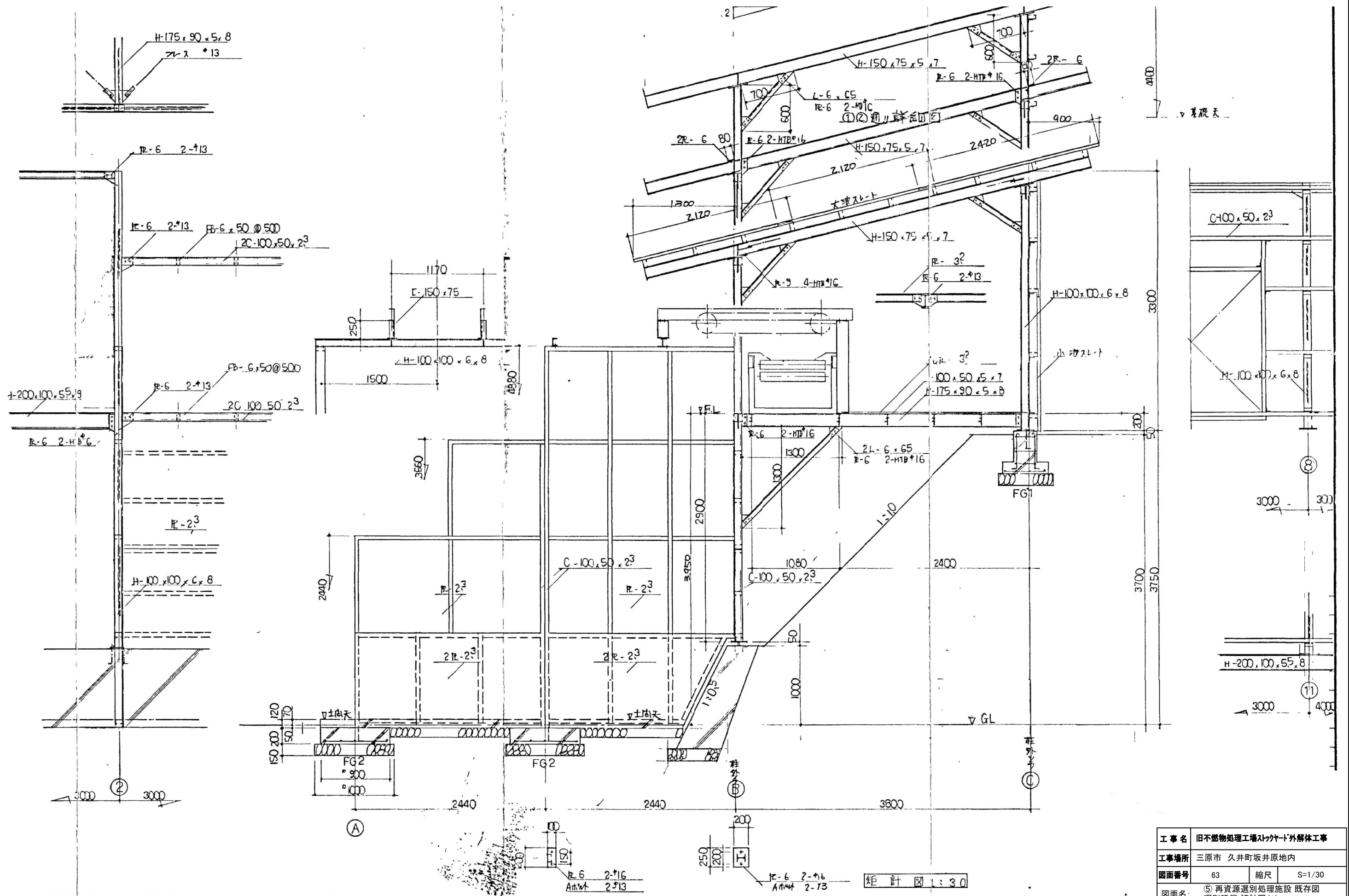


工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	61	縮尺	S=1/50、1/100
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 断面図		
三原広域市町村圏事務組合			

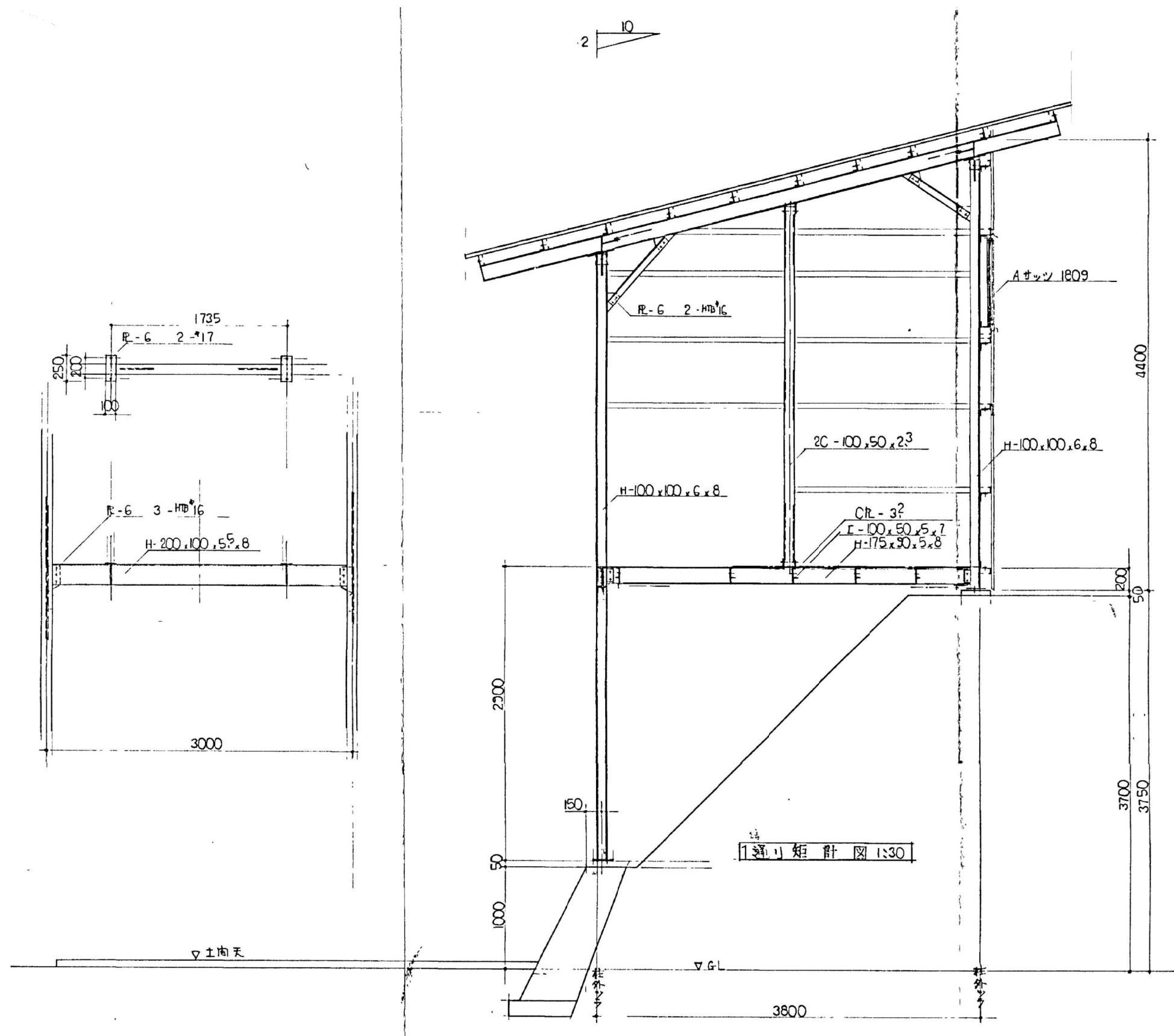
図面番号	6/9
図名	基礎詳細図
所在地	三原市久井町坂井原地区内
作成者	三原市町村圏事務組合



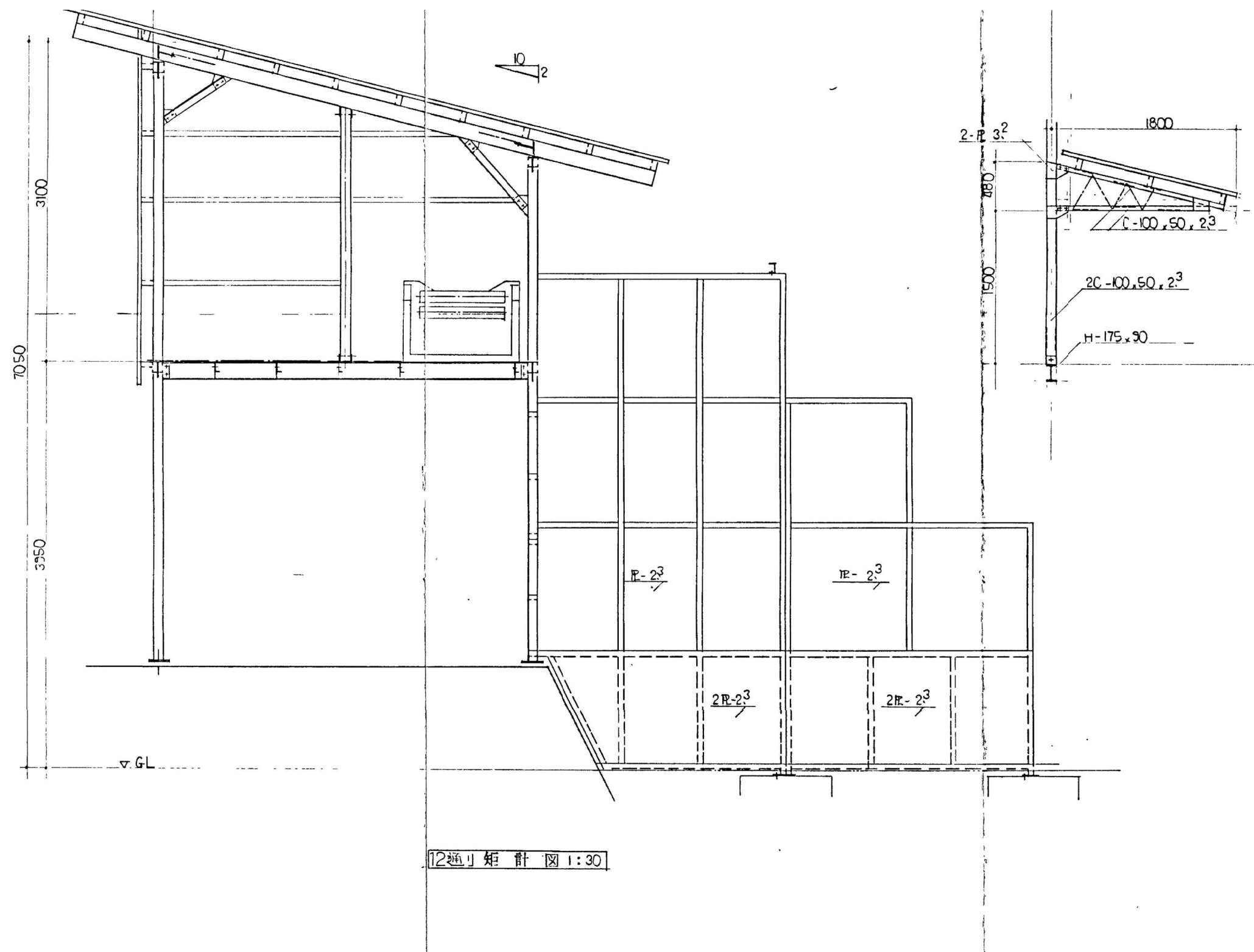
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	62	縮尺	S=1/20
図面名	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 基礎詳細図		
三原広域市町村圏事務組合			



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	63	縮尺	S=1/30
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 矩計図(1)		
三原広域市町村圏事務組合			



工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	64	縮 尺	S=1/30
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 矩計図(2)		
三原広域市町村圏事務組合			



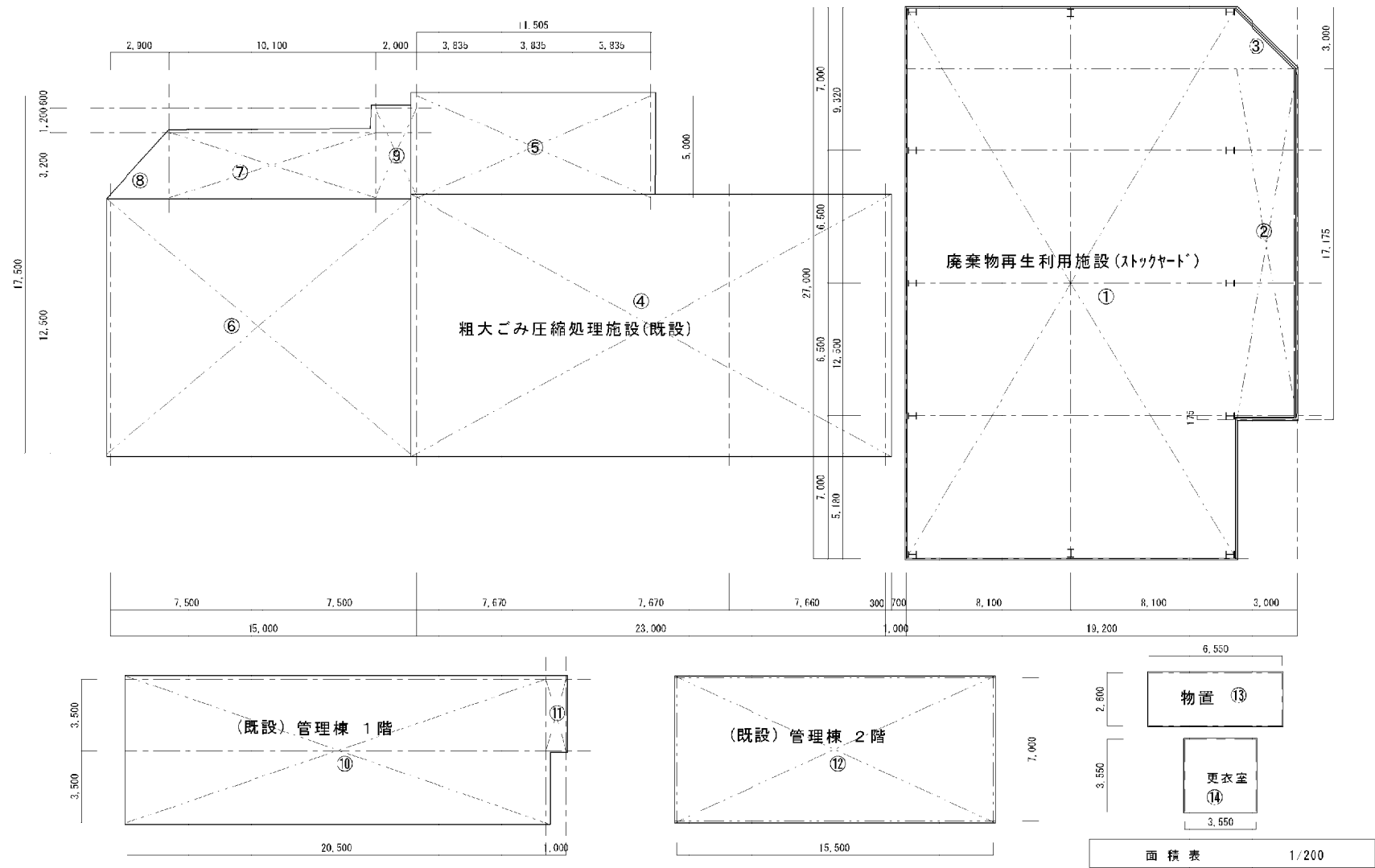
12通り 矩 計 図 1:30

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	65	縮尺	S=1/30
図面名:	⑤ 再資源選別処理施設 既存図 選別建屋 矩計図(3)		
三原広域市町村圏事務組合			

設計概要					外部仕上表			
工 事 名	廃棄物再生利用施設(ストックヤード)整備事業計画			用 途 地 域	都市計画区域外	屋 根	大波スレート葺き 3寸勾配 認定番号 NM-8576 <不燃第1001号>	
延 築 場 所	広島県御調郡大字坂井原字焼御堂1358-82			防 火 指 定	なし	外 壁	小波スレート貼り (延焼部) 外部 石膏ボード 79.5の上繊維強化セメント板 (小波スレート 76.3) 内部 石膏ボード 712.5 認定番号 PC030NE-9083 <防火構造第98号>	
構 造	鉄骨造 平屋建			敷 地 面 積	6 0、4 5 7.24 m ²	樞	硬質塩化ビニール管 VP100 梱み金物SUS φ1,200	
付 帯 設 備	図示範囲 (電気、換気、給排水、衛生、工場設備)			建 築 面 積	493.425 m ² 施設全体 (1,218.71 m ²)	庇	大波スレート葺	
外 構 工 事	図示範囲			延べ床面積	493.425 m ² 施設全体 (1,327.21 m ²)			
建 蔽 率		容 積 率						

内 部 仕 上 表													
階	室 名	下地	床	巾 木	H	下地	腰 壁	壁	下地	天 井	廻 縁	C H	備 考
1	廃プラスチックストックヤード	○	コンクリート金コシ仕上げ 伸縮目地カッター切り			○	コンクリート打放し仕上げ（A種）	小波スレート表し 一部鉄板PL-3貼		大波スレート表し			消化器ABC10型 BOX共 機械ビレット
	延焼ライン部分		同 上				同 上	石膏ボード 712.5貼		大波面戸の上大波スレート表し			

- ※ 1. 鉄骨部 錆止め (A種) 鉛・鉛フリータイプ JIS K 5674 2回塗の上SOP (A種) JIS K 5516 2. 延焼の恐れのある部分の給気口、排気口には、防火ダンパーを設ける
3. 延焼の恐れのある部分の壁付換気扇は、ケイパーカーにF D付とする 4. 建築設備の耐震対策は、『建築設備耐震設計・施工指針』に準じる
5. 雨水配管には、トラップ樹または配管トラップを設ける



廃棄物再生利用施設(ストックヤード) 床面積		
①	27.0 x 16.2 = 437.4	437.4
②	17.175 x 3.0 = 51.525	51.525
③	3.0 x 3.0 ÷ 2 = 4.5	4.5
⑮	小 計	493.425 m ²

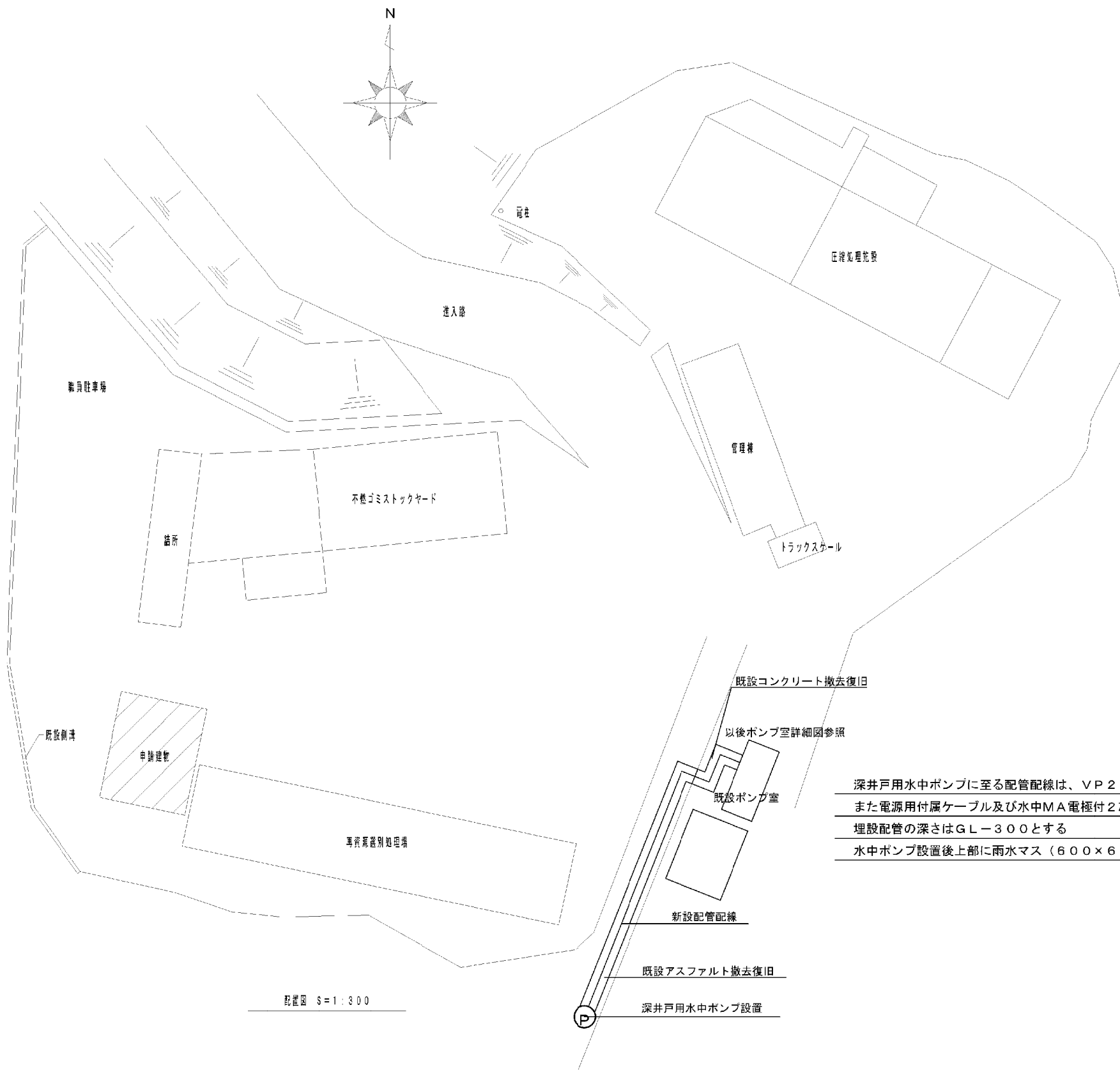
粗大ごみ圧縮処理施設 床面積		
④	23.0 x 12.5 = 287.5	287.5
⑤	11.505 x 5.0 = 57.525	57.525
⑥	15.0 x 12.5 = 187.5	187.5
⑦	10.1 x 3.2 = 32.32	32.32
⑧	3.2 x 2.0 ÷ 2 = 4.64	4.64
⑨	2.0 x 4.4 = 8.8	8.8
⑯	小 計	578.285 m ²

管理棟関連 床面積		
⑩	20.5 x 7.0 = 143.5	143.5
⑪	1.0 x 3.5 = 3.5	3.5
⑫	15.5 x 7.0 = 108.5	108.5
	小 計	255.5 m ²
⑬	2.6 x 6.55 = 17.03 ----- 物置	17.03
⑭	3.55 x 3.55 = 12.61 ----- 更衣室	12.61
	計	285.14 m ²

施設全体 床面積		
(新築)	廃棄物再生利用施設(ストックヤード)	493.425
(既設)	粗大ごみ圧縮処理施設	578.285
(既設)	管理棟関連	285.14
		1,356.85 m ²

施設全体 建築面積		
⑩ + ⑪ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯	=	1,248.35 m ²

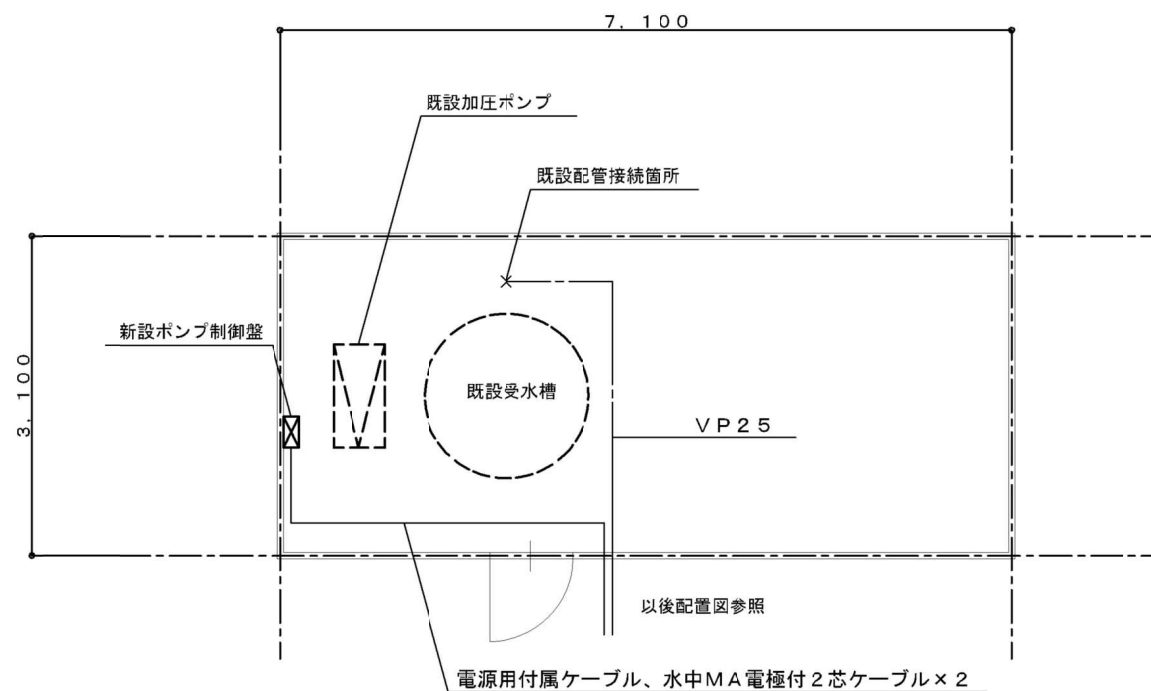
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	66	縮尺	S=1/200
図面名:	⑥ ポンプ小屋(井戸水用) 既存図 建築概要 仕上表 面積表		
三原広域市町村圏事務組合			



深井戸用水中ポンプに至る配管配線は、VP25及び電源用付属ケーブル、水中MA電極付2芯ケーブル2本とする
また電源用付属ケーブル及び水中MA電極付2芯ケーブル2本保護管に入線し埋設すること
埋設配管の深さはGL-300とする
水中ポンプ設置後上部に雨水マス(600×600)設置

配置図 S=1:300

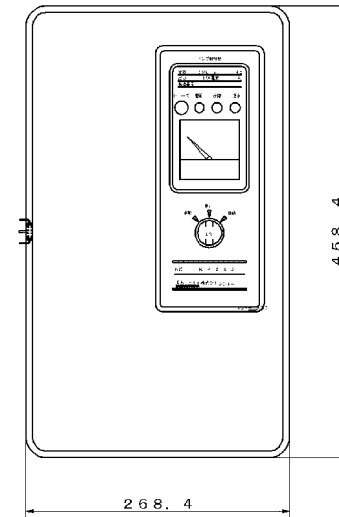
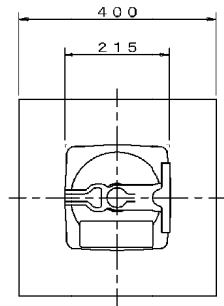
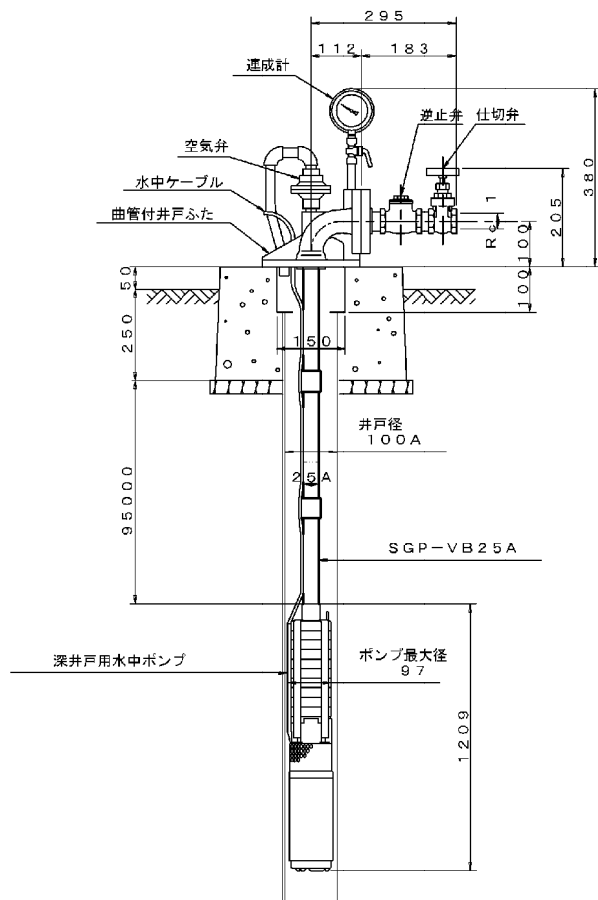
工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	67	縮尺	S=1/300
図面名:	⑥ ポンプ小屋(井戸水用) 既存図 配置図		
三原広域市町村圏事務組合			



ポンプ室詳細図 縮尺 1:50

配線配管は埋設配管とする
ケーブルは保護管に入線すること
配管の埋設深さはGL-300とする

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	68	縮尺	S=1/50
図面名:	⑥ ポンプ小屋(井戸水用) 既存図 ポンプ室平面図		
三原広域市町村圏事務組合			



ポンプ制御盤

ポンプ据付要領図

深井戸用水中ポンプ仕様	
口 径	25A
吐 出 量	0.020~0.065 l/min
全 揚 程	160~85m
電 動 機	三相200v
出 力	2.2kw
付 属 品	曲管付井戸蓋（ねじ込み式） 25A
	ねじ込み式仕切弁 25A
	ねじ込み式逆止弁 25A
	連成形 空気弁
参 考 型 番	25U4J-2.222-6

ポンプ制御盤仕様	
設 置 方 法	屋内壁掛型
電 源 電 圧	三相200v
内 蔵 機 器	漏電遮断器
	進相コンデンサー
	4Eリレー
	液面リレーW.L形
出 力	2.2kw
始 動 方 式	直入起動
参 考 型 番	KP223AEC6 2.2kw

工 事 名	旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事		
工事場所	三原市 久井町坂井原地内		
図面番号	69	縮尺	
図面名:	⑥ ポンプ小屋(井戸水用) 既存図 ポンプ据え付け要領図		
三原広域市町村圏事務組合			

参 考 数 量 書

工 事 名 称 旧不燃物処理工場ストックヤード外解体工事

工 事 場 所 三原市久井町坂井原

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

供給処理施設、鉄骨造平屋建てストックヤード外9棟、延床面積984.64㎡

工 事 範 囲

解体工事

別 途 発 注 工 事

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和9年3月29日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
直接工事費		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		
調査基準価格		1	式		
調査基準価格の100/110		1	式		

工事種別内訳

2

[illegible]

解体工事 種目別内訳

3

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
ストックヤード		1	式		
粗大ごみ破砕処理ヤード		1	式		
破砕物保管ヤード		1	式		
ペットボトル圧縮保管ヤード		1	式		
再資源選別処理施設		1	式		
ポンプ小屋		1	式		
休憩室1		1	式		
便所		1	式		
休憩室2		1	式		
休憩室3		1	式		
外構		1	式		
発生材処理		1	式		
計					

解体工事 科目別内訳

[illegible]

解体工事 科目別内訳

5

粗大ごみ破碎処理ヤト

[illegible]

解体工事 科目別内訳

[illegible]

解体工事 科目別内訳

7

[illegible]

解体工事 科目別内訳

再資源選別処理施設

[illegible]

解体工事 科目別内訳

[illegible]

解体工事 科目別内訳

10

休憩室1

[illegible]

解体工事 科目別内訳

11

[illegible]

解体工事 科目別内訳

12

休憩室2

[illegible]

解体工事 科目別内訳

13

休憩室3

[illegible]

解体工事 科目別内訳

14

[illegible]

解体工事 科目別内訳

15

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

16

ストックヤード

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

17

粗大ごみ破碎処理ヤト

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

18

破碎物保管ヤート

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

19

ペットボトル圧縮保管ヤード

科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
躯体解体		1	式		
計					
仕上解体		1	式		
計					
アスベスト含有材撤去		1	式		
計					
機械設備解体		1	式		
計					
電気設備解体		1	式		
計					
プラント設備解体		1	式		
計					

再資源選別処理施設					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
躯体解体		1	式		
計					
仕上解体		1	式		
計					
アスベスト含有材撤去		1	式		
計					
機械設備解体		1	式		
計					
電気設備解体		1	式		
計					
プラント設備解体		1	式		
計					

解体工事 中科目別内訳

21

ボンブ小屋

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

休憩室1					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
躯体解体		1	式		
計					
仕上解体		1	式		
計					
アスベスト含有材撤去		1	式		
計					
機械設備撤去		1	式		
計					
電気設備解体		1	式		
計					

便所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
躯体解体		1	式		
計					
仕上解体		1	式		
計					
機械設備解体		1	式		
計					
電気設備解体		1	式		
計					
アスベスト含有材撤去		1	式		
計					

解体工事 中科目別内訳

休憩室2					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
躯体解体		1	式		
計					
仕上解体		1	式		
計					
機械設備解体		1	式		
計					
電気設備解体		1	式		
計					
アスベスト含有材撤去		1	式		
計					

解体工事 中科目別内訳

25

休憩室3

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

外構

[illegible]

解体工事 中科目別内訳

27

発生材処理

[illegible]

解体工事 細目別内訳

28

[illegible]

解体工事 細目別内訳

29

[illegible]

解体工事 細目別内訳

30

[illegible]

解体工事 細目別内訳

31

[illegible]

解体工事 細目別内訳

32

電気設備解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
分電盤撤去	400mm×500mm程度 再使用しない	1	面			
分電盤撤去	600mm×800mm程度 再使用しない	1	面			
安定器箱撤去	500mm×600mm程度 再使用しない	1	面			
HID灯器具 撤去	直付 400W以下 再使用しない	3	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	6	個			
ねじなし電線管 撤去	(E19) 再使用しない	7	m			
ねじなし電線管 撤去	(E25) 再使用しない	24	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE28, HIVE28) 再使用しない	6	m			
ケーブルボックス撤去	200mm×200mm×100mm 再使用しない	1	個			
ケーブル撤去	VVR 8sq-3C 再使用しない	11.5	m			
ケーブル撤去	IV 2sq 再使用しない	108	m			
ケーブル撤去	IV 8sq 再使用しない	2	m			
計						

解体工事 細目別内訳

33

[illegible]

解体工事 細目別内訳

34

[illegible]

解体工事 細目別内訳

35

[illegible]

解体工事 細目別内訳

36

[illegible]

解体工事 細目別内訳

37

[illegible]

解体工事 細目別内訳

38

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管本足場	10m未満	169	m ²			
安全手すり	単管本足場用	36.7	m			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類	169	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ポリエステル	122	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	85.5	m ²			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (単管本足場)		169	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	単管本足場用	36.7	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)	メッシュシート	169	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)	安全ネット	122	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	85.5	m ²			
計						

解体工事 細目別内訳

39

[illegible]

解体工事 細目別内訳

40

[illegible]

解体工事 細目別内訳

41

[illegible]

[illegible]

解体工事 細目別内訳

43

電気設備解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
分電盤撤去	600mm×800mm程度 再使用しない	1	面			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	8	個			
ねじなし電線管 撤去	(E19) 再使用しない	96	m			
ねじなし電線管 撤去	(E31) 再使用しない	7	m			
ねじなし電線管 撤去	(E39) 再使用しない	7	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE16, HIVE16) 再使用しない	4	m			
地中管路撤去	波付硬質合成樹脂管 (FEP30) 再使用しない	20	m			
地中管路撤去	波付硬質合成樹脂管 (FEP40) 再使用しない	20	m			
位置ボックス 撤去	再使用しない	14	個			
ケーブル撤去	SV 14sq-3C 再使用しない	47	m			
ケーブル撤去	SV 22sq-3C 再使用しない	49	m			
電線撤去	IV 1.6mm 再使用しない	71	m			
電線撤去	IV 2mm 再使用しない	131	m			
電線撤去	IV 5.5sq 再使用しない	4	m			
計						

解体工事 細目別内訳

[illegible]

解体工事 細目別内訳

45

[illegible]

解体工事 細目別内訳

46

[illegible]

解体工事 細目別内訳

47

[illegible]

解体工事 細目別内訳

48

[illegible]

解体工事 細目別内訳

49

再資源選別処理施設		機械設備解体				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
パッケージエアコン撤去	3.5kW 室外機共 再使用しない	1	式			
パッケージエアコン撤去	2.9kW 室外機共 再使用しない	1	式			
冷媒用銅管撤去	19.05φ 断熱材共 再使用しない	20	m			
冷媒用銅管撤去	12.70φ 断熱材共 再使用しない	10	m			
フロン回収	休憩室2含む	3	台			
フロン破壊	休憩室2含む	1	式			
工業用扇風機撤去	450φ 再使用しない	9	台			
温風暖房機撤去	103kW程度 再使用しない	1	台			
灯油タンク撤去	385ℓ	1	基			
排風機撤去	3.7kW 再使用しない	1	台			
ルーフファン撤去	400φ 再使用しない	2	台			
スパイラルダクト(低圧、 高圧1、2ダクト) 撤去	150mm 再使用しない	44	m			
スパイラルダクト(低圧、 高圧1、2ダクト) 撤去	300mm 再使用しない	35.4	m			
スパイラルダクト(低圧、 高圧1、2ダクト) 撤去	600mm 再使用しない	38	m			
PPダクト撤去	300φ 再使用しない	4	m			

再資源選別処理施設		電気設備解体				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
制御盤撤去	1000mm×1200mm程度 再使用しない	1	面			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	30	個			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE16, HIVE16) 再使用しない	108	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE22, HIVE22) 再使用しない	20	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE28, HIVE28) 再使用しない	48	m			
硬質ビニル電線管 撤去	(VE36, HIVE36) 再使用しない	28	m			
スイッチボックス撤去	VE16 再使用しない	12	個			
ケーブル撤去	VVF 1.6mm-2C 再使用しない	100	m			
ケーブル撤去	VVF 1.6mm-3C 再使用しない	90	m			
ケーブル撤去	VVF 2mm-2C 再使用しない	40	m			
ケーブル撤去	VVF 2mm-3C 再使用しない	20	m			
ケーブル撤去	VVF 2.6mm-2C 再使用しない	15	m			
ケーブル撤去	VVR 5.5sq-3C 再使用しない	42	m			
ケーブル撤去	VVR 14sq-3C 再使用しない	15	m			
計						

解体工事 細目別内訳

52

[illegible]

解体工事 細目別内訳

53

[illegible]

解体工事 細目別内訳

55

ポンプ小屋 機械設備解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンク撤去	1700φ H2000 タラップ共 再使用しない	1	基			
タンク撤去	2000φ H1800 タラップ共 再使用しない	1	基			
給水ユニット撤去	1.5kW 再使用しない	1	台			
浅井戸ポンプ撤去	0.4kW 再使用しない	1	台			
給水管撤去	SGP 15A 再使用しない	2	m			
給水管撤去	SGP 20A 再使用しない	2	m			
給水管撤去	SGP 25A 再使用しない	1.3	m			
給水管撤去	SGP 40A 再使用しない	2.1	m			
給水管撤去	SGP 50A 再使用しない	3.3	m			
給水管撤去	VP16 再使用しない	1.8	m			
給水管撤去	VP25 再使用しない	1.5	m			
給水管撤去	VP50 再使用しない	2.6	m			
フレキシブルジョイント撤去	SUS304 25A 再使用しない	0.5	m			
フレキシブルジョイント撤去	SUS304 40A 再使用しない	0.2	m			
計						

解体工事 細目別内訳

56

[illegible]

解体工事 細目別内訳

57

休憩室1 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管本足場	10m未満	80.4	m ²			
安全手すり	単管本足場用	24	m			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類	80.4	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ポリエステル	36	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	13.3	m ²			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (単管本足場)		80.4	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	単管本足場用	24	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)	メッシュシート	80.4	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)	安全ネット	36	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	13.3	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

解体工事 細目別内訳

60

[illegible]

解体工事 細目別内訳

63

[illegible]

解体工事 細目別内訳

64

[illegible]

解体工事 細目別内訳

66

[illegible]

解体工事 細目別内訳

67

[illegible]

解体工事 細目別内訳

69

[illegible]

[illegible]

解体工事 細目別内訳

71

[illegible]

解体工事 細目別内訳

72

休憩室2		機械設備解体				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流し台撤去	W1800*D600*H800 蛇口4個共 再使用しない	1	式			
和風便器撤去	タンク式 再使用しない	2	組			
便槽撤去	再使用しない	1	式			
パッケージエアコン撤去	1.8kW 室外機共 再使用しない	1	式			
冷媒用銅管撤去	15.88φ 断熱材共 再使用しない	10	m			
冷媒用銅管撤去	9.52φ 断熱材共 再使用しない	10	m			
換気扇撤去	250φ 再使用しない	1	台			
換気扇撤去	100φ 再使用しない	1	台			
レンジフードファン撤去	再使用しない	1	式			
湯沸器撤去	壁掛け 5号 再使用しない	1	台			
湯沸器撤去	壁掛け 20号 再使用しない	1	台			
流し台撤去	W1500*D570*H800 再使用しない	1	式			
コンロ台撤去	W600*D570*H620 再使用しない	1	式			
ガスコンロ撤去	2口 再使用しない	1	式			
水栓類撤去	13 再使用しない	5	個			

解体工事 細目別内訳

74

[illegible]

解体工事 細目別内訳

75

[illegible]

[illegible]

解体工事 細目別内訳

77

[illegible]

解体工事 細目別内訳

78

[illegible]

解体工事 細目別内訳

81

外構 仕上解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装撤去		39.5	m ³			
カッター入れ	アスファルト面	10.5	m			
アスファルト舗装下 地業とりこわし		119	m ³			
水槽蓋撤去		6	か所			
カーブミラー撤去		1	か所			
鋼製ステー エキスパントメタル撤去		5	m ²			
鋼製ステー 手摺撤去		7.4	m			
グレーチング撤去		27.5	m			
ガードパイプ撤去		4.2	m			
ネットフェンス撤去		9.9	m			
計						

[illegible]

解体工事 細目別内訳

84

発生材処理 発生材運搬						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(積込み)						
発生材積込み	鉄筋コンクリート類	288	m3			
発生材積込み	無筋コンクリート類	456	m3			
発生材積込み	アスファルト片	39.5	m3			
発生材積込み	廃ﾌﾟﾗｽチック類	7.2	m3			
発生材積込み	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	4.2	m3			
発生材積込み	蛍光灯類	0.2	m3			
発生材積込み	木くず	7.3	m3			
発生材積込み	ｽﾍﾟｰｽ成形板	12.1	m3			
(運搬)						
とりこわし 発生材運搬	鉄筋コンクリート類	288	m3			
とりこわし 発生材運搬	無筋コンクリート類	456	m3			
とりこわし 発生材運搬	アスファルト片	39.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽチック類	7.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	4.2	m3			

解体工事 細目別内訳

85

[illegible]

発生材処理 発生材処分						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材処分	鉄筋コンクリート類	288	m3			
とりこわし 発生材処分	無筋コンクリート類	456	m3			
とりこわし 発生材処分	アスファルト片	39.5	m3			
とりこわし 発生材処分	廃プラスチック類	7.2	m3			
とりこわし 発生材処分	ガラス・陶磁器くず	4.2	m3			
とりこわし 発生材処分	蛍光灯類	0.2	m3			
とりこわし 発生材処分	木くず	7.3	m3			
とりこわし 発生材処分	アスベスト成形板	12.1	m3			
スクラップ	鉄屑 H2	▲89.3	t			
スクラップ	アルミ屑 込ガラ	▲0.9	t			
スクラップ	ステンレスくず	▲1.2	t			
スクラップ	銅線・ケーブル	▲0.3	t			
スクラップ	銅くず	▲0.02	t			
計						

共通仮設費（積上分） 明細

87

[illegible]

現場管理費（積上分） 明細

88

[illegible]